
Re: 日経新聞に氷河のこと

投稿者：越田和男 投稿日：2011年12月31日(土)10時58分38秒

> [No.1536\[元記事へ\]](#)

大森雅宏さんへのお返事です。上田（アゲタ）豊氏のこと。

伊藤愿さんの翻訳書パウル・バウアー著『ヒマラヤに挑戦して』が文庫本化された時、その解説を執筆されています。（本HPの「会員の著作紹介」を参照）

上田氏がヤルンカンに登頂された時、西堀栄三郎隊長から託された愿さんの写真を頂上に埋めてくれました。

数年前、愿さんの遺稿集が『妻に送った九十九通の絵葉書』として二女の松方恭子さんの編集で出版され、その出版記念会にAACK会長として平井一正先生とともに出席され、スピーチされました。名古屋大学を退官されて、現在は岡山にご在住とのことでした。

日経新聞に氷河のこと

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年12月31日(土)09時19分28秒

今日の日経新聞に「剣岳、国内初の氷河か」という記事が出ていました。先日カーラジオで同じことを聞いて「へえー」と思ったところでした。ご参考まで画像を添付します。

記事の中に「上田豊名古屋大学名誉教授（氷河学）」と。「残照のヤルンカン」？

同書の冒頭に、名古屋のことがあったような記憶が。現物を探したのですがどこかに紛れて見つからない。それではと平井先生の「AACK 人物抄」を見ると伊藤愿さんのことに関連して同じお名前がありました。でも「名誉教授」？そんな年齢？

ヤルンカンは1973年、その頃若手ならナルホド。当時高校生の私が50半ばを過ぎていますから、ナットク。



北アルプス・立山連峰の剣岳(2999㍎)など、標高1700㍎2800㍎付近の谷3カ所の氷塊(長さ約700㍎約1200㍎)が、日本に存在しないとされた水河とみられることが分かり、地元で期待が高まっている。

富山県立山町の立山カルデラ砂防博物館がこのほど、ゆつくりと低地に

北アルプス 3カ所で移動確認



北アルプス・立山連峰で氷塊を調査する研究チーム(10月、富山県立山町)＝立山カルデラ砂防博物館提供

向けて移動していることにも日本雪氷学会に調査を確認。上田豊名古屋大 査結果を提出する。水河名誉教授(水河学)は「氷は極東アジアではロシア河の可能性が非常に高いカムチャツカ半島が南」と指摘している。限とされてきた。博物館は2012年3月、少なくとも数百年前に

剣岳、国内初の氷河か

数百年前の雪 含む可能性 「気候変化の指標 期待」

降った雪からできた氷も含まれると考えられ、長期的な気候変動や過去の大気の組成を知る上でも貴重な発見だ。

積雪が約30㍎に達し、風下に向け谷が続く地形のため日陰が長く、吹きだまりの雪が残りやすい場所だ。氷河形成の条件が重なったとみられる。

博物館の研究チームは、剣岳の雪渓で2つの氷塊(長さ約900㍎と約1200㍎、厚さはいずれも30㍎以上)を調査。水塊に埋め込んだボールにアンテナを設置し、全地球測位システム(GPS)で測定に成功した。9㍎10月の1カ月間で最大31㍎32㍎動いていた。年間では4㍎以上と推定

され、速度はヒマラヤの小型氷河に匹敵する。立山の主峰・雄山(3003㍎)の水塊(長さ約700㍎、厚さ約30㍎)も昨年と今年の秋、6㍎11㍎動いていた。上層の雪が減る時期の観測は、年間を通じた流動を示す根拠となるという。

1970年代から水河を探す動きはあったが、高い場所に持ち込める観測機器がなく研究は進まなかった。技術発展で機器が軽量化し、微妙な動きを捉えることが可能になった。

博物館の福井幸太郎学芸員は「北アルプスの気候変化の指標になるかもしれない」と話している。

関学中島君

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年12月30日(金)23時12分26秒

今日、本屋で山と溪谷1月号?をちょっと見ていると、関学の中島君が出ていました。なかなか頑張っていますね。

京山. 西山(JACゆるやか山行)

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年12月30日(金)15時20分16秒

昨年四月の稲荷山行きに始まり、今年三月に比叡山に登り、数回にわたっての東山三十六峰巡りを終えました。今年四月からは、地元の平井一正先生も参加され、原則毎月一度の軽登山にて、去る13日の最終回を終えました(こんぴら山や沓掛山と珍しい山や由緒あるお寺などめぐり、ノンビリと歩く)此の最終回では桂の仁左衛門の湯で忘年会があり、先生が此のたび日本山岳会の名誉会員に成られた事を、

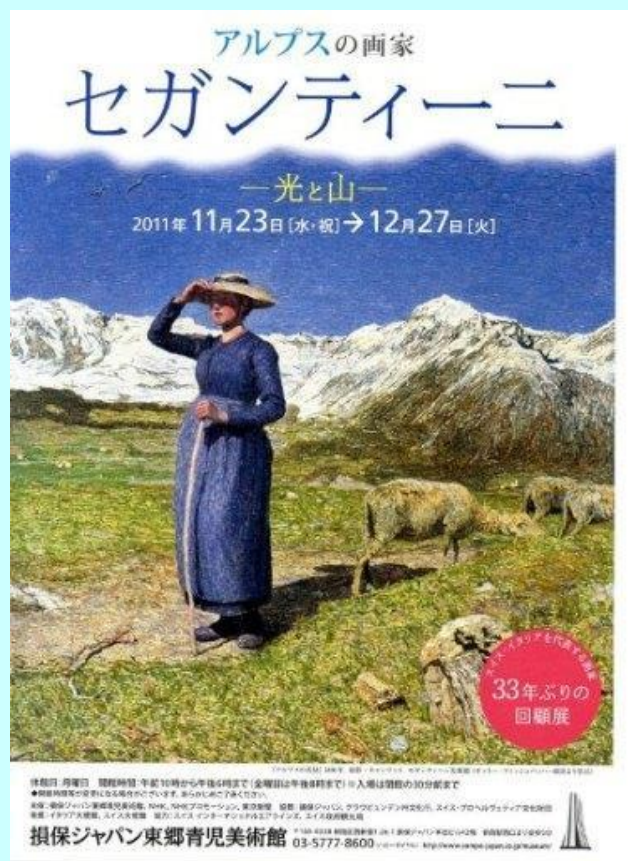
皆で

祝いました。J A C 関西ではテント泊のハードなもの、近畿分水嶺踏査、そして「歴史に触れながら低山を歩く；ゆるやか山行」を主体に会員が各々に見合った登山を楽しんでいます。我がK A Cも部員が増えてこのように成ればいいですが。

セガンティーニ展

投稿者：越田和男 投稿日：2011年12月25日(日)10時45分8秒

先日『アルプスの画家・セガンティーニ』展に行ってきました。美術音痴の私ですが、これまでにない充実したものと満足しました。展覧会自体はもう終了まじかで、今更お勧めしてもしようがないのですが、今晚（25日）NHK Eテレ（20：00～21：00）で「画家セガンティーニのアルプス」と題する1時間番組があるというのを見つけたので、お勧めする次第です。一見の価値あり（と思う）。



Re: はじめまして

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年12月20日(火)21時44分49秒

> [No.1530\[元記事へ\]](#)

お久しぶりです。石塚さん！

私の記憶では、石塚さんとの出会いは「渦が森の西山谷砂防ダム」だったような気がします。

ダムで釣りをしていたら、対岸に麦藁帽長靴の変なおっさんが。。

数日後、高校にそのおっさんが学生服を着て居るではないですか。

「今度、山岳部で氷ノ山（だったような）に行くから一緒に行けへんか」

それが私の甲南山岳部の始まりだったような気がします。

南里先生、宮崎先生をはじめ、石塚さんや吉田さん、同期の八木、大島といった超型破りなメンバーが集まっていたね。

3月の遠見尾根や冬の伊吹山スキーなど、思い出深い山行も沢山。

今から20年ほど前？に、須磨の海つり公園でお会いしましたね。

石塚さんの帽子の横に仕留めたスズキの数だけマークが入っていたのを覚えています。

良かったら、また一緒に山（or 釣り）に行きませんか。

Re: 雪見会

投稿者：大阪ぼっぼ会 山本 投稿日：2011年12月20日(火)12時29分26秒

> [No.1524\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

飯田様、大阪ぼっぼ会の山本です、ご無沙汰致しております。今年も参加させていただきますので、お手数をお掛けいたしますが何卒宜しくお願い致します。

日程は21日の朝着（朝食をお願いします）、23日（月）昼前に帰りますので21日、22日の2泊3日をお願い致します。

はじめまして

投稿者：石塚直也 投稿日：2011年12月20日(火)11時03分11秒

頂き物のワイン。

あまりの美味さについ飲みすぎ、昨夜は珍しく酔っ払ってしまいました。

酔い覚ましにベランダから星空を眺め、ふと気付くと山の歌の一節を口ずさんでおりました。

合宿でどこかの山で見上げた夜空を思い出したのかも知れません。

しかし、もう40年も前の記憶？

悲しいことに歌詞の一部しか思い出せず、彷徨の末にこのサイトを見つけた次第です。

私は、山本恵昭君の3年先輩？だったかと思えます。

甲南バットレスで、工事用のトラロープを使って登っている山本君と出会い、「それアカンヤやる。もっとまともな装備が自由に使えるぞ」と当時の山岳部に誘ったように記憶しております。

高校卒業後渡米いたしましたので、その後皆さんとお付き合いも全くできておらず、懐かしくもあり、申し訳なくも思っております。

長文になりましたが、最後に最近の山歩きの報告でも。

といっても2年も前の話ですが。

九重連山の硫黄山がまた登れるようになっていたと聞き、日帰り登山を試みました。

星生山、久住山、中岳、稲星山、そして硫黄山へと、歩きまわったのですが、

欲張りすぎまして、生まれて初めて太股がつりました。
普段は全く運動らしいことやってないから当然ですね。
しかし、硫黄山の景観は見事、見事。
地鳴りのような轟音と、噴き出す白煙。
噴出口のほぼ傍まで近づくことができるようになってました。
云々…

初参加（書き込み）にも関わらず、長々と失礼しました。
懐かしさのあまり、とお許しを。

Re: 雪見会

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011年12月17日(土)22時03分26秒

> [No.1524\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

雪見会

何時もながらお世話様です。井上知三・武田の両名、次のスケで参加しますのでヨロシク。

1月20日（金）夜 前田館着 夕食不要（素泊まり）
21日（土）宿泊
22日（日）同
23日（月）午後出発

Re, 雪見会

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年12月14日(水)08時56分44秒

飯田さんへのお返事です。

大変お世話になります。

20日、21日、22日の3連泊です。

20日は、どうせのことですから午後に滑れる時間に行く予定です。

ガチャ

Re: 雪見会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年12月13日(火)22時12分26秒

> [No.1524\[元記事へ\]](#)

> 山本君（恵）神大の方、とりまとめお願いします。

神戸大のメンバーと日程の確認をしてみます。

私自身は21日早朝着、1泊で22日午後発でお願いいたします。

Re: 雪見会

投稿者：塩崎将美 投稿日：2011年12月13日(火)17時55分46秒

> [No.1524\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

お世話になります。

1月20日（金）夕方着。

20日～22日 3連泊です。

塩崎

Re: 雪見会

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2011年12月13日(火)10時23分21秒

> [No.1524\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

お世話になります。1月20日（金）夕方着。

20日～22日 3連泊です。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年12月12日(月)09時51分32秒

雪見会日程お知らせ

一月21、22日中心に行います。

参加される方、1月15日までに、各自の日程お知らせください。

山本君（恵）神大の方、とりまとめお願いします。

<http://6808.teacup.com/konanalpine/bbs>

平井一正先生が JAC 名誉会員に

投稿者：越田和男 投稿日：2011年12月8日(木)00時05分10秒

この度、本会名誉会員の平井一正先生が、社団法人・日本山岳会の名誉会員になりました。

去る12月3日東京で行われた皇太子殿下もご臨席の同会年次晩餐会の席上、会長の尾上昇氏からその推挙が披露され、名誉会員章が授与されたとのこととあります。これまでの登山界における先生の数々

のご実績からして、むしろ遅過ぎた感もあるとはいえ、大変名誉なこと、お目出度いことであると存じます。
小生情報に疎く、晩餐会出席者から教えられましたので、ここに会員諸兄にも朗報をお伝えする次第です。

ありがとうございます。

投稿者：砂川 咲子（旧姓 横山） 投稿日：2011年12月7日(水)23時13分45秒

（廣岡一雄様へのお返事です。）

廣岡様

掲示板を見て、こんなうれしい書き込みが！！

この場をお借りして、お礼いたしたく投稿しました。

12/3 挙式後の二次会では、本当にありがとうございました。

父が一番大切にしていた山岳会友人・先輩・後輩の方々のお名前を、二次会の場で、廣岡様からお聞きできるとは、本当に驚きでした。

父のケルンを積み、山岳会の皆様に初めて「山」につれていっていただいて以来、「山男」のつながりの深さを感じていました。

掲示板をおかりするかたちとなりますが、廣岡様 ならびに山岳会の方々の暖かいお言葉に、本当に感謝いたしております。

これからも、山と仲間と家族を大切にしていきたいと思います。

今後とも宜しく願いいたします。

本当にありがとうございました。

図書紹介

投稿者：越田和男 投稿日：2011年12月7日(水)17時21分32秒

飯田年穂著『語りかける山』

駿河台出版社 2011年11月刊 定価(本体) 2300円

先人の言葉を拾いながら日欧新旧の登山文化を比較論考する山岳エッセイ。欧米人は山上からの日没を好むサンセット礼賛、日本人はひたすら日の出、ご来光礼賛。これは何故か・・・など。

著者は明治大学教授(比較文化)にして体育会山岳部の監督、現役のクライマーでもある。久しぶりに読み終わってすっきりした山の本だった。『東西登山史考』の田口二郎さんについても数ヶ所に引用がある。ブック・デザイナーの小泉弘氏による本体装丁もカバーも良く、書架を飾るお勧めの一書である。

Re: 横山咲子さんとたっちゃん

投稿者：越田和男 投稿日：2011年12月7日(水)10時13分45秒

> [No.1517\[元記事へ\]](#)

廣岡一雄さんへのお返事です。

関学 OB 廣岡さんのご投稿で、横山洋君のお嬢さんの目出度い話、しかも関学 OB のすばらしい方とのご縁を知り、大変嬉しく思いました。山を介してのさわやかな人の繋がりは何物にも代えがたいものですね。廣岡さん有難うございました。

廣岡様

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年12月7日(水)00時24分47秒

今年のロックガーデンでは、いつもの横山さん親子にサワヤカ・ニコヤカなお兄さんがご一緒でした。新しいご家族ですかとお尋ねすると「ええ」とのこと。おめでとうございませうとお話したのですが、まさか廣岡さんのご関係とは存じませんでした。

アコンカグアもさることながら、司法書士試験連続不合格から一念発起して司法修習生にと立派なご経歴ですのにちっともそんなこと仰らずに、謙虚な方ですね。お示しのページを見ると確かに「9月に大学を卒業する事が決まっていた私」なんて件があって、「あ、前期卒業」。山に打ち込んでおられたんだ。(甲南の昭和50年前後は5年生から7年生まで学校の好きな方が大勢いたことを思い出します)

廣岡さんは私より2年上級だったと思うのですが、文部省のリーダー研修で一緒しました。ご親戚に高校の先生がおられて、私はその先生の英語の授業のおかげで甲南に滑り込みました。(関学みたいに英語アシキリがなくてああよかった)

咲子さんがお仕事先で香月さんのお世話をされたことは以前塩崎さんが書いておられました。

いろんなところで繋がりがあつたものです。

来年のロックガーデン、咲子さんのそばのサワヤカ・ニコヤカは「たっちゃん」と心得て、「さっちゃん・たっちゃんおめでとう」とお声がけしたいと思います。

10円にひかれて忘年会

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年12月6日(火)06時36分44秒

先日のカニキノコの会の時に塩崎先輩から忘年会の場所を探してくれとの依頼、集まりやすい大阪梅田の条件、心当たりがないので今は便利なネットで検索、その中で目に留まったのが10円で飲み放題のお店これに決定。

一昨日の12月4日(日曜日)総勢16名 70才のカン(森本)さんから若手25才の谷さんまで幅広い年代の方々が集まり、だんじり祭りの岸田さん同期の赤田さんの参加もあり楽しいひと時を過ごしました。

画像-1 メンバー 左から岸田・上本・浪川・安井・鈴木・國分・塩崎

画像-2 メンバー 左から山本・井上・柏・森本・川野・平井・大森

ごめんなさい谷君 カメラマンで映って無くて



横山咲子さんとたっちゃん

投稿者：廣岡一雄 投稿日：2011年12月6日(火)00時55分37秒

大森さんとほぼ同期の関学の廣岡と申します。部外者の突然の投稿をお許し下さい。

先月某日、私の関学 WV の後輩である砂川という男の結婚式二次会への案内がありました。彼からのメールには「奥さんとなる人のお父さんは、富山にあったトンカツ屋『たっちゃん』に置かれていた『ノート』を提案した方です。」とメールにありました。その時、私はピンときませんでしたが、、

去る3日、三宮北野のとあるカフェでの二次会。司会者は、「新婦の横山咲子さんの亡くなられたお父様も

大学山岳部で、、」と紹介するではありませんか。。。
それを聞いてようやく私も合点。

そこで、お父様の故横山様のことは甲南山岳会HP掲示板で拝見したことがありますと私から新婦咲子さんに声をお掛けしたところ、大森さんのこと、武田会長様、塩崎様や神戸さんのお名前も出て、たいへん楽しくそして親しくお話をさせて頂きました。

ところで、新婦の砂川辰彦君は、関学 WV 主将を引退しても山が続けた(?)、その後山岳部に籍を置き大学は2001年の秋卒業。その間に大蔵喜福氏の気象観測機器設置隊でマッキンリー登頂、2000年暮にはテレビ朝日のドキュメンタリー〜西田敏行 53 歳 米大陸最高峰に挑む〜のサポート隊（小西浩文隊長）の一員としてアコンカグア登頂。（日本山岳会青年部HPに記事=<http://ycm.6ch.bz/report/kaigai/2000/1.html>）

この番組は、2001年5月に放映されましたが、最終キャンプの天候待ちのテントの中で砂川君の家族の話に西田氏が涙するというシーンがあって、それ以来 私達仲間内では彼には『西田敏行を泣かせた男』という枕詞がつくことになりました。

卒業後は埼玉の登山用品会社ロストアロー（坂下直枝氏が社長）に就職したとのことですが、山学同志会に入り山に行っていたというのが正しかったのかもしれませんが。

その後、事情があって同社を退職し大阪に戻り、山は封印してアルバイトしながら司法書士を毎年受験するも受けては落ちを何度か、そしてその間にはご尊父が闘病の末亡くなられるという苦節にめげず、逆に一から法律の勉強のし直しをと一念発起、法科大学院大学に入って昨年見事司法試験に合格。現在は司法修習中、来春からは弁護士として西天満の法律事務所に入ることが決まっている男です。

こうしたユニークな経歴にいかつそうな人物を想像されるかもしれませんが、実際に野性的な風貌の持ち主なんですが、大変人懐っこくて優しくて本当にいいヤツです。

幸せそうなお二人。http://6720.teacup.com/chichin_puipui/bbs（2011年12月4日02時の投稿ご参照）

甲南山岳会の皆様にも祝福して頂けるものと思い投稿させて頂きました。

ちなみに、二次会で結婚式恒例のクイズが出されました。

新郎は新婦を「さっちゃん」と呼んでいます。では、新婦の咲子さんは、新郎のことをなんと呼んでいるでしょうか？と。

正解は？・・・(もちろん)・・・『たっちゃん』とのこと。

おふたり、未永くお幸せに！

長文でたいへん失礼いたしました。

本日の件（12月4日夕刻）

投稿者：川野幸彦 投稿日：2011年12月4日(日)09時45分36秒

塩崎様

ご無沙汰しております。お元気ですか？

本日は、直接、会場へ向かいます。

よろしくお願いします。

東丹沢の低山ふたつ

投稿者：越田和男 投稿日：2011年12月3日(土)17時07分53秒

今週は会社OB仲間5人で紅葉を求めて丹沢に行きました。低い山二つを二日かけて、山麓の鉱泉宿に一泊という何時ものパターンです。泊まった宿は光沢寺温泉「玉翠楼」。昭和初期築の木造2階建て、結構な露天風呂もある、家族でやっている静かで素朴ないい宿でした。@13,000-

① 鐘ヶ嶽 561m

古くからの信仰の山で、足ヶ久保という集落からは尾根ずたいの風情ある登山道には30丁目までの石標がある。26丁目からの最後の登りは400段の石段で結構しごかれた。山頂には大きな寺があったというが、明治の廃仏毀釈で廃寺され、古びた浅間神社が残る。生憎の曇り空だったが、東京方面は何とか見通しが利き、スカイ・ツリー遠望というおまけ付きで昼食を楽しんだ。

南西に下る下山道は、結構きつく、林道へ降りつく手前は老人グループには気合の抜けない鎖場が続いた。

② 仏果山 747m

宮ヶ瀬湖の北東。これも信仰臭い山名だが、前日の山とは違って山頂には鉄塔があり、湖や丹沢山塊を望む展望台になっている。湖畔の駐車場から2時間の登りで、老人向けにはほど良いコース。雨の予報だったが、晴れ間もあって、紅葉を楽しんだ。

海外トレッキングも良いが、温泉(+酒)付きの変化に富んだ日本の山歩きも捨てがたいものです。

氷ノ山横行溪谷源流

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年11月27日(日)18時52分34秒

またまた氷ノ山横行溪谷の源流に行ってきました。

くるぶし位までの積雪の中、長靴で沢通しにつめて、先日見つけた二股の上の台地にテントを張り1泊してきました。

ここはブナや杉の大木に囲まれて、なぜか根曲がり竹も少なく、気分の良い所です。

一面の雪化粧の中に、人の気配であせって走り去った鹿の足跡がいっぱい有りました。

昨日は夕方着で時間的に余裕がありませんでしたが、今朝はのんびり過ごし周辺を散策の後、帰ってきました。

キノコの季節は終わり、遅ればせながら雪山へと替わってゆきつつあります。

紅葉

投稿者：塩崎将美 投稿日：2011年11月24日(木)20時13分20秒

天気に誘われて布引から森林植物園へ歩きました。

このコースはアジサイの季節に続き今年2回目です。

今年の紅葉はイマイチと聞きますがそれなりに綺麗でした。
並木の紅葉はメタセコイヤです。
カラムツの紅葉が光の下でキラキラ舞う落葉が好きなのですがまだ緑でした。

塩崎





カニキノの会 お礼 その3

投稿者：谷 投稿日：2011年11月24日(木)02時22分28秒

遅ればせながら、参加された皆様、お疲れ様でした。

そして、お世話になりまして、有難うございました。

お陰さまで本当に楽しい一時を過ごすことが出来ました。

今回は避難小屋にて途中合流した為、キノコ狩りに参加できなかったことが残念でした。平井さん・塩崎さん・大森さん・山本さんたくさんキノコ採っていただいて有難うございました！！来年休みが合えば、参戦したいと思います。

今年は生憎の天候でしたが、快適過ぎるぐらい良い小屋のお陰で、暖かく楽しい宴会に参加出来ました。

浜坂の市場で購入する蟹は家族からもおいしいと評判で、今年も「できたら買ってきてほしいなあ」と、出発前に念押しで言われたほど。

今年の交渉人塩崎さんのお陰でお手頃で美味しい蟹を買って帰ることが出来ました！！

また来年もぜひ参加したいと思いますので宜しく願い致します。

次回は、雪見会にも参加したいと思います。

カニキノの会 お礼 その2

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年11月21日(月)21時50分35秒

毎年の立案・実行、山本リーダーはじめご参加の皆さんと楽しく過ごせた金・土・日で、お礼申し上げます。天気はあいにくでしたが、はしゃいで過ごせて、楽しくうれしいひと時でした。

キノコ。

天気はもひとつでしたがリーダーの下見時のちびナメコ隠蔽工作と、林道崩壊・入山者減のおかげで立派

なのが手に入って、うれしい。

平井さんと久しぶりに山を歩いてこれも、うれしい。

宴会。

久しぶりの「ホント」の若手・谷君交えて、武田さん・井上さんはじめおなじみの皆さんとわいわいできて、うれしい。

カニ。

塩崎さんの早起き交渉のおかげで大きくていいのが手に入って、うれしい。

うれしい、ことが続くのは愉快です。今回も企画の山本リーダーと参加の皆さんに感謝。

追伸

ところで。例年カニ焼き担当のエヌ川様。

今年の担当も立派に焼いてくれたんですけどね、聞けばアイツは消すのが専門とかで。

やっぱり焼き加減はエヌ川さんでないと・・・という声がチラと聞こえましたのでお知らせまで。

カニキノの会 お礼

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年11月21日(月)06時49分9秒

久しぶりにカニキノの会に参加致しました。二日ともあいにくの雨でしたが、出発の早朝、雄さんから宴会場所の変更等連絡をもらい後輩の谷 勇輝さんと土曜の11時に豊中を出発しました。

道中は雨と風が強く少し心配でしたが新温泉町の「おもしろ昆虫化石館」で雄さんと合流、上山高原の避難小屋に案内していただきました。水洗トイレまで完備した快適な避難小屋で、雄さん・恵昭・大森さんのいづつながらの手際の良さで準備後美食・美酒の楽しい宴会を楽しませていただきました。

翌日は例によって浜坂漁港のカニの競り市を塩崎さん雄さんをお願いし皆で分配後解散。僕と谷さんは七釜温泉で朝風呂にゆっくり入りその後豊中へ

最後に参加された武田さん・塩崎さん・平井さん・大森さん・山本さん・谷さん 天候は悪かったけれども楽しい二日間ありがとうございました。また、誘って下さい。

カニキノ会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年11月21日(月)01時55分9秒

林道不通の為、いつもの畑が平登山口を諦めて、上山高原方面から入山することに決定。

18日午後に現地に入られた武田さんから上山高原避難小屋の様子を連絡いただき、18日深夜に平井さん、大森さん、私の3名が上山高原避難小屋に到着。早速、プレ宴会。林道沿いにあり、トイレも水もあって快適な小屋でした。

19日雨も降っているので、宴会をいつもの公園ではなく急遽ここで行うことに変更。武田さんが他の方へ連絡して下さり、食材の買出しもして下さることに。

我々若手？3名は、雨の中傘をさして河合谷登山口から入山。若いブナの森を通過して山頂避難小屋へ。

雨もひどいので無理をしないつもりであったが、ここまで来てしまうと欲が出て、雨の中、いつもの森に入る。山頂から東面のネマガリタケの藪をこいで倒木を巡り、ずぶ濡れになりながらキノコ採り。谷に下りて畑が平からの登山道へ合流し、先週小指の先ほどだった登山道沿いのナメコポイントへ。予想通り、最適な大きさになっていて上物を大量収穫。もう一度登り返して、河合谷登山口へ戻る。塩崎さんがお出迎え、その後井上さんと谷君も。水に親しむ公園で長靴の泥を落とし、上山高原避難小屋で全員合流。

外は風も強く大荒れでしたが、綺麗な小屋でカニキノコ鍋。ビールや香住鶴「ひやおろし」で酔うほどに良い気分。

20日早朝から朝食をとり、塩崎さんが浜坂港へ先発、残りのメンバーで小屋を片付けて後を追う。

競り市でズワイガコとセコガコを仕入れ、キャンプ場で分配し、解散。

雨模様の天候でしたが、皆様のご協力で臨機応変、快適にカニキノコ会を楽しむことができました。

神戸マラソン

投稿者：柏 敏明 投稿日：2011年11月20日(日)19時02分52秒

鉄人 浪川さんの応援に、小西さんに行ってきました。

第1回神戸マラソンを見事完走され、ポートアイランドの市民広場にゴールされました。

タイム、順位は不明ですが、42.195 kmを走り抜かれたのは、やはり、鉄人でした。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2011年11月17日(木)12時32分58秒

柏さんから九州クルージングの写真が送られてきました。

アルバムにUPしました。

九州クルージング

投稿者：柏 敏明 投稿日：2011年11月16日(水)09時20分18秒

10月16日 新西宮ハーバーに泊まり、翌早朝、小西艇長、水渡さん、浪川さん、小生の4名で出港。龍野室津、笠岡白石島、呉倉橋島、大分姫島、新門司、関門海峡、筑前大島、壱岐島を経て、途中、玄界灘で20米超えの強風にも遭遇しましたが、25日五島列島宇久島に着きました。無人の野崎島の旧野首天主堂を訪れた時、鉄人浪川さんが天啓を受けられ、その後、今まで以上に穏やかな人柄に変わられたのは奇跡でした。

有川港、奈留島港と五島列島の島々を巡って、長崎伊王島、長崎サンセットマリーナを経て、長崎出島港に碇を降ろしました。神戸のモザイクの前に停泊している感じで、最高のロケーションでした。数日停泊後、ハウステンボス、西海パールシーマリーナ、平戸港、九十九島松浦島、川内港を巡って、再び、出島港に帰ってきました。

ここで、出島イルミネーション祭に参加して係船料を浮かし、その後サンセットマリーナにヨットを預ける段取りをし、来年4月に長崎から屋久島を目指すことにして、11月9日、25日間の航海を終えて、空路長崎から神戸まで帰ってきました。

九重連山を登山後、合流予定だった森本さんとご一緒出来なかったのは残念でしたが、天候にも恵まれ、思い出に残るクルージングでした。一応、山靴を用意していましたが、結局、何処にも登れませんでした。次回は是非宮之浦岳に登りたいと思っています。

20日(日) 鉄人浪川さんが神戸マラソンを走られます。神戸市役所前を9時にスタート。ゼッケン番号D19099 だそうです。是非、応援下さい。

本場アルプスには登らない約束

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年11月14日(月)13時37分1秒

コッシンのグラーツやダッハシュタインと仙吉のアルプスには決して行かない事情(誓い)を読ませていただきました。私にも仙吉の事情に近いものがあつたのです。

それまで勤めていた新明和をやめろ、お前もグラーツへ行かせてやるからドイツ語をしゃべれるようになって来い、但し「山登りはしない」という約束つきだ、というわけです。お前が事故を起こしたら「わし」の会社はいっぺんにつぶれてしまうからな。というのが親父の言い分でした。今ならともかくも、50年前はそんなだったので。それを思い出し仙吉にもやっぱりそんながあつたのかなあ、ダッハシュタインだけでなくクライン・ベネディガーへ氷河を経験しに行ったり、友人と2000メートル級のシェサプラーナという山にも登りに行ったりして親父との約束を守れなかったなあと懐かしみました。ダッハシュタインはガイドブックを読んでいったのですが、思いの外のヤバ場があつて、事故をおこすわけにはいかんいかんと念じつつ登つたのを懐かしく思い出しました。

50年前と言えば、プロペラ機がなくなり、やっとジェット機が飛び始めた時と言うだけの、時代の差があるんですね。

Re: お知らせ「岳人 12月号」

投稿者：越田和男 投稿日：2011年11月12日(土)23時24分23秒

井上 知三さんへのお返事です。

我が「山嶽寮」は「岳人」「山と溪谷」の両誌にはかなりの頻度でとり上げられているようで、喜ばしき限りです。歴代編集者および事務局各位のご尽力に感謝いたしております。

なお、今回の紹介記事のなかで「・・・戦前にこの地に立った会の先輩、田口二郎さんに思いを馳せる」とありましたが、これは間違いで、田口二郎さんではなく兄の田口一郎さんです。カンチエンジュンガのシンガリラ尾根へは昭和6年田口一郎、昭和11年伊藤愿の2先輩が行かれています。念のため。

扇の山 キノコ下見

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年11月12日(土)22時49分53秒

扇の山のキノコの下見に行ってきました。

9月の台風の影響か、林道が途中で通行止になっています。

土砂崩れならブルですぐ開通となるのですが、地すべりのようであれば復旧はできないのではないかと思います。

通行止め地点から畑が平まで、片道約1時間の余分な歩きが必要となります。

キノコ狩りをどうするか、思案中です。

第1案：扇の山通行止地点に集合で、プラス1時間歩いて、キノコ狩りをする。

第2案：氷ノ山横行溪谷に集合で、キノコ狩りをして浜坂へ行く。

第3案：前夜発チーム（平井さん、大森さん、山本）でキノコ狩り、他の方はパスして浜坂へ直行する。
（浜坂漁港でカニ祭りをやっています）

ナメコはこの冷え込みで、ちびっ子が沢山出ていました。

そのまま他の人に採られなければ、来週末はちょうど良い大きさになっていると思います。

現在参加予定は、武田さん、塩崎さん、井上さん、平井さん、大森さん、谷君、私の7名です。

他に参加される方は居られませんか。

Re: お知らせ「岳人 12月号」

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年11月12日(土)20時01分55秒

井上 知三さんへのお返事です。

「山嶽寮」は読み物としても面白いとの声有り、とは言っても、矢張りそれなりの山行きの記録が無いと寂しいです。幸い、50歳代までの若手OBが、今尚ハードな山行きをやっており、頼もしいです。今回の「山嶽寮」には小川アヒル大先輩の文が無かったですね。心待ちにしましたが、福田兄、来年も宜しくお願いします。

オーストリア

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年11月12日(土)19時43分7秒

ウィーンの森で、美味しいワインに足をとられました。出張やら旅行で数度行きましたが、一度も山を見に行かなかったのが、今となっては心残りです。センキチがウィーンで日本人学校の先生をしていた。会社の先輩N氏が、彼の地の支店長時代、子供が平井先生に大変お世話になりました と言われてました。

お知らせ「岳人 12月号」

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年11月12日(土)11時32分49秒

今年も山嶽寮を中日新聞東京本社に送付いたしましたところ、昨日「岳人 12月号」が送付されてきました。昨年に引き続き会報ノートの欄に「山嶽寮」について掲載されております。内容は読み取ったものを添付いたします。

会員の皆様、購入・立ち読み等で一度ご覧になって下さい。

画像-1 12月号表紙

画像-2 会報ノート

画像-3 会報ノート続き



甲南山岳部・甲南山岳会
 [山岳部] 66号
 B5判 103ページ

山 蔵 素

旧制甲南高校、甲南大学山岳部OB会の会報。海外トレッキングや山行、山書研究まで、多彩な原稿でうまる会報だ。

「本と山のあれこれ」では、テックアゲ本や疑惑の登攀関連の本、メスナーの「裸の山」に関する文など登山史を知るうえでも面白い。紀行は、カンチエンジュンガを眺めるタージリン・シッキム・シ

ムラのトレッキング。1泊でシンガラ尾根を訪れ、戦前にこの地に立った会の先輩、田口二郎さんに思いを馳せる。ホームページからピックアップされた短信をながめても、60歳以上のメンバーが元気なことに驚かされる。

〒560-0052 大阪府豊中市春日町5-1-3 201 井上知三方

オーストリア礼賛

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年11月12日(土)00時10分4秒

ガチャのオーストリア（私としてはエスターライヒと言いたい！）礼賛の文を読んで感涙にむせていたら、コッシンが追い打ちをかけてきたので、たまらず投稿します。私は33歳から38歳までウィーンで暮らし、そこで子供を作りました。事情（というか「誓い」）があってアルプスには決して行かないことにしていたので、山歩きはもっぱらウィーンの森の奥でしたが、そこいらは地理的にはアルプスの麓に当たるので、誓いを破ったのかもしれませんが。まあ、そんなことは別にして、オーストリアはいい国です。ウィーン人はガチャの感想とちがって性悪ですが、それは京都人の性悪と同じで、熟成した文化のひとつでしょう。私にとって六甲山麓と安曇野とオーストリアは人生前半の心の故郷であり、年をとって涙もろくなった近頃、両兄の文を読んでひとしお懐旧の念に駆られます。

オーストリアのこと

投稿者：越田和男 投稿日：2011年11月11日(金)15時27分33秒

一寸昔の話ですが、イギリス人のアルプス好きの知人が、オーストリアを褒めてました。いわく「同じアルプスでもフランスは（物価が）高くて不清潔、スイスは高くて清潔、オーストリアは安く清潔だ」と。

数年前にセンキチ達とスロヴァキアのタトラ山脈へ行ったあと、ブラチスラヴァで一行と別れてハイリゲンブルートに行き3泊しました。9月中旬のシーズンの終わりかけで、ホッポアルペンシュトラッセも含めて、静かな旅が楽しめました。そのあとに行ったツィラータールのマイヤーホーフエンも良かったです。

段々とチロルにはまり込んで、去年はザルツカンマーグートのハルシュタットに宿をとり、賀茶さんが昔登ったダハシュタインを眺めてきました。更に、かつての賀茶さんの留学地で今や世界遺産の街になっているグラーツも覗いてきました。

今までにオーストリアへは仕事で2回、遊びで4回行きましたが、ああ、やっぱり、また行きたい。

1ヶ月の旅から帰ってきました

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年11月11日(金)12時50分15秒

オーストリア航空を利用したので旅の最初と最後がウィーンになりました。成田へ着いた時には正直疲れが出ましたが、1ヶ月ほんとに楽しかった。また行きたいしおそらくまた行くでしょう。オーストリアは私の知るヨーロッパの国々の中では何もかも最高の国、特にホスピタリティが最高でしょう。それにしても寒かったです。10月の中旬にもならないのに降雪中の雪道を走ってきました。オーストリアの最高峰グロースグロックナーをかつての皇帝が眺めたと同じ場所から眺めたいとホッポアルペンシュトラッセ(有料山岳道)を走るつもりでハイリゲンブルートに宿泊しました。もうすでにシーズンオフのことで大きなホテルは閉じられており、日本の民宿に当たる百姓家でした。ここまでは晴天続きで、緑の牧場と牛とその上に聳える岩山というロマンチックな風景を楽しむことができましたが、夕方より雲行きが怪しくなってきました。案の定、翌朝は雨となっていました。アルペンシュトラッセを走るだけでも楽しいのではないかと10分ほど登った所から雨が雪に変わってきたのです。これから1000メートル以上も登らねばならないので、これはいかんと引き返し、ハイリゲンブルートのインフォメーションに飛び込み上部の様子を聞いてみました。すぐに管轄の役場へ電話をしてくれたところ、Ketten erforderlich!(チェーン必携)のニュースが入ってきました。チェーンを持っていた方が良い、

という表現ではなく、erforderlich(必携)は官庁用語に近い言葉なので、チェーンを持っていない我々としては諦めざるを得ず、タウエルン山脈横断の国道に切り替えることにしました。こちらの国道も当然のことながら途中から雪道に変わりましたが、長いタウエルン・トンネルの手前で料金を取られましたから、多少の雪でも通過可能と判断しました。もうオーストリアはスキーはできないまでも、山々は真っ白となりました。オーストリアのスキー場は11月27日よりという処が多いようです。本当に50年が懐かしい良い旅であったことをお伝えします。

記念写真・有り難う

投稿者：福井グリーン 投稿日：2011年11月6日(日)21時55分7秒

大森さん、早速、記念写真の確かな情報有り難う。間違えなくこの写真です。

先輩達には毎週のロッククライミング、季節季節の山行きに連れて行ってもらい、

何かとお世話になったのを思い出しました。

何方かお気付きになって、何時か手許に戻ってくるのを待っています。

カキキノの会

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年11月5日(土)06時15分41秒

参加致します宜しく願い致します。久々の参加です皆様と美酒・美食を味う事を楽しみにしています。晴れますように……

穂高連峰の遠望 -- 写真のことなど

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年11月3日(木)23時11分15秒

グリーンさんの写真、75周年記念号の奥山さんの「岡本部長の思い出」の写真と同じものことですね。私は総会欠席で当日のことがよくわからないのですが、この写真とサノゲンさんからのお便りのことなどでカキコミさせていただきます。

一昨年の64号を福田さんが編集された後、佐野さんからお便りをいただきました。国府雄次郎さんの「奥山正雄君を偲んで」に添えられていた「岡本重彦部長退任送別記念」のことについてです。

サノゲンさんによると、あの写真は岡本先生の送別ではなく近藤さんの卒業記念写真だということでした。お便りの該当部をご紹介します。(サノゲンさんは私とその前年まで編集担当であったのでお便りくださったようです)

(山嶽寮64号の)6頁の写真・(中略)・は岡本部長退任時ではなく部長の隣に座っている近藤チーフリーダーの学校卒業の記念写真です(だから先輩たちを差し置いて隣に座っているのです)。／真中付近に私が写っていますが、私は間もなく職員会議で他所に行くなら合格(旧制中学卒業と同格)と言われ結局早稲田に行くのですが、方々の学校の受験用紙を貰うため忙しく岡本部長が御止めにされたのを知ったのは大分後でしたから間違いないと思います。／唯岡本部長が退職された時の写真は無いようですか

ら実際には部長退任時としても良いかもしれません。

----- (原文はワープロ使用、「／」部で改行しています)

昭和9年は随分大昔です。この写真は皆さん「可愛らしく」から「凛々しく」まで年齢相応の写真写りで、私も好きな写真です。グリーンさんのお手元に戻るといいなと思います。

「先輩たちを差し置いて」というのは岡本先生の右手昭和8年までに卒業された楠木さんから続く諸先輩のことかと思いますがサノゲンさんには詳しくお尋ねせずに過ぎてしまいました。

画像3件添付します。

その1 話題の昭和9年の記念写真（75周年編集の柏さんの手元に写真があるときスキャンさせてもらっていたものです）

その2 紅顔の美少年のグリーンさんがずっと後、ロックガーデンに来られた時の写真（2002年4月）

その3 サノゲンさんからのお便り

（今回の話題に関係するものではありません。62号に寄せられた「思い出--甲南と早稲田の山岳部--」に
関係して、「杉並山房便り」というページ（興味のある方は「横山厚夫の杉並山房便り」で検索してください。第13話に出牛陽太郎氏のことが出てきます）をご紹介したところいただいたものです。私の好きな佐野さんの筆跡ですので画像でおとどけします。



杉並山房便り語りおた。

出陣は、私が入部した時がフリーターでしたので、まあ重たい人でした。山崎君は、私が大学3年の時入部し、来り私が指導した中の人です。彼は中々の自信家(?)で、最初の標高測定合宿で何故Topをやらせたいのかと抗議したりしていました。

同題の出陣は、岩本七郎君への手紙。あの合宿は岩本君と私がリーダーでしたが、あれ一寸認識不足だと思いはず。山に入らずとありますが乗鞍と鈴鹿は知らず。合宿での合宿だったから山と書いておいた。

あの合宿では天候が悪く、頂上には行けませんでした。富士見の川や経の谷、鶴の嶺(?)等には登りました。早稲田では「野沢温泉」新人合宿(25)とやり、ナシ上は^{10月}神の田圃(白馬)とツテで合宿と書いておいた。神の田圃に区別がとると思はれる。乗鞍合宿を違えたので、岩本君宛の手紙が部室に放置されたこととこのも手紙は手紙です。私も部室に出入りしたから、気付く筈です。岩本君は私には一寸も手紙の事と~~手紙~~話していません。まさかとは思いますが、山崎君の手紙話とうたのことも知れません。

山嶽専修への空箱。伊藤君の娘と^本の後援で+君はかき果つていませぬ。一寸目があかしので、パソコンは~~暫く~~暫く止めておいた。乱筆でお許し下さい。

氷ノ山横行溪谷源流

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年11月3日(木)18時54分38秒

本日、キノコの偵察もかねて、氷ノ山のブナ林を徘徊してきました。

横行溪谷の源流に入り、5時間ほど兩岸の森をうろうろ。三の丸から続く稜線に出て、老若男女大混雑の山頂経由で大段が平に下山しました。

氷ノ山のブナは尾根の登山道を歩いているとあまり見栄えしませんが、横行溪谷の源流はなかなか立派な原生林でそこに居るだけで豊かな気分になりました。

キノコは、ムキタケがベストタイミング、ナメコはこの暖かさ乾燥で腐っていたりカラカラだったりもうひとつでした。

白い貴婦人ブナシメジも少々。

もう少し冷え込んで、カニキノコ会の頃にベストタイミングとなることを期待しています。

Re: カニキノコの会

投稿者：谷 勇輝 投稿日：2011年11月2日(水)23時41分30秒

> [No.1477\[元記事へ\]](#)

皆様、大変ご無沙汰しております！

卒業後はスケジュールがなかなか合わず山岳会のイベントに参加できずにおりました。

ところが先日、武田会長からお誘いいただき、仕事も休みだったのでカニキノコの会に参加できそうです！！

小生、仕事で当日 19 日（土）は AM11 時大阪発、現地合流になると思われます。

もし、乗車される方がいらっしゃれば、お知らせください。

それでは楽しみにしております！

穂高連峰の遠望

投稿者：福井グリーン 投稿日：2011 年 10 月 30 日(日)23 時 28 分 45 秒

山岳会の皆さん 暫らくご無沙汰しました。掲示板でご活躍を拝見しています。

今朝、朝ご飯の用意中、テレビをつけたら、偶然 NHK の“小さな旅”の映像でした。

先ず 上高地の河童橋、次いで橋からの穂高連峰の遠望、・・続いて徳本峠からの素晴らしい峰々、朝食も忘れて、その眺めに魅入っていた 25 分間で、嘗ての昔を懐かしんでいた一時でした。

それにつけても思い出したのが、今春の平生記念館での山岳会の時、帰路、JR 駅の近くで、別れる時だったと思うが、昭和 9 年頃の岡本山岳部長を真ん中にした“甲南山岳部の記念写真”をご覧にいれ、なにかにお使いか？、どなただったかに渡した事を思い出しました。

ごく最近、この記念写真が手許に戻ってきていないのを、整理していたら発見し、どうなったかと、もし行方をご存知の方が居られましたら、おついでの際にでも、お知らせ頂ければ幸甚です。

足腰は先ずまずですが、だいぶボケてきましたが、元気にしております。

秋の集会・駒王

投稿者：井上 知三 投稿日：2011 年 10 月 30 日(日)10 時 38 分 6 秒

ご報告遅くなって申し訳ありません。

今年も昨年に参加していただきました赤松 二郎さんご夫妻をはじめ、第一回秋の集会の幹事役の渋谷 一正さん同期の松下 哲夫さん 36 年卒の田中 孜さんと新しい人たちの参加があり、天候にも恵まれ楽しい二日間でした。

赤松さんを見習って来年からはご夫婦・家族の参加も大歓迎という話で宴会の席は盛り上がりました。

- 1 枚目の写真 集会前に赤松 二郎さんを囲んで
- 2 枚目の写真 恒例の宴会
- 3 枚目の写真 記念撮影



Re: ご案内

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011年10月27日(木)13時06分23秒

> [No.1484\[元記事へ\]](#)

武田 雄三さんへのお返事です。

> 例年の事ですが兵庫県山岳連盟より「講演と山のスライドの夕べ」開催の案内が有りましたので、概要下記します。

>

> 日時 平成 22 年 11 月 17 日 (木) 午後 6 時 30 分 開演

>

> 会場 神戸・王子動物園ホール

>

> 主催 兵庫県山岳連盟 神戸新聞社 デイリースポーツ社

>

> 協賛 アシックス 好日山荘 アルパインツアーサービス 神戸ザック モンベル

>

> 講演 「植村直己の人となり」講師 吉谷 義奉 氏 (植村直己冒険館 前館長)

>

> 抽選会 協賛各社より寄贈のスポーツ用品の当る抽選会

>

> 入場料 500円

>

> 小生手元に前売り券 5 枚預かっています。ご希望の方は、小生宛連絡 o r 当掲示板に必要枚数だけ書き込んでください。

>

>

大森さん・山本 (恵) さんを買って頂き、残り 2 枚となりました。

何卒買い上げ方、ご協力を御願います。(抽選会の景品、結構良い物が出ます。)

ロツサナ、ポDESTA

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011 年 10 月 23 日(日)22 時 55 分 18 秒

飯田兄、久しぶりですね。確かにポDESTAよりも絶世の美女というのが居たかも。映画「トロイのヘレン」のビデオを持っていますので、見直すつもりです。

Re: ご案内

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011 年 10 月 22 日(土)10 時 21 分 21 秒

> [No.1485\[元記事へ\]](#)

山本恵昭さんへのお返事です。

> > 小生手元に前売り券 5 枚預かっています。ご希望の方は、小生宛連絡 o r 当掲示板に必要枚数だけ書き込んでください。

> >

> 1 枚希望します。よろしく御願います。

承知しました、受け渡しに就いては別途連絡します。

ロッサナ、ポDESTA

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年10月22日(土)09時37分55秒

ポンさん、ご無沙汰しております。お元気そうですね。

ボナティのこと。その時彼はトリノの博物館長をしていて、そこに収蔵されていたウエストンが日本で撮った膨大な写真集から数十点日本に持ってきて、確か名古屋で展示する、とか言ってましたね。そのことで東京にやってきて、山岳会の連中も押しかけました。それで持ち帰ったのが、嫁さんのポDESTAの写真でした。

ボナッティより絶世の美女、と言われたロッサナ、ポDESTAに関心があったよ、皆で大笑いしました。彼女は確かに綺麗かった。けれどこの間トロイのヘレンをビデオ屋で借りてきて観ましたが、確かに美人ではあるが、絶世、といわれるほどの人かいな、と思いました。

我々も長い間美人を観てきましたからな。彼女も77歳。どんな顔になっているやら。

<http://6808.teacup.com/konanalpine/bbs>

Re: ご案内

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年10月22日(土)08時57分40秒

> 小生手元に前売り券5枚預かっています。ご希望の方は、小生宛連絡or当掲示板に必要枚数だけ書き込んでください。

>

1枚希望します。よろしく願います。

ご案内

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011年10月22日(土)00時10分50秒

例年の事ですが兵庫県山岳連盟より「講演と山のスライドの夕べ」開催の案内が有りましたので、概要下記します。

日時 平成22年11月17日(木)午後6時30分 開演

会場 神戸・王子動物園ホール

主催 兵庫県山岳連盟 神戸新聞社 デイリースポーツ社

協賛 アシックス 好日山荘 アルパインツアーサービス 神戸ザック モンベル

講演 「植村直己の人となり」講師 吉谷 義奉 氏(植村直己冒険館 前館長)

抽選会 協賛各社より寄贈のスポーツ用品の当る抽選会

入場料 500円

小生手元に前売り券 5 枚預かっています。ご希望の方は、小生宛連絡 o r 当掲示板に必要枚数だけ書き込んでください。

カニキノの会

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011 年 10 月 21 日(金)23 時 39 分 33 秒

参加しますのでヨロシク、要望あれば何なりと。

閑人無駄話

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011 年 10 月 21 日(金)19 時 49 分 33 秒

今、話題のリビアにはよく仕事で行きました。一番行ったのは 1 9 7 3 年です。当時、意外と悪漢？カダフィは人気があったようです。当時シリアにも頻繁に出張しました。シリアは今の大統領の親父の時代も、今も恐怖政治、此の国がいったいどうなるのか、知人も多いので心配です。

フルテル、ボナッテイ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011 年 10 月 21 日(金)06 時 39 分 35 秒

此の凄い登山家が 1 9 9 8 年に来日。東京のイタリ-文化会館での、同氏の講演を聴きに行きました。イタリ-人からの"" K 2 ではいったい何が有ったのか""との問いに""河岸でジュックリ待っていると、死体が流れてくる""と言う中国の格言を持ち出して、其の答えに代えて居ました。同伴の元美人女優のロッサナ、ポデスタはリビアのトリポリ生まれとの事、以外でした（父君がトリポリ市長だった由）

ここにいう K 2 の件：伊国が国の威信を掛けて送り出した遠征隊の K 2 初登頂と言う栄光の陰で展開された、アタッカ-とサポ-ター（ボナッテイ達）のリアルな生々しい話。

Re: カニキノの会

投稿者：塩崎将美 投稿日：2011 年 10 月 21 日(金)06 時 27 分 50 秒

> [No.1477\[元記事へ\]](#)

参加します。

宜しく願います。

山の専門誌「岳人」

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011 年 10 月 19 日(水)09 時 58 分 59 秒

今、発売中の当誌 2 0 1 1 N O V . 号の表紙に「山を読む」と有り、久しぶりに買いました。（J A C の山行きで道に迷った時、何時もリーダーが磁石を取り出し、地図とニラメッコ、慎重にルートを探っているの目にして、地図を見直さなくてはと思ってます。）又、当誌で、彼のメスナ-と共にイタリア登山界のを代表する登山家の W . ボナッテイが去る 9 月ロ-マで亡くなった事を知りました。一時はお互いを認め合った仲なのに、""彼のやってる事はビジネスだ""とボナッテイはメスナ-を批判しています。

カキキノの会

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年10月18日(火)20時17分44秒

今年も参加します。よろしくお願いします。

おおもり

カキキノの会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年10月16日(日)22時58分25秒

昨日から今日にかけて、神戸大学氷ノ山ヒュッテ 50周年記念式典に参加してきました。

外壁のペンキ塗りなど、補修も終えて綺麗になっています。

40名ほど方が集まり、記念講演では氷ノ山の植物や小屋の歴史をうかがいました。

金井健二さんも来られましたので、先日の掲示板ご記入のお礼を言っておきました。

武田会長にも参加いただきました。有難うございました。

今日の朝、周辺の森を徘徊し、ナメコ等少々手に入れ昼食時に鍋に。

今年のカキキノの会、諸事情で11月19、20日に行おうと思います。

天候によっては雪が降るかもしれませんが、そのときは温泉と宴会中心で。

参加していただける方は、ご連絡ください。

70・65・60 恵那山 山行き

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年10月16日(日)18時07分25秒

先日の秋の集会の前日にカンさん・石原さん両先輩と私で以前から計画を立てていた恵那山に登ってきました。

10月8日(土)早朝6時に石原さんと西宮で逢いその後名神大津でカンさんと合流その後一路中央道園原迄走行、三連休初日である事もあって少々渋滞あり予定より遅れて園原に到着。

登山ルートは頂上まで最短距離の広河原ルートを選択、登山口の駐車場に着くと時間が遅かったせいか駐車場は満車状態でなんとか路肩に駐車。

カンさん・僕・石原さんの順番で登り始めました。ただひたすら樹林帯の登り景色も何んとなくまいち、カンさんの馬力に驚きながら登って行きました。70才の馬力に驚き・驚きの凄いパワーで頂上へは2時間40分ぐらいで到着しました。

頂上付近も樹木の中で景色は・・・？【日本100名山】昼食後速やかに同じルートを下山。

日曜日に予定のあるカンさんを中津川駅まで送り解散。カンさん石原さん楽しい一日ありがとうございました。

又ご一緒させて下さい。



写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2011年10月13日(木)09時41分51秒

山本君から猫又山の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

大猫山～猫又山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年10月11日(火)23時45分27秒

10月9日10日で猫又山に行ってきました。

台風の影響か、期待した大猫平の紅葉は今ひとつでしたが、うっすら雪を纏った剣岳西面とずっと対峙しながらの山行となりました。

大猫山東の日本庭園のような草地で、チングルマの群落を避けながらキャンプ。朝夕、テント横の岩の上で、ただひたすら剣を眺める贅沢な時間を過ごしてきました。

猫又山山頂では、以前カンさん、浪川さん、大森さんと山スキーを楽しんだ思い出に浸っていました。

急登の中、キャンプ用に大量の水を担ぎ上げたせいか、今日は筋肉痛です。

稜線の所々に池塘があり、水は透明で意外と綺麗だったので今の時期なら利用できそうでした。



Re: カシブのこと

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年10月11日(火)12時51分42秒

平井吉夫さんへのお返事です。

カシブはほんとよく落ちましたね。八方押し出しで彼が懸命にホイッスルを吹きながら流された場面、覚えてます。(其の音色も) 柔らかな表情で喋るので、いきり立つ小生など随分なだめられました。最後に会ったのは、2001年12月1日、山本三郎先生の勲章受章の祝賀会(ホテルおおくら、神戸)でした。奥様がおす車椅子にての来場でした。束の間の会話でした。

カシブのこと

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年10月9日(日)23時25分23秒

ポン、懐かしい写真をありがとう。柏木君のことが押し寄せるように思い出されます。

カシブはよく落ちる山岳部員でした。ほんと、何回落ちたことか。そのため、カシブが岩を登るときは必ず私がビレーしたのを覚えています。南股の奥の掘っ立て小屋に合宿して不帰をねらったときは、合間によくスキーアーをしましたが、八方押し出しを登ったときに小雪崩が起きて、これまた当然のようにカシブだけが巻き込まれ、リーダーだった貴君が青ざめたこともありましたね。あのときカシブは遭難救助を求めるホイッスルを吹き続けていました。

それでもカシブは、ときには痛い目にあったり怪我をしたりしても、めげずに山登りを続けました。テントや小屋でのカシブは、疲れたわれわれ上級生をいやしてくれる可愛いキーパーでした。あの顔でニコリされると、あれこれのムシャクシャが吹き飛んだものでした。それをいま、あらためて思い出し、懐かしさと感謝の念がひしひしと湧いてきます。

まったく長い間ご無沙汰していた末に柏木君の訃報に接し、あのとき会っておけばよかった、このとき会っておけばよかったという悔恨の想いにさいなまれます。いまはただ、ご冥福をお祈りするばかりです。平井吉夫

柏木宏文兄の訃報に接して

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年10月9日(日)19時16分22秒

古い写真を見つけて、暫し彼を偲んでいます。ご冥福を祈ります。合掌

一枚目の写真：1955年(S30)背景は剣岳

ど真ん中のカウボーイハット姿は平井吉夫其の左側で蝉取り帽をかぶってかがんでいる小柄な少年が柏木宏文、平井センキチと柏木カシブ-の間で顔を出しているのが亡き福永健治、センキチの右の大柄な青年は越田和男、其の斜めした、チロリアンハットをかぶっているのは武田国男、めがねさんは笹谷哲也、其の横、廣瀬。小生達S36年卒組が高校二年生の夏山合宿。

次の写真(亡き福永隆一さんの追い出しコンパの宴席にて。福永隆一デカさんの高校卒業前、神戸の中華料理店にて撮った。店名と年月失念)：前列右より福永健治/廣瀬/藤安賢一/福永隆一/山本三郎先生。後列左より牧野宏/平井吉夫(ヤカンかざしてる)/柏木宏文/武田国男/竹原佑爾、ヤカンの下は堀田美昭。



猫又山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年10月8日(土)18時35分26秒

今日は仕事で、今から山準備。

木曾集会を失礼して、妻と大猫山～猫又山に行ってきます。

馬場島から日帰り可能コースですが、あえて1泊して紅葉と剣の雪景色を楽しむことができます。

web ギャラリー アフガニスタン

投稿者：米山悦朗 投稿日：2011年10月8日(土)07時53分44秒

又新しい写真をアップロードしています，今度はアフガニスタンのルポルタージュで足掛け4年かけて撮ったものです。<http://yoneyama3714.jpa-photo.com/afghan01.html> からはってください。

またこのサイトからたどってもらうと小生の他の作品も見られますので一度見てください。

“この作家の別の web 写真展へ”と云う項目をクリックしてもらえば移れます。

北極点無補給単独徒歩到達への挑戦

投稿者：管理人 投稿日：2011年10月8日(土)07時00分13秒

関西大学探検部OBの西川栄明さんから下記案内が届きました。

北極点無補給単独徒歩到達への挑戦

北極冒険家・荻田泰永さんのお話を聞く会

2000年に、冒険家・大場満郎さんの企画「北磁極を目指す冒険ウォーク」に参加して以来、ほぼ毎年、北極圏に通い続ける荻田泰永さん。来年には、日本人初の北極点無補給単独徒歩到達をめざしています。「北極しか知らないから通っているけど、好きなんですね」と語る荻田さんに、北極の魅力や行動中に出合った動植物や地元文化について存分に語ってもらいます。貴重な映像もお楽しみに。

どなたでも参加できます。ふるってご参加ください。

荻田泰永（おぎた やすなが）<https://www.ogita-exp.com/>

1977年、神奈川県生まれ。大学中退後、2000年に「北磁極を目指す冒険ウォーク」に参加し、カナダ北極圏レゾリュートから北磁極への700km徒歩行を経験。初めて極地に触れる。その後、レゾリュートからカナダ最北の集落グリスフィヨルドまでの500km単独徒歩行、国際犬ぞり隊に加わりグリーンランド内陸氷床2000km犬ぞり縦断、レゾリュート～ジョアヘブン～バイカーレイクのカナダ北極圏1600km徒歩行（ノンフィクション作家の角幡唯介氏〔早稲田大学探検部OB〕が同行）など。

開催日時：2011年10月19日（水） 18時45分～20時15分

*会の終了後、関大正門前「CAPE COD」で懇親会を開きます。どなたでも参加OK。

場所：関西大学・千里山キャンパス 新凱風館4階ミーティングルーム

（大阪府吹田市山手町1-3-35 関大正門入って直進。千里山東体育館の裏手）

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html>

*上記サイトの地図で28が新凱風館。阪急・千里線 関大前駅北口から徒歩約10分

内容：荻田泰永さんによる北極冒険に関するスライドトーク

・なぜ、北極へ行くのか。北極の魅力とは

・2011 年春から夏にかけて行ったカナダ北極圏 1600 km 徒歩行の報告

・今後の北極点無補給単独徒歩到達に向けた計画

・北極圏に暮らす人たちとの交流、きびしい自然の中に生きる動物たちの話と映像

・来場者のみなさんとの質疑応答

定員：50 名程度

会場設営の都合がありますので、なるべく事前に参加申込をお願いいたします。

下記のメールアドレスへ。（ただし、飛び込み参加も歓迎）

- ① 10 月 19 日参加希望、② 氏名（グループの場合は代表者名と人数）、③ 所属、
- ④ 懇親会に参加（する、しない、未定）

をご記入の上、お申し込みください。

kutanken@gmail.com（西川）

参加料：無料（懇親会参加者は会費 3000 円程度）

主催：関西大学探検部 <http://www.kuec.org>、関西大学探検部 OB 会

担当：水谷(探検部主将)、織田（OB）、西川（OB、お問合せは、メールで西川まで）

山嶽寮 66 号

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011 年 10 月 7 日(金)23 時 54 分 34 秒

会報お送りいただき感謝いたします。福田さん労作ありがとうございます。

伊藤文三さんの佐野ゲンさんへの「中身しっかり書き方軽快」のお言葉、赤松令夫人の「きりり」の御寄稿、ヤント先生への先輩諸氏の思い、若い佐野さんの紀行、みんなすらすらと拝読いたしました。

前の会報担当の感想です、すらすら読める記事は大体デキがイイ。
雨宮さんの論考もあれだけ書かれるには資料の読みこなしが大変、と思います。

井上事務局の「案内 180、返信 7・80、会費負担半分程度」にもいろいろ思いがあります。ワタクシ事務局手伝いと編集手伝い、かれこれ 10 年ほど作業をしたことがあります。大事なものはみんな大事にしないとなくなってしまいますヨ。なくなってからシマツタと思うのは凡夫の業、とかどこかにあったような気がします。

ところで、小川さんの前号に予告の「海軍航空隊山岳部記」、今号に掲載なく残念。次号をお待ちします。

もひとつところで。

「きりり」の赤松令夫人、この写真のご婦人でしょうか。木曾福島でどなたかお尋ねくださいませんか。



訃報

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011年10月7日(金)14時43分12秒

柏木宏文（S33高・S37大経卒）さんが去る9月16日膀胱がんで亡くなられた旨、本日奥様より連絡戴きました。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

尚、ご葬儀・告別式等既にお済ましとの事です。 合 掌

写真

投稿者：管理人 投稿日：2011年10月6日(木)09時01分29秒

松山君が槍の写真を送ってきました。

アルバムにUPしました。

Re: ポンポン山

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年10月6日(木)08時34分54秒

> [No.1463\[元記事へ\]](#)

塩崎将美さんへのお返事です。

- > 高槻に住む長田高校山岳部の先輩に誘われてポンポン山に行ってきました。
- > 高槻駅で待ち合わせバスに30分、終点川久保から溪谷沿いを歩きだす。最初は林道、途中からは登山道、ずっと水の音を聞きながら歩く。全国水源の森百選に選ばれた森はうっそうとして気持ちが良い。途中出会ったのは前後して歩いた男性1人と山仕事のお兄さん3人に尾根に出る前にすれ違った5人。静かな5キロの道をユックリ登り頂上へ。頂上はさすが人気の山、30人ほどが写真を撮ったり食事をしたりしました。はやりの可愛い山ガール達も。勿論記念写真のシャッターは彼女に押ししてもらいました。眺めはバグン、大阪梅田のビル群から足元まで大阪平野、その向こうに生駒山、あのへんが奈良かな？東を見ると京都が見え京都タワーも本願寺の大屋根も確認できる。その向こうに比叡山と比良の山々、北は愛宕山が大きく見え亀岡も見える。ほんとに眺めの良い山です。
- > 食事の後、本山時、神峯山寺経由で下る、バス停を通り越しおまけに摂津峡を散策、頂上から8キロをノンビリ歩きました。この二つの寺はもみじが多く見られ紅葉の時期に再訪してみたいと思いました。
- > ポンポン山の標高は頂上の看板によると678.9m。ほんまかいな、数字が綺麗に並びすぎ、最後の9はおまけかな？
- > 写真の看板の右後ろが京都の愛宕山です。
- >
- > 川久保バス停（標高230m）10:40 ~ 頂上（678.9m）12:25 ~ 本山時1:50 ~ 神峯山寺3:00 ~ バス停4:30

去る6月7日、同じコースで登りました。一昨日は愛宕山に登り、心地よい涼風を満喫。何れもJACの「ゆるやか山行」で、平井一正先生も大変お元気に参加されました。因みに芦屋奥池から苦楽園方面に下った所に""ゴロゴロ岳""有り、標高565.6M（ごろごろ）通称雷山と言われてると聞きます。

ポンポン山

投稿者：塩崎将美 投稿日：2011年10月3日(月)09時41分29秒



赤松ご夫妻がご出席

投稿者：福田信三 投稿日：2011年10月2日(日)22時27分21秒

井上さん

私は秋の集会に不参加となりますので、赤松ご夫妻によりしくお伝えください。

特に奥様には山嶽寮の原稿をいただき深く御礼申し上げます。

福田

今日の部室

投稿者：福田信三 投稿日：2011年10月2日(日)22時20分50秒

昨日、今日（10月1日～2日）学園でタブレットPCの講習会がありました。昼休みに“誰か居るかな？”
と思い部室まで出かけましたが、写真の通りです。誰も居ないのは日曜日だから当たり前なんですね。

さて、2012年度の“山嶽寮”はタブレット用に自炊版を目指します。大きなメリットは、印刷代不要-製作費
極安、カラー写真満載などなどたくさんあります。もちろん並行して、印刷本も制作します。

いよいよ今月半ばには“iPad5”が出るとのことですよ。

乞うご期待。



秋の集会・駒王 2

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年10月1日(土)08時16分34秒

昨日、旧制14理の赤松 二郎 から昨年同様に奥様と参加致しますと連絡があり、これで前回掲示板でお知らせいたしました参加者と合わせると17名となりました。

宿泊施設にはまだ余裕がありますのでご連絡【ハガキ・掲示板・電話・Mail】下さい。多数の参加をお待ちしております。

Re.Re, 秋の集会・駒王

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月29日(木)12時48分35秒

コッシンに続いて私も欠席です。明日9月30日より1ヶ月余のオーストリア一周旅行に出かけます。50年前の留学時代には、殆どオーストリア国内の旅に出ることなく、オーストリア西端のBREGENZに近いランクパイルという処にある友人の家へ休暇中に遊びに行くだけでした。それで、今回はオーストリア全体を一周する計画をたてたのです。家内と一緒にレンタカーで回ります。もし、新雪がなければオーストリアの最高峰グロースグロックナーの見えるホッホアルペンシュトラッセもハイリゲンブルートから走る予定です。ついでと言うと友人に叱られますが、留学時代の親友二人と家族も合わせて友情50周年記念コンパをすることになっています。これが今回のハイライトです。帰国したらまた報告します。

Re: 秋の集会・駒王

投稿者：越田和男 投稿日：2011年9月28日(水)18時54分22秒

> [No.1457\[元記事へ\]](#)

井上 知三さんへのお返事です。

> 秋の集会のお知らせ

私を含めて昭和36年組の出席者がなく、申し訳ありません。
乗鞍鈴蘭時代の名幹事・渋谷一正君の久々の出席を嬉しく思います。

小生この秋は44年ぶりのカナダ行です。井上君たちが登ったMt. ロブソンを眺めてこよと思っています。

秋の集会・駒王

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年9月28日(水)06時11分36秒

秋の集会のお知らせ

現在の参加者を下記の通りお知らせいたします。

砂川 彰雄・雨宮 宏光・鈴木 頼正・鳥居 威男・二谷 和成・武田 雄三・安井 正・國分 廣昭・塩崎 将美・石原 浩二・渋谷 一正・松下 哲夫・米山 悦朗・川村 静治・井上 知三 以上15名 例年に比べて少し参加者が少ないようです。

今後の参加者をお待ちしております。ご参加のほどよろしくお願い致します。

富士山

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年9月25日(日)22時17分8秒

ご近所山本君のお誘いで行ってきました。

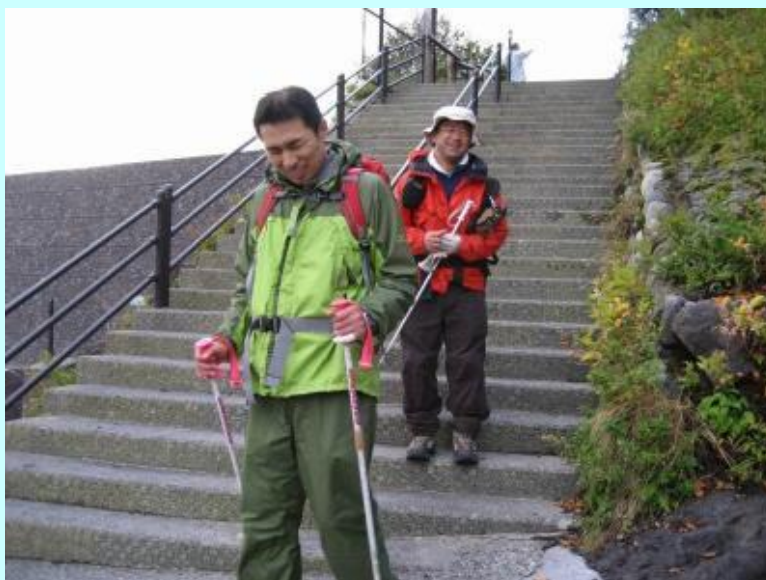
阪大のS先生は初めての高い山が雨とみぞれ、ただ登るのも大変なのに計測作業と馴染みのないおっさん二人とで苦勞も多かったのではないかと思います。

写真添付します。

1枚目 頂上をバックに。200m下りるたびに計測。この辺りは好天です。

2枚目 2400に下りてきて、「もう歩かなくていい！」の笑顔。

3枚目 こんな銘柄があるんですね。車中宴会用に持参しましたが、疲れて祝盃どころではなくそのまま持ち帰りました。





富士山 初冠雪

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年9月24日(土)23時39分27秒

台風後の寒気が入り、富士山は初冠雪。その真っ只中、大阪大学S先生と大森さんとの3人で登山と放射線の測定を行いました。

23日5:30 富士宮口駐車場でS先生と合流、天気が悪いのでしばらく待機。

6:30 雨もやみ、天候回復の天気予報を信じて出発。でもまたすぐに雨が降り出す。七合目付近からは曇となり、登山道にも積もり始める。

9:00 八合目避難小屋に入って、しばらく様子を見る。10:30 曇もやみ視界も出てきたため、再び上に向けて出発。

12:30 山上の浅間大社奥宮に到着。社で風をよけて休憩し、裏手 3720mで放射線の測定を行う。

13:30 下山を開始し、標高 200mごとに測定を繰り返しながら、17:00 富士宮口に無事下山。

S先生の十分データが取れたという判断で、翌日予定していた須走ルートからの測定はキャンセルに。その夜は、道の駅すばしりで車中泊。

24日朝、道の駅の駐車場から富士山が望める。晴れた空にてっぺんが白くなった富士山が美しい。

9月に雪山に登ったのは初めてです。さすが富士山。

S先生にとっては、初めての本格的登山が3700mの雪山となり、かなり厳しかったと思います。でも、良く頑張られました。

1日で測定を終えるのだったら、23日はゆっくりして24日に登ればよかったかも。でも終わってからの「たられ

ば」は意味なし。

大森さん、サポート有難うございました。



富士山

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年9月20日(火)22時38分52秒

22日夜発で、阪大の先生と大森さんとで富士山へ行きます。

阪大安全衛生管理部のお手伝いで、5合目から標高200mごとに放射線量調査を行い福島原発事故の影響を調べます。

福島原発から北西方向に高い値で放射性セシウムが検出されていますが、静岡のお茶で検出されたように他の拡散ルートも有るようです。

興味あるデータが取れば、来年予算を計上して本格的な調査を行うそうです。

Re, 仙吉さん

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月20日(火)11時56分49秒

雪見会でのお礼を忘れないようにします。

なんせ、無茶苦茶物忘れのひどい年齢になってしまつたもんなあ。頂上直下でアンザイレンなんかしなかったのと違うか？ FIXがあったことやし。また、まだナイロンザイルなんて無かった時代とちゃうか。60年も前のことやでえ。アンザイレンしとつたら、頂上でもほどかへんかったのと違うか。そやけど、写真にはザイルは撮つたらんかったんと違うか。

頭の中には頂上での写真が明瞭に残ってるけど、ザイルはつけてないと、ほぼ断言できる。着けとつたら、帰りのこと考えて、はずすな！ と当時のおれやったら言いそうにおもうけどなあ。

センキチへ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年9月17日(土)07時23分27秒

アンザイレンしてなかったのでは。コンテイヌアスの覚えないし。雪深き杓子岳に、子供がよう登った事ヤナア。遠足の延長のような気分で、苦しかった事は覚えておらんがね。貴兄はリーダーやったので苦労したようやけど。

Re: 中学生の金字塔

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年9月17日(土)06時55分29秒

田邊 潤さんへのお返事です。

> 仙吉さん、ポンさん

> 頂上直下の神戸大のFIX ザイルを使わせてもらったかどうか小生には全く記憶がありません。この登頂が成功すれば、中学生を含む高校山岳部の成果の金字塔である、という功名心で頭がいっぱいだったのでしょ。だから、頂上での三人の写真、誰にシャッターを押してもらったのかも記憶にありませんが、小生にとっては一番誇らしい写真です。

> なるうことなら、いま同時期に同じ三人が同じ写真を撮つたら、もっともとおもろいやろうな。醜悪やろうけど。

> ガチャ

賀茶さん、ほんま、できる事なら、同じ時期に、せめて樺平辺りで撮りたいです。合成写真も有り。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年9月16日(金)21時06分57秒

ガチャ、ポン。たびたびすみません。あのときわれわれはアンザイレンしとつたかな？

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年9月16日(金)20時26分22秒

ガチャにお願い。残念ながら私は雪見会に出られません、神戸大の方々にフィックスのお礼をよろしく願います。あのときわれわれは一応ザイルと三つ道具を持っていったけれど、それを使うことになったら、えらく時間がかかったでしょうね。

中学生の金字塔

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月16日(金)08時37分28秒

仙吉さん、ポンさん

頂上直下の神戸大のFIXザイルを使わせてもらったかどうか小生には全く記憶がありません。この登頂が成功すれば、中学生を含む高校山岳部の成果の金字塔である、という功名心で頭がいっぱいだったのでしょ。だから、頂上での三人の写真、誰にシャッターを押してもらったのかも記憶にありませんが、小生にとっては一番誇らしい写真です。

なろうことなら、いま同時期に同じ三人が同じ写真を撮ったら、もっともとおもひやろうな。醜悪やろうけど。ガチャ

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年9月15日(木)11時13分3秒

ポン、ありがとう。うっすらした記憶を確かめることができました。(ガチャへの質問では1953年と書いたけど、1954年の間違いでした。)

春の双子尾根

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年9月15日(木)10時29分46秒

以下は1954年(S29)の神戸大学山岳部の記録です。

小日向尾根より唐松岳(3月23日--4月3日)：

27日晴れ8.45：BC発 10.10カンバ平13.00FIX13.40ジャンクション
15.50杓子岳

間違いなく此のFIXザイルを使わせてもらってます。確か杓子岳頂上直下にテントを張っておられたと記憶。ここから神戸大の人と一緒に登頂したと思います。

""何や子供がおるやん""と誰かが言われたと思うも、センキチ、そや なかった？

我々同様、猿倉小屋をBASE HOUSEとされていたようです。

春の双子尾根

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年9月15日(木)07時26分39秒

写真を見たりして懐かしみ乍ら記憶を辿ってます。杓子岳山頂で撮ったガチャさんを真ん中にセンキチ/小生が写ってる写真は""エスキモ-の親子みたい""追報します。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年9月14日(水)22時54分53秒

前項のガチャへの質問、ポンにも聞いている。どうやったんやろな？ あのと時神戸大が後立の積雪期縦走をやとって、その隊にわれわれが遭遇したんやないかしら。猿倉におったときの記憶にも、なにやら神戸大の影がちらちら浮かぶ。なにしろ60年近い前の話やから、いろんなことが混じってるんやと思うけど、あのと時中学生やった同期のポンの記憶を聞きたい。 仙吉

ガチャに質問

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年9月13日(火)22時59分58秒

ガチャに質問。1953年の春三月、田辺、広瀬、平井で双子尾根から杓子岳に登ったとき、頂上直下で神戸大学が張ったフィックスを使わせてもらったような気がするのですが、まちがいでしょうか？ また、頂上に立つ前記三人の写真があるのですが、あれも神戸大の人にシャッターを押してもらったのではないのでしょうか？

Re.雪見会関連のお返事

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月13日(火)13時42分44秒

金井健二様

大変な長文で応答くださり誠に有難うございます。

貴文に懐かしさ一杯で感激しております。いちいち反応しておりますと、あまりにも長文となり、他の方々にも迷惑ともなりますので、来年1月の雪見会の時にゆっくりお話しさせていただければと思います。取り敢えず御礼まで。

ガチャ

雪見会関連

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年9月13日(火)12時59分2秒

金井健二様

早速の御投稿、有り難う御座います。大変興味深いお話も有り、楽しませて戴きました。これで又一段と神戸大学山岳会とKACの交流が深まれば結構な事と存じます。

Re: 雪見会関連のお返事

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年9月12日(月)21時35分45秒

> [No.1439\[元記事へ\]](#)

金井健二様

ご投稿有難うございます。

思いがけない広がりには驚いています。

山を通して、人のつながりって面白いですね。

1月の雪見会を楽しみに待っておきます。

飯田様

お手数をおかけしますが、よろしく願いいたします。

雪見会関連のお返事

投稿者：金井健二 投稿日：2011年9月12日(月)11時14分38秒

田邊潤様、廣瀬健三様、山本恵昭様

田邊様、私のことをご記憶くださりありがとうございます。私もガチャさんのお名前ははっきりと覚えています。来年の雪見会には是非とも参加させていただいて、50数年ぶりの再会を果たしたいと思っています。私の現役時代、親しくしていた山の友人戸田仁さん（甲陽高校山岳部、甲南では山岳部→スキー部）を通じて当時の甲南山岳部の方々とはかなりお付き合いができていたと思います。そして当時のガチャさんはおおらかな甲南ボーイの代表的なヤンチャだったという印象です。

廣瀬様、甲南山岳会の掲示板のお知らせありがとうございます。いつもロートルのヨレヨレ山歩きにお付き合いいただき感謝しております。

山本様、お手数をおかけしました。神戸大学山岳会には金井が二人いますのでややこしいです。JAC 関西支部では、以前は便宜上私を金井兄、良碩ヨシノを金井弟と区別していました。

<甲南と私>

昭和19年～25年、私は甲南のすぐお隣の灘中（23年から灘高）に在籍、敗戦翌年の春に復活した山岳部に入りました。敗戦後、しばらくの間、戦災で焼けた甲南小学校の児童が灘中の校舎に同居していて、同じ校庭で遊んだり野球部の対校試合の応援をしたりしていました。灘中は甲南ほどではありませんが初代校長が山好きで登山を奨励していたようで、私の在学中、山行は岩登りも含めて自由でした。昭和24年の春、旧制甲南高校の伊藤さん（ニャン）河崎さん（オタマ）と北鎌尾根に行き、冬山とはこんなに寒いものかと実感しました。初対面するとき、ニャンさんは「僕（は）ロッパ（灘高同期の伊藤喜久三君）の従兄弟です」と自己紹介され、すぐ親しくなりました。オタマさんからは甲南と灘の中間にあった女学校を甲南用語ではUSということを知ってもらいました。先年、廣瀬さんよりオタマさんの「北鎌の思い出」（時報1959年）のコピーをいただき、この山行を懐かしく思い出しました。

神戸大学山岳部は昭和25年～29年です。香月慶太さんは私たちの大先輩でもあります。甲南山岳部とのお付き合いは上記の通りですが、昭和27年秋には、当時芦屋高校生だった砂川さんと国体の鳥海山登山に行っています。甲南山岳部ではありませんが、ダンディな甲南ボーイだった森本和夫さん（モリス）とは神戸大学時代のスキー仲間、昭和28年夏にはわざわざ涸沢にまでテントとスキーをかつぎ上げ一緒に夏スキーをしました。最近でも八方には何回か行きましたし、この3年はチロルにも一緒に行っています。またモリスを通じて、「海のシルクロード」の三杉隆敏さんのお宅にも泊めてもらって陶磁器の話や山の話（神戸の登山界にも詳しい相当な山好きです）をしたりしています。また私の卒業後ですが、灘高で地学の先生をして山岳部長でもあった築山さんは甲南OBでしたが、この築山さんからは小川守正さんの「青春の山・熟年の山」を頂き、さすが甲南山岳部は凄いなと感じました。田口二郎さんの偉大さは言わずもがな、「山の生涯」上下巻とも大切にしております。

あと何年行けるか、山歩き、スキーとも既に秒読み段階ですが、これをご縁によろしくご交誼のほどをお願いします。

Re: Re, 雪見会

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年9月9日(金)16時25分52秒

田邊潤さんへのお返事です。

金井氏がリーダーの当該チロルスキーツア-は大変好評で毎年の恒例行事で、何十年と継続している由ですが、今年で終わりかと聞いてます。今般、同氏はK A Cの掲示板に初投稿して頂けそうなので、相談されてはどうでしょうか。同氏は彼の地で相当な顔のようです。J A C会員の中で来年も行きたいという人が多いのでは。モリスさんは体調を崩しておられる様です。数年前お会いした時は、お元気でしたが。

Re, 雪見会

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月9日(金)14時51分46秒

広瀬さん有難う。金井さんの消息を聞いただけでも良かったです。感謝します。
聞き捨てられないのは、JAC 関西支部の「チロルスキーツア-」です。来年(2012年)も開催されるのかどうかお知らせくだされば、大変ありがたいです。興味があります。実は甲南のスキー愛好家にも、来年オーストリーヘスキーに行かへんかと声をかけているとこで、今は判らんけど行きたい、という人もおられます。モリスも一緒ならもっと面白いと確信しますので、広瀬さんニュースを知らせてください。

「ヒマラヤ」をやっと見えました

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月9日(金)14時39分9秒

岐阜でこんな映画をやっているとこなんか無いと考え、名古屋市内をネットで探しましたら、今日の午前中までの上映とのこと、ラストチャンスに何とか間に合いそうだと今朝見に行ってきました。良かったです。皆さんの評判を聞いていても、くさず話がないと思っていましたが、案の定ある種の感激を得ました。街にお住まいの方々には、もうはるか彼方のことでしょうか、田舎住まいには、やっこさ間に合ったというところでした。

雪見会

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年9月9日(金)13時41分15秒

金井健二氏と話しました。同氏に「甲南山岳会掲示板」を覗いてみて下さいと、お願いしました。

田邊さんへ；、同氏はガチャ（賀茶）さんの事覚えておられます。亡きオタマさん、砂川さん戸田さん、それに伊藤ニャンさんの事は良く話題にのぼってます。同氏はJ A C 関西支部のチロルスキーツア-の責任者を長年勤められました。昨年／一昨年と例のモリスさん（森本先輩）がドイツ在住の娘さんと参加されてます。小生、お誘いを受けましたが、とてもスイスの氷河を滑り下る自信も無く、残念乍ら不参加でした。モリスさんとは良く滑って居られるようです。

金井健二氏について

投稿者：sherpikangri 投稿日：2011年9月9日(金)08時19分11秒

雪見会、神戸大学山岳会の参加をお願いしております。よろしく願いいたします。金井健二氏も参加を表明されております。なお、田邊様のコメントは直接金井健二氏に email にてお知らせしました。弊会には金井良碩氏とスキーの達人金井健二氏がおられます。60年前とのコメントと合わせて該当者は健二氏と考えられます。神戸大学山岳会からの雪見会参加希望者は現在のところ10名強となっております。 神戸大学山岳会 井上 達男

<http://http://blue.ap.teacup.com/sherpikangri/>

Re: 雪見会、金井さん

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年9月8日(木)21時11分24秒

> [No.1428\[元記事へ\]](#)

田邊 潤様

田邊さんのおっしゃっている金井さんは健二様ようです。
神戸大山岳会のHPにこんな記事がありました。

「金井健二会員が志賀高原で開催されたレルヒ少佐が日本にスキーを伝えて100周年のセレモニーに出席されました。金井さんの父君がスキー普及に貢献されていたことを初めて知りました。

記事に金井健二さんとお嬢様を勝三郎氏の孫とひ孫として紹介されていますが、これは間違いで、金井勝三郎氏は金井健二さんのお父さんだとのこと。訂正いたします。」

http://www.acku.net/acku_net_news_2011/Kanaikenji-ski-history.pdf

神戸大山岳会のHPに、田邊さんのコメントと甲南掲示板のアドレスを投稿しておきました。金井健二様が見られたら、甲南掲示板に投稿して下さるかもしれません。

高遠スキー合宿

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月8日(木)10時27分56秒

飯田さんより早々と雪見会のスケジュールが提示されましたので、例年の高遠スキー合宿は、2月11-12日としたいと思います。

Re,雪見会参加者

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月8日(木)10時23分14秒

広瀬さん、御手数をおかけしますがよろしく。前もってお礼を申し上げます。

雪見会参加者

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年9月7日(水)14時15分3秒

金井健二氏と思います。旅行されてますので、又聞いておきます。

Re: 雪見会、金井さん

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年9月6日(火)21時09分17秒

> [No.1428\[元記事へ\]](#)

田邊 潤様

金井良碩さんは遠征のときの留守宅本部を引き受けてくださったこともあり、神戸大山岳会の理事でもあるので、結構理事会などでお話する機会があります。日本山岳会の関西支部のお世話をされていますので、廣瀬さんが良くご存知だと思います。

金井健二さんはすでに重鎮の感があり、神戸大総会のときぐらいしか接点がありませんが、何かの機会に聞いてみます。

ちなみに健二さんであれば、雪見会の参加希望メンバーに名前があります。

雪見会、金井さん

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月6日(火)08時52分7秒

山本さん

私も名前まではわかりませんが、私の高2の時に金井さんが大学、私が2年だぶっていることを計算に入れても現在78歳を超えていることは無いとおもいます。おそらく健二さんのほうだろうと直感でそう思います。恐れ入りますが、年齢で調べてみてくださるようお願いいたします。ガチャというあだ名を出していただいて結構です。

Re: 山本恵昭さん、雪見会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年9月5日(月)20時33分46秒

> [No.1426\[元記事へ\]](#)

田邊様

神戸大 OB には、金井健二さんと金井良碩さんの二人が居られます。
どちらの金井さんでしょうか。

今のところ、神戸大の HP で参加希望にエントリーされている方は以下の8名です。
具体的にはもっと近づいてから確認します。

参加予定：原田聰、有馬、緒方、井上達、壺阪、田中信、金井健、豊田

山本恵昭さん、雪見会

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年9月5日(月)11時02分30秒

来年の雪見会に神戸大に声をかけてるなら、是非「金井さん」を引っ張り出してください。とてもスキーが上手な方で、高校時代の私の目標でした。伊吹で一緒したことがあります。60年ぶりにお会いしたいです。
よろしく。

Re: (無題)

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年9月5日(月)00時31分16秒

> [No.1424\[元記事へ\]](#)

飯田様

1月21・22日でよろしくお願ひします。

神戸大にも、すでに声をかけています。

台風風の風で光ケーブルがこすれて断線、今日の夕方までネットも電話も不通になっていました。

テレビはケーブル契約ではなかったので見ることができました。

もしテレビも光ケーブルにしていたら、台風の中何も情報が入らず、連絡もとれない状態に。

光ケーブルが案外災害に弱いことを実感しました。

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年9月4日(日)10時27分20秒

先日 南井 越田 平井さん達と 天狗原に行ってきました。自然園から散歩がてらちよいと。と思って行ったら、2時間もかかってしまいました。あーなさけな。

それでもスキーはやりませ。来年の雪見会。1月21, 22日中心に、と考えてます。

山本(恵)君 日程支障あるようなら連絡ください。

<http://6808.teacup.com/konanalpine/bbs>

J A C 関西支部の集い

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年9月1日(木)16時23分35秒

去る8月25日、夏期懇親会が大阪駅前第一ビルの大阪凌霜クラブでありました。当日の講師は松浦輝夫氏でヒマラヤ巨峰登山(ローチェ・シャール/エベレスト/K2)のあまり聞いた事が無かった話も披露され、良かったです。分けても、ローチェ遠征の際、雪崩れに巻き込まれた隊員の命がけの救出作業の話は臨場感に溢れてました。ヒマラヤ遠征登山で赫々たる足跡を残した四名の方々の講演がここ数年来毎年有ります。新しい順に今般の松浦氏/平井一正先生/平林克敏氏/重廣恒夫氏です。各氏各様の登山哲学のような物が感じ取れ大変興味深かったです。平井先生の「探検/学究をもベースにした京大登山」、企業人としても一流で、戦後の同志社大学山岳部のエース平林氏、どちらかといえばプロの登山家の重廣氏。松浦氏が早稲田大学山岳部に入った時、新入部員が120名ほどいたが、残ったのは5/6名。日常的には耐久力と精神力をつける為のマラソンとチームワークを培う為のラグビーで鍛えられた由。同氏曰く

””ONE FOR ALL、ALL FOR ONE のSPIRITが早大山岳部の精神であった。””

学生登山の真髓のような物を訴えられた様な気がしたは、小生だけでは無かった様です。

因みに同氏の大阪の工業高校時代は山岳部/ラグビー部/ソフトボール部の掛け持ち、夏には水泳部員でも有り、運動部部活に明け暮れた高校生時代だったそうです。

ファブリ はな様

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年8月22日(月)11時26分24秒

あまりにも異質な方が我々のサイトに入ってきた、というのが夏休み明けで久しぶりに開けてみた我々の掲示板のあなたの投稿文でした。決して不愉快ではないけれど、誰もどうしてよいか判らず、一週間も反応していないのだと私は直感しました。それで、もっとも女性相手が苦手の私田邊がご返答のご挨拶をいたします。ようこそ Herzlich Willkommen!、我々のホームページと掲示板へ。我々は山登りの仲間の集まりですから、少年時代からヨーデルには憧れておりました。音楽才能のある仲間も数人はおりますが、ヨーデルを歌う奴は聞いたことがありません。貴女が、何を目的にあるいは何を望んで我々にコンタクトされてきたかわかりませんが(これを明確にされたらもっと貴女とコンタクトする者が出てくると思います)、掲示文を見ていただいてもお分りの通り比較的眞面目な中学から大学までの一貫校である甲南山岳部の OB の集まりである甲南山岳会へようこそお出でいただきました。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2011年8月22日(月)06時58分6秒

山本恵昭君からリンチョウ沢の写真が届きました。
今回はアルバムではなく山行報告のページにUPしました。

<http://homepage2.nifty.com/konan-alpin/sankou%20houkoku/2011rincyo/rincho.html>

「ナンガ」の映画を見て

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年8月21日(日)08時06分38秒

感想の続きを記します；映画が始まりすぐに、字幕監修--平井吉夫--と大きく出たので、俄然、興味を覚える。普通、字幕；戸田奈津子などと最後に出てくる物とばかり思っていました。それにしても、もうチョットでもドイツ語の勉強をしておきたかったナア。物凄い雪崩れの画像を見て、三月の東北の津波のTVの画面が頭をよぎりました。自然の猛威の前で、人間は如何に弱い物か痛感。メスナ-兄弟の母親役の女優は実力派らしく、存在感あり。男親とは違った立場から、危険な山に登る息子達への思いを控えめに演じてる。あまりにもレベルが違いすぎますが、小生が合宿に行く前に、お袋が何時も嘆いていたのを、想起しました。親父は""ドンドン行け行け""でしたが。

(無題)

投稿者：福田信三 投稿日：2011年8月21日(日)06時52分26秒

越田さん
調べてみたら全国に富士山と名のつく山は433もあるとのこと。
そして、県別では37山の兵庫県が最多だそうです。

<http://busgaido.web.fc2.com/zatu2-1fuji2.html>

新湯富士 1184m

投稿者：越田和男 投稿日：2011年8月20日(土)11時06分32秒

一応富士山のような格好してます。



富士山に登った

投稿者：越田和男 投稿日：2011年8月20日(土)11時02分15秒

海拔 1,184m の富士山に登りました。

塩原温泉の裏山のひとつですが、国土地理院五万分の一図にちゃんと「富士山」と載っており、土地の人は「新湯（アラユ）富士」と呼んでいるようです。

大沼公園の登山口から標高差 200m 強、約一時間の登り、暑い最中に大汗をかいて登るも、眺望なし。アブやら何やらいっぱい虫に刺されて、今日はあちこち痒くてしょうがない。

泊まった温泉は塩原元湯といって、塩原から数キロ奥の山の中。露天風呂がすばらしかったが、ここもアブだらけ。ささやかな避暑の旅でした。

「ナンガ」の映画を見て；其の一

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年8月19日(金)18時01分43秒

久しぶりにパンフレットを買いました。仙吉のCRITIQUE、分かり易く良かったです。

入場料：1,000円、此の冊子700円、高すぎる、シャーナイナ！

大昔ミラノで買ったメスナの「TUTTE LE MIE CIME」を

読み直し？てます。写真はともかく、文書は難しく難儀してます。KACの誰か

ITALY語に堪能な人居ませんか？

Re: 光岳リンチョウ沢

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年8月17日(水)00時13分46秒

> [No.1414\[元記事へ\]](#)

> 山本君、いい山歩きをしていますね。

有難うございます。

なかなか奥深いところでした。

なかなか今はこのような山登りのできる機会が少ないように思いますが、一昔前には、皆さんこのような自然に溶け込む山登りをされていたのですね。

> 安全ピンの仕掛けで 20 センチ級一匹釣り上げたのもさすがです。

リンチョウ沢に入ってから、竿を出す余裕がありませんでした。

もっとも上流は保全地域なので釣りも禁止ですが。

柴沢の水はとても澄んでいて岩魚が良く見えたのですが、リンチョウ沢の水はなぜか濁りが入っていて岩魚を見かけることはできませんでした。上部に崩壊地があるからでしょうか。

沢の水が濁っているのも、増水するのではというプレッシャー要因になりました。

> 単独行での強行軍がちょっと気になりますけど、これは年寄のひがみかも。

年々、体力の低下を感じます。行ってみたい所には、「今のうちに行っておかない」という気持ちはあります。

「野生動物ならもう寿命は過ぎている」と自分に言い聞かせ、これからも安全第一を心掛けます。

今日は留守になっている娘の下宿に私と妻、義母、義姉の 4 人が集合し、大文字の送り火を見てきました。3 人は泊まり、私は明日から仕事のため帰って来ました。

数年前、カンさんの案内でたくさんの方々とワイワイ呑みながら、大の字の横で五山送り火をみたことを思い出しました。

Re: 光岳リンチョウ沢

投稿者：越田和男 投稿日：2011 年 8 月 16 日(火)18 時 45 分 57 秒

山本君、いい山歩きをしてますね。

安全ピンの仕掛けで 20 センチ級一匹釣り上げたのもさすがです。

単独行での強行軍がちょっと気になりますけど、これは年寄のひがみかも。

管理人塩崎さん、こういう手記はぜひ「山行記録」か「個人投稿集」にアップしておいてほしいとおもいます。よろしく。

光岳リンチョウ沢

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011 年 8 月 15 日(月)22 時 23 分 47 秒

昨年、光岳に行ったときに小屋番のおじさんから、「光岳の南側にリンチョウ谷という沢がある。下からの林道が崩壊しているのでめったに人が入らない。60cm の岩魚を釣った人が居る。」そんな話を聞かせてもらった。しかもダルマ沢出合から上流の大井川源流部は、本州で唯一の原生自然環境保全地域に指定され、温帯性の針葉樹林が保存されている。これはまだ体力のあるうちに行くしかない。

8 月 10 日仕事が遅くなり帰宅後準備をしていると、結局 11 日夜 3 : 00 の出発となった。寝不足頭で運転していて西宮で名神高速に乗り換えるのを通過してしまう。なんだかんだで、登山口易老渡 10 : 00 着。ここまでの林道は、今朝まで土砂崩れで通れなかったそうである。出遅れたのが幸い。

荷作りをしていて、竿と餌のミミズはあるのに釣りの仕掛けを忘れたことに気付く。夜中準備をして部屋に置いてきてしまったようだ。下山した登山者に聞いてみるが百名山目当ての方々には当然釣具など持っていない。せつかなので安全ピンを曲げて釣り針を作り、縫糸を釣り糸代わりに一応持っていくことにした。

易老渡 11:00 発、易老岳 15:15 着。静高平で水を補給し光岳小屋テント場 17:30 着。夕食に途中で採ったアマタケスープを追加。雨は降らないが、ガスが出て寝袋なしでは寒い。

12 日小屋横から御来光。富士山に雲がかかっている。5:30 発、光岳への道と別れ南に尾根を下る。途中荒れているところもあるが赤いビニールテープと樹種を書いたプレートに導かれてひたすら下る。柴沢吊橋は渡るのに勇気が要った。傾いていて良く揺れ、木の板は朽ちかけている。気分はインディジョーンズ。渡り終わると光岳登山口という立派な看板があった。林道が通れた頃は人気のコースだったのだろう。寂れた林道をちょっとで柴沢リンチョウ沢出合 9:15。草の広場に整備された小屋があり、中には薪ストーブがある。鍋や調味料が置いてあり、釣師たちのベースになっているようだ。こんな所でのんびり釣三昧もいだろうなあ。沢に入るプレッシャーに負けそうになる。

入渓準備をしようと小屋の横から沢へ降りていく。柴沢の淵にゆったり泳いでいる岩魚を見ると、釣りのスイッチが入ってしまった。安全ピン仕掛けにミズをつけて放り込むと 20cm 級が釣れた。しかし後が続かない。賢い岩魚にはもう見破られたようだ。強い日差しの中、2 時間ほど粘って諦める。これで緊張感もほぐれた。

11:15 沢装束に身を固めリンチョウ沢に入る。膝から腰くらいの渡渉を繰り返して進み、やがてゴルジュとなる。滝にかかった丸太を跨いでよじ登ったり、巻いたりしながら順調に進む。広河原へ抜ける手前、標高 1240m 付近に巨岩の急傾斜帯があり豪快に水しぶきを上げる滝に行く手を阻まれる。左岸を高巻くが、いくら登っても岩混じりのブッシュ帯でトラバースの弱点が見つけれられない。諦めて懸垂下降を繰り返していると、獣道を見つけた。懸垂しながら辿ると、最後は草付きルンゼを経て沢へ降り立つことができた。結構衰弱した。右岸に行くべきだったかもしれない。すぐに谷は開け、明るい河原を進むとダルマ沢出合 15:00。先に進む気力はなく、今日はここまでとしてテントを張る。

見上げるとはるか上の緑の尾根に岩が白く輝いている。光岳山頂は展望もなくさえない山だが、ここから見ると確かに不思議な魅力をもっている。

明るい河原に緑豊かな森、最高のロケーションのはずだが気分がさえない。あまりに深い自然に圧倒されている。地図で見る限り、ここからなら左岸の斜面を登れば降りてきた道に逃げることでできそう。さらに奥に進むか、エスケープするか、迷い続ける。

13 日天気は上々。先に進むことにして 6:00 発。ちょっとした高巻きでカモシカにばったり遭遇、距離 5m。こちらも驚いたが、向こうもびっくりにした様子。しばらく時間が止まった感じ。急斜面で身動き取れないでいると、やがて登攀力に優れたカモシカの方がルートを譲ってくれた。熊で無くて良かった。

標高 1440m 付近で第 1 の廊下に行く手を阻まれる。右岸を大高巻き。ここもカモシカハイウェイを見つけると、ガレた小沢に導かれロープを出さずに沢に戻れた。標高 1660m 付近で第 2 の廊下、再度右岸を高巻き。この草つきが悪いとのことであったが、水が流れる小ルンゼを登ると安定していて難なく高度を稼げた。ここもカモシカハイウェイのお世話になり、ガレ場を下って沢に下り立つ。第 3 の廊下は、ナメ滝など水際を辿って難なく抜ける。巨大な流木倒木を橋代わりに伝わりながら、沢を詰めると岩だらけのガレ沢となる。

白い岩目指してどんどん高度を上げ、水が枯れる頃、右岸のルンゼに取り付き樹林帯に入る。急斜面をブッシュにぶらさがって必死に登ると、突然美しいシダの草原へ出る。そのすぐ上が加加森山からの道だった。標高 2320m、12:00 着。靴を履き替えていると雨が降り出す。鬱陶しいが、沢の中でなくてなにより。水色テープに導かれながら光岳に到着 13:10。すぐ横の岩場からリンチョウ沢を見下ろすと、昨日泊まった広河原が、遥か下に白く見えた。

光岳小屋 13:30 着。小屋もテント場も一杯である。今日の予定はここまでであったが、今日中に下山することにする。小屋番のおじさんに挨拶をして 14:00 発、静高平の水場で大休止。山伏峠から縦走してきたというお爺さんに余り食料をプレゼントする。易老岳 16:20。夕日に「もう少し待ってくれ」と言いなが

ら棒のような足に鞭打って、なんとかランプを使わずに易老渡駐車場 19：30 到着。車に荷物を積み込んでいると、すぐに真っ暗に。13 時間半行動、変化の多い 1 日だった。

林道が舗装に変わって安心してしていると、落石に乗り上げて車の底をこすってしまった。少し異音があるが、走るのは問題なさそう。風呂も入らず、飯田のスーパーで惣菜を買って、何とか渋滞にあわずに 14 日早朝帰宅。

すばらしい森と沢でした。カモシカ、木々、岩、自然のあらゆるものに感性を高めて何とかこなせました。久しぶりに自然に圧倒されました。畏敬の念を抱くとはこういうことでしょうか。人間でよかった。



投稿者：ファブリーはな 投稿日：2011年8月15日(月)13時45分55秒

はじめまして ドイツ在住の ファブリーはな(38)と申します ドイツで ドイツ民謡と 山のヨーテルを歌う
アマチュア歌手です

今 日本に一時帰国しており ふるさと大阪近辺で、山岳同好会様を検索していたところ、こちらの会さまの
ホームページを見せていただきました

私は 山のヨーテルを歌うものの、山に関しては全くの勉強不足です よろしければ 皆様とお知りあいになり
たく、初挨拶メールを送らせていただきます

このような顔のものです

<http://fabry-en.de/hana/homepage.htm>

ありがとうございます

ファブリーはな

<http://fabry-en.de/hana/homepage.htm>

ナンガの映画

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年8月13日(土)01時14分34秒

映画「ヒマラヤ 運命の山」については、昨年1月にドイツで公開されたとき、いわゆる反メスナー派の人びと
がヘルヒコッファーの子息と一緒に、この映画にたいして抗議し、上映差し止めを求めるという騒ぎがあ
りました。その理由の根本は、ヘルヒコッファーの人物像があまりにも卑小に描かれている、ということで、これ
はコッシンの感想と一致します。また、事実と反するという抗議もありました。たとえば、ラワルピンディで沈殿
中、ドイツ領事主催の晩餐会の席で、遠征のスポンサーだった「ブンテ」誌の社長に追加資金を出してもら
うため、ラインホルト・メスナーが率直に発言し、説得に成功したというシーンは、まったくのフィクションである（私
もそう思います）とか、こまかいところでは、ヘルヒコッファーはあんなにタバコを吸わなかった、とか。そういう「歴
史的事実」違反の指摘のひとつに、南チロル人のメスナー兄弟が標準ドイツ語を話しているのはおかしい、と
いうのもありました。これはバブさんのご指摘どおりで、バブさんのドイツ語「聴解力」に敬意を表します。「事実
違反」を申し立てた反メスナー派がいちばん言いたかったのは、ラインホルトが衰弱した（あるいは死亡した）
弟ギュンターを頂上付近に置き去りにして、勝手にディアミール側を下ったのが真相だ、ということなんでしょう
が、さすがにそれは論証できないので、映画にたいする抗議の内容には入っていません。このあたりは、メスナ
ーと反メスナー派との論争は別にしても、事実を題材にした「芝居」と「ドキュメンタリー」との相違をどう考える
かという、文学でしばしば問題になることと関連します。来日したメスナーが、これは「劇映画」であると、しきり
に言っていたのも、細部における事実との相違を自覚しているからでしょう。たとえば命からがら下山してからの
映画のシーンは、メスナー自身の報告（『ナンガパルバートの赤い信号団』『裸の山』）とかなり違っていま
す。しかしそういうことは、劇映画の観賞には野暮な詮索でしょうね。

ヒマラヤ 運命の山

投稿者：米山悦朗 投稿日：2011年8月11日(木)15時58分41秒

メスナーの映画見てきました、懐かしいルパルサイドの画像や迫力あるナンガの映像を堪能しました。特にベースキャンプを挟んでルパルフェースの向かい側にあるルパルピーク六千 m は自分で登っているので感無量です。また雪崩の場面はド迫力です。翻訳はセンキチにしては柔軟かつ的確な翻訳でたいしたもの。センキチを見直しました。東チロル人が標準ドイツ語をしゃべるのが変ですが平易な表現でよく聞き取れました。ドイツ語特有の表現もうまく訳していました。ルパルサイドのベースキャンプに行くのにがれきの崖をキャラバンがトラバースする場面がありましたがこんな場所はありません、まあ映画なので許容範囲でしょう。ルパルピークはベースキャンプから 1 日でアドバンスにいきそこから八時間程の往復で須賀日中の雪崩と落石はやばかったです。小生 6 6 歳のときです。

映画「ヒマラヤー運命の山」

投稿者：越田和男 投稿日：2011 年 8 月 9 日(火)10 時 51 分 28 秒

昨日観てきました。一般向けする映画ではありませんが、良かったです。ドイツの山岳映画らしく、そしてメスナー自身がアドバイザーをつとめていることもあって、山の場面に手抜きがなく、迫力がありました。雪崩の時の逃げ方など、こと細かく指示があったそうです。監督のフィルマイアーは、「彼がいなければ、この映画は“本物”になることはなかったわけです」とまでいっています。

日本語字幕は平井吉夫の監修よろしく、すっきりしたものになっていました。実際の発言を短縮するのに随分悩ましかったそうです。

難癖をつけるとすれば、やはり邦題「ヒマラヤー運命の山」というのは何とかならなかったのかと。原題はすっきりと「Nanga Parbat」（原著名は「裸の山ーナンガパルバート」）です。そして配役、ラインホルト・メスナー役のフロリアン・シュテッターはバッチリ的好演だったのに、隊長ヘルリヒコッファー役がどうもいけません。あまりにも気弱な悪モン！メスナーが絡んでいるからしょうがないか。

昨日は J A C の仲間と、暑気払いがてらに“有楽町で映画を観て銀座のビヤホールで一杯飲む”ということを出かけました。映画館の出口で、平井吉夫が待っていて、誰も映画のパンフレットを買わずに出てきたと言ってブツブツ。「俺が解説文を書いたのに！」といわれたので、敬意を表して買いました。700 円。「メスナー騒動と兄弟の葛藤」と題した平井の名映画評あり。皆さんたまには、せめて山の映画のときくらいは、映画のパンフレットを買いましょう。

山から花火×2

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011 年 8 月 7 日(日)10 時 37 分 37 秒

山本企画の「菊水山から花火見物ツアー1泊2日」に行ってきました。

第一突堤沖の打ち上げ場所から距離があるので、花火が幾分小さめ、大分遅れてどーんの音。でも夏の雰囲気を楽しめました。

菊水山山頂、我々が到着した 5 時過ぎにはホンの数人だったのが、日暮れを境にわさわさ湧いて出てきました。ご近所の人気スポットなのか結構な人出、200 人はいたと思います。

はるか東のほうに淀川の花火大会も小さく見えてちょっとお得なツアーでした。

花火終了後、無線鉄塔下のテラスで宴会、テントで就寝。

ところで、菊水山は毎日登山の盛んなところ。元気なジイサン連中の大きな声で目が覚めたのが 4 時。ということは皆さん 3 時過ぎには家を出てきたんでしょうが、ほんなら何時に寝たんかなと。

帰りは目指した菊水ルンゼの隣の沢を下って烏原の貯水池を経て湊川へ。

結構楽しめた夏の夕方から早朝でした。

神戸港花火を見下ろして

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011 年 7 月 31 日(日)23 時 55 分 54 秒

毎日暑いので、大森さんと草津方面に沢登りに行こうかと計画していました。しかし、新潟方面のゲリラ豪雨が気になり、自粛しました。

ならばと言うわけで、アイコでは有りませんが、6 日（土）神戸港の花火を山から見下ろして観賞しようかという思いつき企画に。

今日、菊水山から城山、新神戸と下見に行ってきました。どこも結構木々が多くて展望がなく、菊水山がまあまあと言うところでしょうか。

6 日（土）16：00 に神戸電鉄鈴蘭台駅改札口集合。40～50 分の散歩で 17：00 頃、菊水山山頂に。花火を肴に一杯呑みながら、ウダウダ過ごそうかと思えます。

一応、一泊しようかと思っていますが、花火は 19：40～20：30 までとのことですので終わってから帰ることも可能です。ライト、蚊取り線香等必携。

参加される方は、掲示板、メールなどで私か大森さんまで、ご連絡ください。

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2011 年 7 月 31 日(日)17 時 30 分 12 秒

カンさんから大峰・大台の写真が届きました。

アルバムに UP しました。

大台ヶ原・大峰山の写真

投稿者：柏 敏明 投稿日：2011 年 7 月 31 日(日)10 時 19 分 1 秒

後、数枚投稿しようと思いましたが、上手く入りません。

又の機会に致します。

大台ヶ原・大峰山の写真①

投稿者：柏 敏明 投稿日：2011年7月31日(日)09時46分29秒

山本さんの写真を流用させて頂きました。

①大蛇岩 (ダイジャクラ)



大台ヶ原・大峰山の山行

投稿者：kannroku 投稿日：2011年7月31日(日)08時00分53秒

7月15日(金)～17日(日)2泊3日で大台ヶ原・大峰に行って来ました。

メンバー 小西(関学)・山本薫(大阪ぼっぼの会)・井本・柏・竹中・浪川・森本 7名

大台ヶ原への前日14日、腰痛で山登りを断念した水渡君と井本・柏・浪川・森本が、

岡山で合流し、鶴木君の所に。元気な様子。大事そうに越シンからの葉書か？

ポケットに差し込んで持ち歩いてた。泉北柏邸泊。

7/15 近鉄上市駅前 9:30 全員集合 3 台の車にて大台ヶ原駐車場に。

今日は 4 時間の歩行。高低差も 100m 程でゆったりとした行程。

東大台ヶ原の日出ヶ岳 1694m～尾鷲辻～大蛇窟（ダイジャクラ）～シオカラ吊橋～駐車場の巡回コース。

鹿の食害？とかでトウヒのたちかれとコケ類に変わりミヤコ笠の姿になっている。大蛇窟はチョットした岩場で少しビビる。

人に出会わない山登りは、心がゆったりとする。和佐又ヒュッテ泊。

7/16 今日はしんどい登行の日。八経ヶ岳 1914m に。

車 2 台で行者還ト礼西登山口に。9 時頃着。車、車の多さにびっくり。3 連休の初日のためでしょう。

最初の 1 ピッチで、一気に高低 800m 登るのには、まいりました。

あとは、だらだらとしたゆるい登りで弥仙～八経ヶ岳 1914m に。

弥仙～八経ヶ岳の間に綺麗な天然記念物オオヤマレンゲが、咲き誇っていた。

これも鹿が食べるとかで、鹿除けの柵がしてある。今日はしんどい一日でした。ヒュッテ泊。

予断ですが、ヒュッテに飼われている猟犬が親子連れで弥仙迄来ていたのには驚き。どうやって来たのやら？

7/17 18 日から東南アジアに行く竹中君が下山。

小西さん、柏君は和佐又山頂上 1344m でハンモックの生活。

山本・井本・浪川・森本等は、大普賢岳 1779m へ。

ヒュッテ 1150m～和佐又コル～日本岳コル 1450m～笹ノ窟（しょうのいわや）～大普賢岳 1779m～和佐又山頂上。

ハンモックの二人と一緒に下山。

昨年東北に行った時、新潟と山形にまたがる日本国と言う山があったが、大峰の日本岳はブッシュこぎとのことで、

あきらめる。

今年は秩父の山でもと話し合っただけで、東北の地震で大峰に。

雨にも会わず、そんなに暑くもなく、まだ山登りできそうと思えた次第です。

今回の計画手配をすべてやって頂いた山本薫さま、本当にありがとうございました。

楽しい山でした。

能郷白山

投稿者：阿部康彦 投稿日：2011年7月28日(木)21時13分12秒

皆様ご無沙汰しております。久しぶりに投稿させていただきます。あれは2年前2月か3月に竜王インター近くの綿向山に登った時の事でした。山頂で綿向山を愛する会の会員の方に出会いマウンテンビューについて、丁寧に講義してもらいました。その時一番彼方に見えて雪を頂いたかつちよいい山が能郷白山でした。元々山の名前には興味の無い私でしたが、まったく聞いたことの無い名前でした。「何だか聞いたことないマイナーな山だけどなかなかの姿だなあ」としっかり私の記憶の奥底にインプットされたのでした。ひよんな事から今年登る事となり、調べてみると石川の白山と合わせて両白山地とか言うとか何とか。また荒島岳と百名山を競って負けたとか、なにやら曰くありげな山なのですっかりやる気になって前夜発日帰り登山を決行。福井の大野市からR157を麻那姫湖に向かい、青少年旅行村で仮眠（5畳のバンガロー1棟1500円とリーズナブル・溪流釣りの釣り師多し）翌日そのまま40分ほどR157を岐阜県境まで行くと、登山口の温見峠で土砂崩れのため通行止めの巨大なコンクリートブロックが置かれていました。岐阜県側からは複雑な迂回路を通る上、悪路らしいので温見峠を使う場合は殆ど福井県側からのアプローチとなるようです。6時に登山開始でしたが上は雲がかかり景色悪そう、また結構な急登。森林がブナ林から高山植物帯に変わり始めた頃、美しい高山植物達を尻目に私の体に異変が生じたのでした。鼻水とくしゃみが止まらない！暫くして「もしかして花粉症？」と気づいた時にはもう遅く、あたり一面を黄色い粉を撒き散らす雑草のような植物が覆っているではありませんか、何たる極悪な草め（イブキトラオオとか言うらしいです）と思いながら手ぬぐいで花と口を覆い更にコメリで買った防虫ネットを被って鼻水と汗をたらしつつ何とか標高1600mの山頂へ、山頂はブッシュとガスで見通しが今ひとつの上、極悪草が生えているのでとっと下山使用と思っていると一瞬雲が晴れ、200mほど向こうに祠が見えたのでした。これは行かねばと藪道と化した登山道を掻き分け白山権現祠に到着。雲が流れて中々の景色でした。また藪を掻き分けて戻っていると背中がムズムズ、手でまさぐると見覚えのある奴が指先に＝ダニでした。とまあ散々な目に合いつつも4時間ほどで山行は終わりました。白山とは似ても似つかない山でしたが、2年の時を経て登れて良かったなと感慨不快！ものがありました。きっと秋とか残雪期には素敵な山になるんでしょうね（と心より願っております）。尚、我々の後続は8人おり70代の方が多かったです。若者は我々以外おりませんでした。今度は、3000m位の山に登りたいなと改めて思いました。やっぱり北アルプスが一番！

R.メスナ-／paulポウル preuss

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年7月28日(木)09時56分18秒

平井仙吉がメスナーに貰った本「paul preussの評伝」は読みたい物です。訳本を期待！インターネット検索すると当該paulがオーストリアの登山家なることが分かりました。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年7月27日(水)14時51分2秒

ガチャさん。日経新聞の記事に私は関与していません。メスナーは7月の5、6、7日に来日しました。6日に東京のドイツ文化会館で映画「ヒマラヤ 運命に山」の特別試写会があり、そこにメスナーが顔を出して短いスピーチをやり、次の予定地にそそくさと向かいました。えらく忙しい日程のようでした。そのときに fuer Yoshio とサインした著書（Paul Preuss の評伝）をもらいました。あつという間の出会いでした。

ラインホルト・メスナー

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年7月27日(水)08時32分50秒

越田さんへ

仙吉の訳書「裸の山・・・」はこの3月のドイツ旅行の往復の機中で読み切っております。

今回の新聞記事が仙吉の訳かと問うたのです。

新聞にはメスナーの顔写真も出ておりましたが、この写真を見ればナンガパルパートで兄弟共に下山してながら、弟を待つことなく「自身が生き延びる」という意志の強さが読み取れるもので、本を読んでいるときに感じた「なぜ弟を待ってやらないのか？」という私個人の疑問に納得でした。私にはとてもできない本能的意志ですし、一人前のように思っている、メスナーに比べればヒヨコ以下であることを実感しました。

8月6日から上映の映画が、岐阜の田舎でも見れるのかどうか判りませんが、名古屋まで出てでも見ようと考えています。

9月30日から11月1日まで、オーストリア全周と、留学時代以来の親友との友情50周年の祝いをする旅に出かける予定です。体調はいたって良好ですが、血糖値は一進一退です。

Re: ラインホルト・メスナーの記事

投稿者：越田和男 投稿日：2011年7月26日(火)14時39分58秒

> [No.1397\[元記事へ\]](#)

田邊 潤さんへのお返事です。

本の訳者はセンキチ（平井吉夫）です。

邦題『裸の山・ナツガパルパート』山と溪谷社刊 2010年 1800円

本HPの「甲南山岳会員の著作・訳書紹介」を是非開いてご覧ください。

なお、映画「ヒマラヤ・運命の山」も日本語字幕は平井吉夫の監修です。

ラインホルト・メスナーの記事

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年7月26日(火)10時27分16秒

本日の日本経済新聞朝刊の最後 40 ページにラインホルト・メスナーの「登頂に命を懸けて」という記事が掲載されています。彼の 8000 メートル峰 14 座の完登や最近に至る山登りへの考えかた等、メスナー個人の登山史とでもいべき文章です。訳者は仙吉ですか？

女子サッカー-世界大会観戦

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011 年 7 月 18 日(月)12 時 47 分 26 秒

始めはぼろ負けの雰囲気なので、途中で寝ました。、起きてみたら、まさかの同点。土壇場の P K 戦はスリリング。日本の K E E P E R の抜群の反射運動神経良し！北京五輪では日本女子ソフトボールチームが宿敵 U S A を下し金メダル獲得。ガンバレ大和オノコ！！ P S : 先の投稿に誤字あり；万雷の拍手でした。

T V スポーツ観戦あれこれ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011 年 7 月 17 日(日)07 時 45 分 57 秒

此の時期、大相撲を観てましたが、気乗りがせず。野球とボクシングを何時も観てます。楽天の片山投手を応援中（報徳出で球威あり、度胸良し）女子選手は世界的に活躍してますね。テニスの伊達公子；野獣の如き筋骨隆々の黒人相手に「カモン」と可憐な？声を上げつつ立ち向かう。終わって万来の拍手（先日のウィンブルドン本戦）サッカーの決戦間近、長年 N O 1 を K E E P してる長身のアメリカ娘達とどう戦うか、興味は尽きず。余談ですが、11 年間不動の王座を守っていた世界女子バレーボールの王者ソ連を日紡貝塚チームが破り、N O 1 になったのは 1 9 6 2 / s 3 7 年。ビッグボスのブレジネフほかの最高幹部が見守る中の激闘を制す。これまたアッパレ大和撫子。

Re: 夏の乗鞍

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011 年 7 月 17 日(日)07 時 19 分 5 秒

越田和男さんへのお返事です。

懐かしの甲南チームが未だあるとは。六辻さんと J A C の新年会で会いました。好印象でした。

乗鞍の写真

投稿者：越田和男 投稿日：2011 年 7 月 15 日(金)18 時 43 分 30 秒

添付に失敗したので再送。



夏の乗鞍

投稿者：越田和男 投稿日：2011年7月15日(金)18時40分39秒

今週初め会社仲間に誘われて乗鞍へ行ってきました。涼しかったです。横浜に帰って暑さにげんがりしてます。一泊目は「位ヶ原山荘」、二日目は鈴蘭地区の「みたけ荘」泊。もっと居たかったです。

位ヶ原山荘では小屋主の関大WV部OBの六辻君が頑張ってくれていました。甲南室も健在です。写真は位ヶ原山荘前、六辻君と。

肩の小屋口でバスを下りて蚕玉岳まで往復（小生以外は剣が峰往復）しましたが、大雪溪の雪の量が随分少なく感じられ寂しい思いです。

雨宿りで立ち寄った「肩の小屋」は、食堂を無料で開放しており、従業員の態度がよく、好感が持てました。

メールアドレス

投稿者：福田信三 投稿日：2011年7月14日(木)05時28分48秒

がちゃん

失礼いたしました。

メールアドレスは下記です。

matech-shinzo.fukuda@nifty.com

よろしくお願ひ致します。

私にメールしてください

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年7月11日(月)14時40分50秒

福田さん、今日原稿送りましたら入りません。アドレスを変えたのなら私にメールしてください。

新疆ウイグル自治区

投稿者：福田信三 投稿日：2011年7月8日(金)21時41分58秒

ウルムチまでしか行っていませんが、
確かにおびたしい数の風力発電の風車、
やたら多いミイラ、
中国人ではないなあという雰囲気
甘くておいしいハミウリなどが
が蘇ってきました。

新疆ウイグルの旅から

投稿者：越田和男 投稿日：2011年7月5日(火)00時32分17秒

先月後半、「パミール中央アジア研究会」の仲間一行10名で、新疆ウイグル自治区を旅してきました。覚悟の上とはいえ、40数度の炎暑と超距離バスでの移動は老体には少々こたえました。それでも、旅の途中で、東京の新宿で39度Cとのニュースを聴き、何だかほっとした次第です。
いい歳をして、遅まきながらシルクロードのほんの一部を垣間見た旅の印象下記します。

①タクラマカン砂漠縦断

天山南路のルンタイ（輪台）からほぼ一直線に南へ西域南路のニヤまで、タリム砂漠道路「塔里木砂漠公路」を行く。600km全舗装。この日はクチャ（庫車）を出発してニヤまで12時間のバス旅。途中で砂遊びをしていたら、気温は43度、砂の表面は恐らく60度は越えていたと思われるが、小生の靴底のビブラムの接着剤が溶けて、両足ともはがれ落ちた。のんびり「月の沙漠を遙々と……」と云う訳にはいかなかった。交通量結構多く、今や産業の大動脈の感あり。更に、4年前には、このルートの他に、アクスからホータンへの新しい砂漠横断路も開通し、西域南道の諸都市も今や秘境ではない。
一方、カシュガルからクンジュラブ峠を経てパキスタンに向かうカラコルム・ハイウェイは現在閉鎖されており、カシュガルで見られると思っていた、あの満艦飾のパキスタンのトラックには出遭わなかったが寂しかった。

②南疆鉄道

カシュガルから東へ、ほぼ天山南路の沿って走る鉄道、トルファンまで約1300km、22時間の列車旅を楽しんだ。1999年開通というから、そんなに古い訳ではないはずだが、一等寝台でも両サイドの窓の汚れが尋常ではなく、まるで車窓が楽しめない。砂漠の砂嵐のなかを走るのだから、しょうがないのかなとも思っただけけれど、車両両端のデッキや食堂車へ行けば、さすがに綺麗な窓だった。やれば出来るのである。途中の駅で外から濡れティッシュで拭いて見たけれど、汚れがひどく効果甚だ不満足。
トルファンに近づく少し前に、天山山脈越えがある。ちょうど夜明けで、デッキに張り付き、素晴らしい山岳車窓を楽しんだ。朝寝坊して、この景観を見逃した仲間あり、実にもったいないことです。
南疆鉄道はさらに伸び、今月はじめにカシュガルーホータン間が開通し、計画ではさらに東に延びてチベット鉄道のゴルムドへと繋がるらしい。

③風力発電

ウルムチとトルファンの間、ちょうどボゴダ山群の南麓にあたる所の風道に、おびたしい風力発電の風車群をみる。中国は今や風力発電量は4000万KW超で米国を抜いて世界一（日本はわずか260万KW）。当初はデンマークの技術だったのが、いまや、世界規模の自社技術の風力発電設備のメーカーの本社がウルムチにあり、どんどん売りまくっているとのこと。ちょっと考えさせられました。

④大都会ウルムチの夜のショー

2～300人は入ろうかと思われるレストランでのディナー・ショー。万席の客はほぼ沿岸諸省からの観光客またはビジネスマンの方々。一方、踊り子たちはほぼウイグル人、大舞台に大音響を轟かせての饗宴が一時を越えて続いた。毎晩こんなことやってるのですかね。

⑤遺跡巡り

管理が行き届かず放置された仏教遺跡は、さすがと思えるところが多かった。しかし、どこでも肝心の壁画はかつてのドイツ隊のル・コック、英国隊のスタイン、そしてそのおこぼれを頂戴した大谷探検隊などによって持ち去られたことが、案内板に明記されていたり、ガイドが説明したりしていた。

最近、南米ペルーのマチュピチュ遺跡から、100年前に米国エール大学に持ち去られた出土品を、ペルーに返還するという話がまとまったと聞かすが、新疆での管理状態を考えると返還はまだちょっと早いのかも知れない。

最後に確認事項あり。ウイグルの若い女性は間違いなく美しい。また、子供達の笑顔も忘れ難い。そしてビールも美味しい。

熊に遭遇

投稿者：福田信三 投稿日：2011年6月24日(金)05時37分11秒

WATERTON 国立公園で Black Bear に遭遇

当然ですが、後ずさりしながら撮影。

たんぼぼや野草を食べていました。

熊は雑食なんですね。

毛並みの良さはさすが自然体、陽に輝いていました。



ナングの映画

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年6月23日(木)23時12分49秒

私が訳したライヒト・ムナー著「裸の山 ナンガ・パルバート」がドイツで映画化され、公開されたのは昨年 1 月。それが昨年秋の東京国際映画祭で上映されたときの放題は「断崖の二人」というチンケなもの。そのとき私は映画を観て、日本語字幕のデタラメに憤慨し、関係方面に文句をつけておきました。その映画が今年の 8 月 6 日から日本で一般公開されます。映画配給会社によれば東京のヒュームトラストシネマ有楽町、シネ・リーブル池袋を皮切りに全国順次公開だそうです。邦題はまたもや変わって「ヒマラヤ 運命の山」というつまらんもの。この一般公開にそなえて私は字幕の監修をしました。マスコミ向けの試写会で観たところ、私の字幕直しはすべて入れられており、安心しています。

グレーシャー国立公園

投稿者：福田信三 投稿日：2011 年 6 月 23 日(木)23 時 02 分 25 秒

アメリカ、モンタナ州のグレーシャー国立公園にいます。シアトルから入りましたが、カナダ側にも続く広大な公園です。名前の通り、ロッキー山脈の氷河や、氷河湖を中心にした国立公園で、アメリカで最も美しい公園とされています。その言葉につられてやって来ましたが、事実はその通りでした。アメリカの国立公園巡りの最後に残しておいて良かったです。スイスのように開発されすぎていません。ただ、両国によって入園料や料金体系が異なりますので、自然の中に線を引いた人間の行動の勝手も感じざるを得ません。

200 以上の氷河湖を水源とする一帯は森林の宝庫で山と湖とのバランスがよくとれています。そのため鹿、熊、山羊などの動物や高山植物も豊富です。WATERTON では街中に鹿や山羊があちこちに居ますが奈良のように餌やりは禁じられています。その時期にはメインストリートでオス同士の戦いが見られるとのこと。

デンバーのエステスパーク、グランドテトン、イエローストーンそしてグレーシャーからバンフ辺りのカナディアンロッキーへと続くロッキー山脈の懐の深さを知りました。

こんな公園こそ季節毎に訪問したいのですが、何分閑空からの便の悪さに“無理かなあ”です。



映画「127 時間」

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2011 年 6 月 17 日(金)21 時 21 分 32 秒

単独クライミング中落石に右腕をはさまれたまま 5 日間。

意を決したクライマーは自ら腕を切断して生還した。

ユタ州 ブルージョン・キャニオンであった実話です。

6月18日封切り

シネリーブル神戸。TOHOシネマズ西宮 他

写真の

投稿者：管理人 投稿日：2011年6月17日(金)18時00分42秒

越田さんからの写真をアルバムにUPしました。

奥飛騨・中尾の集い

投稿者：越田和男 投稿日：2011年6月16日(木)14時33分33秒

先週末は恒例の奥飛騨・中尾温泉一泊行で15名が集まりました。以前この会を「新制年寄会」と呼んだところ、クレームがつかましたので「新制初期会員の集い」とでもしておきましょう。まあ、爺様には違いがないですけど。

参加者：小原、阿部、砂川、鈴木、雨宮、米山、田辺、鳥居、田中、越田、平井、飯田、二谷、武田、塩崎

なお、田中（お星さん）は初参加。13年におよぶ秋田勤務を終えて神戸に帰って来たところ。何十年ぶりに会った方も多かったのでは。

写真はアルバムにアップしてもらいます。

Re: 元気そうな顔、いい顔してられて一安心

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年6月8日(水)07時14分36秒

kannrokuさんへのお返事です。

ウノキの表情が穏やか、それにしても、皆さん良く遠路訪問を継続してますね。

元気そうな顔、いい顔してられて一安心

投稿者：kannroku 投稿日：2011年6月7日(火)20時55分42秒

柏さん、水渡さん

梅雨の合間の昨日、伊丹・安井・石原・森本の4名で鶴木君所に行ってきました。

次女の聖子さんも来ておられ昼食を一緒に談笑のひと時を持ちました。

以前から傾いて歩いていたので、検査をしてもらった結果脳が委縮してるとのことでした。

段々と話題がなくなって来て直近の物忘れが見られるようになってきた由。

聖子さんの2歳の長男も来ておられ、鶴木君がお孫さんを見る目が楽しそうな表情で、ホット致しました。

明日から伊丹君は車で北海道に行くとのことでした。

水渡さん、伊丹君が夏山前に泊まりに来て下さいとのことでしたよ。
友達はいいものですね。 夏山でお会いいたしましょう。

夏山行く前日鶴木君所に行きましようか？ 森本

写真の投稿

投稿者：管理人 投稿日：2011年6月7日(火)16時44分54秒

鶴木さんの写真が安井さんから届きましたアルバムに掲載しました。

写真の

投稿者：管理者 投稿日：2011年6月7日(火)09時59分18秒

浪川君から立山関学スキー合宿の写真が届きました。

アルバムにUPしました。

立山スキー合宿

投稿者：浪川 純吉 投稿日：2011年6月6日(月)22時59分49秒

2～5日まで関学の立山スキー合宿に参加してきました、2日は天気が悪く室堂に面した浄土山の斜面でスキーの練習 3日山崎カール～雄山頂上～山崎カールを滑降～一の越～浄土山頂上～室堂 週の前半に降った雪で2800m以上は5月連休頃の状態で雄山頂上から初めてファーストトラックを味わい感激、この日は一日中快晴無風 4日二手に分かれ一の越～雄山頂上組と我々は東一の越～タンボ平へ、この日も快晴二日間真っ黒に焼ける 5日朝から帰坂
今回も厚かましく関学のスキー合宿参加させてもらい皆さんに大変親切にいただきありがとうございました。

山菜キャンプ

投稿者：ポンポン山の山口 投稿日：2011年6月6日(月)18時22分7秒

初めて投稿させていただきます。塩崎君の友達で4日氷ノ山の山菜キャンプに参加させていただいた。山口と申します。(41年卒でサッカーやりました) 山本さんの山菜料理とっても美味しくいただきました。ご馳走様！。山菜を見つけたり料理の段取りの良さにタダダ感心させられ、みなさんと楽しい時間が過ぎました。ありがとうございました。

ポンポン山の山口

山菜キャンプ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年6月5日(日)23時31分32秒

山菜キャンプ、雨天を心配していましたが、天候にも恵まれて楽しむことができました。

参加者は、武田さん、塩崎さん、塩崎さんのお友達でサッカー部OBの山口さん、平井幹男さん、大森さ

ん、私の6名。

たまたま神大ヒュッテは今年も開いており、金曜からスズコ採りに来られていた土山さん達にご馳走になり、しばし談笑。

今年は雪が多かったため山菜が出遅れているとことで、神大ヒュッテ周辺でちょうど良い時期のスズコがたくさん採れました。

そんなこんなで、山頂には行かず、1時間ほどスズコ採りに専念。

その他に、タラノメ、ウド、コシアブラ、葉ワサビを入手。

2時頃には天滝の休憩所へ移動し、ビール片手に皆さんでひたすらスズコの皮むきをしていただきました。

タラノメ・ウド・コシアブラの天婦羅、スズコのマヨネーズ和え・酢味噌和え・カツオ味、武田さんが持ってきてくださったイノシシ肉のワイン蒸し、スズコ入りポタン鍋とお腹一杯食べて、お酒も進みました。

遅くまで、いろんな話で盛り上がり、楽しく過ごさせていただきました。

ご参加の皆様、有難うございました。

新刊の紹介

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2011年6月5日(日)18時45分24秒

『生きるために登ってきた』志水 哲也・著・みすず書房・¥2,625

引退した登山家の回顧的自叙伝ではない。

「何かをこの世に残さなくてはという焦燥はどこから来るのだろう。自分がいつなくなってしまうかも分からないという不安。この気持ちは山を始めた16歳のときからずっとあったように思う」

16歳屋久島・宮の浦岳に登って山に魅せられ、17歳から山と谷に入り浸り。

34歳冬季剣大滝登攀の敗退を契機に写真に転向した男の記録。

初めての著作で「単なる山行でなく、どうやって登ったか、登って何を感じたか」を

考えるため克明に日記を綴ったとある。その体験と思索が本書の随所で表現されている。

戦後・昭和最後の単独行者。遡行という日本的アルピニズムの到達者、志水哲也の青春の遍歴は他に例を見ない。

Re: 嬉しいお知らせ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年6月3日(金)08時07分35秒

武田 雄三さんへのお返事

大阪甲南会やj a cの山歩きの時""山岳部の部員の事をよく聞かれ、気になってました""よかったですね。映画「岳」を見ましたが、音量が殊の外大きく感じました。(最近の映画は、音で迫力を?)又、やたらカブナをガチャガチャ、見終わってすっきりせず。思い出多き八方尾根、不帰第一峰、唐松岳ダイレクト尾根の映像が見られたのは救いでした。

嬉しいお知らせ

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011年6月2日(木)14時56分1秒

我々の憂い事で有った休部中の大学山学部が、この 2 月復活しました。

アクティブメンバーは、夢野台高校山岳部出身で現在理学部 2 回生の「武田有希さん」一人（インドアーボードクライミング指向）。 しっかりした意思を持つナイスガールです。

昨年 4 月「大学学生部・福田山嶽寮編集子・安井副会長」の協力の下電話による新勧を行い、彼女が反応してくれました。

彼女自身昨年度前半は「大学生活への慣れや・ジュニア世代へのクライミング指導・アルバイト」等で忙しく、昨年 11 月以降で漸く山岳部復活の活動を開始、2 月後半に部活再開の許可が下りました。

（その間塩崎・谷両君の協力も得て、辛抱強くサポートする事が出来ました。）

休部期間が長かった為、当然の事ですが体育会本部よりの予算配分は有りません。

物心両面に関して出来る限り山岳会より支援するので遠慮なく申し出て欲しい旨伝えて有りますので、各位には暖かく見守ってやって下さい。

最後に当り「積極的に支援・指導頂いた大学学生部・快く顧問をお引き受け頂いた西川教授」に厚く御礼申し上げます。

山菜キャンプ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011 年 5 月 29 日(日)23 時 46 分 36 秒

2 階の屋根ほどある庭のコニファー 2 本が、台風の風でだんだん傾いて駐車場の上に倒れそうになってきました。

仕方がないので、風雨の中、ヘルメットをかぶって木に登り枝打ちをしました。

全身びしょ濡れで大変でしたが、なんだか楽しかったです。

山菜キャンプ

今のところ参加予定者は、武田さん、塩崎さん、平井幹夫さん、大森さん、私の 5 人です。

少人数で少し寂しいですが、のんびり楽しみたいと思います。

来週末は何とか天気が回復しそうですね。

他に参加される方は居られませんか。

TV 番組のお知らせ

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011 年 5 月 28 日(土)09 時 20 分 18 秒

「グレートサミツ世界最高峰エベレストに挑む」明日 5 / 29 日（日）BS プレミアム

放映時間帯：16：30--17：59

NHK 取材班との生中継で、日本エベレスト登山史の VTR も織り交ぜている。

「会員の著作紹介」の更新

投稿者：越田和男 投稿日：2011 年 5 月 27 日(金)10 時 28 分 36 秒

「甲南山岳会員の著作・翻訳出版の紹介」の改訂版が出来ました。新規 3 件の追加のほか既掲載分も加筆・訂正されています。紹介記事は相変わらずの拙文ですが、管理人塩崎さんのご尽力で大変見やすくなっておりますので、お暇な時に是非ご覧になって下さい。

Re: 山菜キャンプ

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年5月24日(火)20時19分38秒

参加します。おおもり

塩崎さん、ご一緒できるの久しぶりです。よろしく申し上げます。

Re: 山菜キャンプ

投稿者：塩崎 投稿日：2011年5月23日(月)06時39分58秒

> [No.1364\[元記事へ\]](#)

参加します。

車同乗者募集。

塩崎

山菜キャンプ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年5月22日(日)22時57分34秒

山菜キャンプを6月4日(土)5日(日)で行おうと思います。

例年通り、4日(土)10:00に大段ヶ平集合、氷ノ山に登りながらスズコ採り。

天の滝駐車場小屋で宴会し、1泊。

私はまた金曜の夜に出発しようと思います。

今年は、雪が多く山の中にはまだ雪が残っているようですが、林道は通行可能とのこと。

参加希望の方は、メール・掲示板等でご連絡ください。

篠山 多紀アルプス

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年5月15日(日)21時39分7秒

いつものことですが、朝起きて急に山へ行こうということで、妻をお供に家を8:30出発。

以前から気になっていた篠山の三嶽と小金ヶ嶽へ向かう。

10:00 登山口へ着くと何やら大勢の登山者が集まっている。

伊丹産業のグラウンドを駐車場に開放して、篠山山開きということでした。

よく事情が理解できないままに地図をもらい老若男女の団体さんの最後尾についていく。

途中、クリンソウの群落へ案内してもらい、三嶽山頂 12:00。

大タワ峠でラーメンを作っていると、駐車場で山開きイベントが始まる。

ビンゴゲームで景品が当たるそうだが最後まで居ると遅くなるので、スリル満点の鎖場コースを辿って小金ヶ嶽山頂へ 13:45。

南へ急斜面を下って登山口へ 15 : 00。

静かな山のつもりが、いろいろな団体さんで大賑わいでした。

山中の看板説明文によると大峰をしのぐ修験道の聖地だったそうですが、大峰の僧兵によって壊滅されたそうです。山開きイベントにも山伏の姿がありました。



地獄谷

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年5月15日(日)10時45分35秒

六甲山には四つの地獄谷があります。平井センキチも良く御存知の---ロックガ-デン。ゲートロックの下からA懸に出るルート、それに今回の福田兄の掲示で良く分かりますルート（去る7日、小生達が辿った）そして住吉の上の五助谷の西側の谷筋、あと一つは分かりませんので、探して行ってみたく思ってます。

六甲山地獄谷

投稿者：福田信三 投稿日：2011年5月14日(土)22時13分36秒

平井さん

地獄谷はシュラインロードを少し北へ進み住友パークライト保養所を西へ左折、元の三井倉庫保養所手前を左階段をお下りする道、通称"ノースロード"を西へ5分ほどで"地獄谷"の標識があります。丁度 YMCA の一番北端辺りです。水晶山経由で

夏が涼しいです。新鉄の大池へ下ります。地図をご覧ください。

ロックガーデンのも地獄谷と呼ばれています。

<http://maps.google.co.jp/maps/ms?ie=UTF8&brcurrent=3,0x600089b1c79eab29:0x147b2f1d740f4153,1&source=embed&oe=UTF8&msa=0&msid=109586986530490488062.00049668a150d4fabcdc7>

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年5月13日(金)21時19分27秒

広瀬ポンの六甲超えの投稿、楽しく笑いながら読みました。頭の中でコースを想像しながら読んだのですが、ひとつわからんところがあります。文中にでてくる「地獄谷」というのはどこにあるのか。かつてわれわれがロックガーデンへ岩登りに行くとき、高座の滝の裏の谷（ゲートロックの下）から遡行するコースを地獄谷と言っていたような気がするのですが、あれとはちがうのですか。六甲を離れて50年以上たって、記憶は朦朧としており、恥ずかしながらおたずねします。平井吉夫

六甲山越え

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年5月12日(木)15時42分53秒

80歳と71歳のj a cのお元気な御仁達と、去る5月7日、表六甲から西裏六甲に下り、折り返し地獄谷を遡行し、六甲山ホテルの横まで、殆ど休憩なしで歩きました。お二人は歩き始めた阪急六甲駅まで、登ってきたアイスロードを下り、阪急六甲駅まで歩かれたようです。小生も体力的には余力ありでしたが、折角の眺望を堪能せずに、走り下るのはもったいないので、ケイブルカーに乗りました。""六甲アルプス""は期待はずれの尾根でしたが、地獄谷は良かったです。帰途阪急六甲駅への歩道で、猪と出会い難儀しました。歩道の左側は確か石壁、右側は乗り越えられそうもないガードレールで歩道幅2m足らず。のしの上と上がって来る、こちらは下る。2mほどの距離までせばまったところで、お互いにらめっこ、さてどうしようかと困却す。相手もこちらをじっと見て思案顔？突如、彼？彼女？は不可能と思われたガードレールの下を潜り抜け車道に出てくれました。桑原 くわばら、キット温厚な性格だったのでしょうか、ラッキーでした。

Re: 岳

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年5月11日(水)22時52分3秒

> [No.1357\[元記事へ\]](#)

飯田様

これは元々マンガですから・・・。

もっとも、今の私では誰も背負わなくても垂直の壁なんぞ登れません。

60度くらいでも垂直に感じることはありますが。

先日、西穂高岳西尾根から見えたジャングルム飛騨尾根。

現役頃、5月に岳沢ベースでジャン飛騨尾根に登ったことがあります。そのときは岩場にはほとんど雪がついておらず、ガレ尾根という印象でした。今回は雪がかなりついて、堂々として威厳がありました。

今年の総会で、たまたま福井先輩からジャン・飛騨尾根初登攀のお話をお伺いしたところでしたので、特に印象に残りました。



岳

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年5月11日(水)21時43分5秒

昨日近所の映画館で観てきました。アイガー以来です。勿論景色を見に行っただのですが、八方尾根からの景色や、穂高連峰の空撮は素晴らしかったです。内容にいちやもん付けるのも大人げないですが、冒頭、クレバスに落ちた遭難者を、主人公の三歩が背負って垂直の壁を登るのですが、実際あのようなこと出来るのでしょうか。山本兄、貴兄出来ますか。

もっとも12月14日 クレバスに墜落す、などのセリフがでてくるので、日本の山ではないかもしれませんが。

Re: 映画 "岳"

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年5月11日(水)20時11分21秒

> [No.1355\[元記事へ\]](#)

「岳」、映画は見えていませんが、1年ほど前に山ガール志願の同僚が借してくれた原作漫画を読みました。遭難した遺体を背に「よく頑張った」が決めゼリフだったような。

現実離れしているけれど、山がらみの娯楽としては面白かったです。

2日や3日の山登りでなく、主人公の「何とか三歩」のようにどつぶり山生活をしてみたい気になりますね。この気持ちは現実逃避でしょうか。

Re: 映画 "岳"

投稿者：越田和男 投稿日：2011年5月11日(水)00時01分47秒

> [No.1354\[元記事へ\]](#)

私も今日観てきました。良かったです。

私の採点：

山好き向きには***

一般向きには***

「剣岳一点の記」の剣よりも今回の穂高の迫力が楽しめました。抜群のカメラワークだと思います。ジャンダ
ルムあたりは見るだけで恐ろしいです。遭難救助がテーマなのに明るいのも良かった。ただし、ストーリーは単
純、セリフがうそ臭く漫画チック。主演のお二人が美男美女過ぎる。こんな山男や山女はいないはず（これは
年寄のひがみ）。まー映画にすればこんなもんかと、おおめに見れば何ということなしに楽しめるのでは。

映画 "岳"

投稿者：福田信三 投稿日：2011年5月10日(火)22時23分4秒

ほっともっとフィールド神戸の阪神：広島戦が雨で中止。
代替に"岳"を観ました。

映画としては極めて平凡な出来と思います。時折出てくるアルプスの風景、
特に雪山が救いでした。
言ってみれば、長野県山岳救助隊のPR映画ですね。

・・と、私見ではありますが。

写真の

投稿者：管理人 投稿日：2011年5月10日(火)20時06分27秒

川野君から西穂の写真が投稿されました。
アルバムにUPしました。

民族学博物館 関連

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年5月9日(月)13時07分55秒

中村成三先輩参加の当該遠征の事を、亡きフクデンさん（福田泰次先輩）が日経の交遊抄欄に「甲南高校
山岳部」との題で書かれています。因みに甲南中／高の同級生の崎山理兄が此処の教授をしていた時（199
8年）に日経の「知の冒険」と言うタイトルで日経記者の取材に応じてます。彼の事を言語人類学の鬼才と紹介
してます。又、極めて若くして東大法学部の教授になった六本兄など賢いクラスメイトが沢山いた。同じ授業を受け
乍ら、自分は一体何を学んでいたのかナア と思う今日この頃です。

Re: 民族学博物館

投稿者：越田和男 投稿日：2011年5月9日(月)10時50分4秒

大森雅宏さんへのお返事です。

>> ところでウメサオタダ展で、1940年のカラフト踏査のメンバーに「中村成三・法学生」とありました。甲
南の記録では同じ年の夏に千島に中村成三氏の名があります。同じ方なんでしょうね。

故・中村成三氏は昭和14年（1939年）甲南卒、京大法学部へ進まれましたので、間違いありませ
ん。

一度東京の甲南山岳会に出て来られたことがあります。昭和50年前後で、たしか南里君が上京してキシ

ウトワール遠征の報告をやってくれた時でした。学生時代のあだ名が「カポネ」。たしかにアル・カポネ的風貌の方でした。随分賑やかな方で、田口さんが「今日はガラの悪いのが出て来たね」とからかっておられたことなど思い出します。梅棹さんのカフト遠征に参加されたことは甲南ではあまり知られていないです。

Re: (無題)

投稿者：越田和男 投稿日：2011年5月9日(月)10時32分7秒

> [No.1345\[元記事へ\]](#)

平井吉夫さんへのお返事です。

原発暴発阻止行動プロジェクトの件、先日の朝のTV「モーニングバード」観てました。えらいおっさんがおるなあ、とその心意気にエールを送りたい気持ちです。後半に平井夫妻が登場したのは残念ながら一寸席をはずして見逃していましたが、なかなかいい夫婦に写ってますね。平井夫妻のかかわりで、このプロジェクトがぐっと身近なものになりました。

ただし、最先端の作業はそれなりに経験を積んだプロの世界で、現場のプライドもあります。現場が誰でも受け入れるかどうかのハードルはありますね。

私も何かしたい気持ちはあるのですが、実際最先端の作業現場では足手まといになるばかりで、役に立つような気はしません。出来ることと云えば、貧者の一灯程度の義援金か、福島産の野菜や、魚介などをばくばく食うことぐらいです。

Re: (無題)

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年5月9日(月)09時15分6秒

平井吉夫さんへのお返事です。

> ちょっとのぞいてみてください。

平井センキチと奥さんの佐々木和子さんの映像を見ました。担当のアナウンサーが言うが如くこれぞ「究極のボランティア」と思います。これを立ち上げた鉄鋼会社OBのエンジニア-の山田さんとは如何なる人物か知りませんが、””人生意気に感ずる””と言うか（チョットの外れ？）、我々の世代が共通して抱いている心情かな。海外メディアがこの度の災害時の日本人の行動を褒めていますが、このボランティア活動を外国の人たちに広く知って貰いたいですね。

写真の

投稿者：管理人 投稿日：2011年5月8日(日)21時32分40秒

井上知三君から慰霊祭の写真。山本恵昭君から西穂西尾根の写真が届きました。
アルバムに掲載しました。

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年5月8日(日)21時08分34秒

連休最後の日、午前中は天王寺の市立美術館、午後から越田さんご紹介の「ウメサオタダオ展」に出かけました。天王寺は歌川国芳、千里は民族学、ジャンルの違うのを同じ日に目にすると、アタマが混乱しました。若くないのは足だけではありません。

ところでウメサオタダオ展で、1940年のカラフト踏査のメンバーに「中村成三・法学生」とありました。甲南の記録では同じ年の夏に千島に中村成三氏の名があります。多分同じ方なんでしょうね。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年5月7日(土)23時30分34秒

ちょっとのぞいててください。

<http://iwakamiyasumi.com/archives/9034>

<http://www.youtube.com/watch?v=NVPf28bM2b4>

西穂高 西尾根

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年5月6日(金)17時53分48秒

昨年の5月もこの三人衆、結構ハードな山行きをやってましたね。何時までも元気に事故無く登られることを願ってます。当方、明日、予てから行きたかった西裏六甲の「六甲アルプス」なる所の付近を覗きに行きます。天候不良の場合は中止をと思ってますが、同道願うJACのスーパー老人はなんとと言われるかな、御仁の令夫人は六甲全山縦走完走の女子最高年齢記録保持者（S5年生まれ）
夫妻共々凄くお元気です。

西穂高岳 西尾根

投稿者：川野幸彦 投稿日：2011年5月6日(金)14時16分45秒

ご無沙汰しております。皆さんお元気ですか？

昨年の剣岳に続き、今年の5月も大森さんと同期の山本と西穂高岳へ登ってきました。晴天に恵まれて残雪の西穂高岳を楽しむことができました。以下報告です。

5/2 (月)

22:30にJR神戸駅で待ち合わせ。山本のクルマで新穂高温泉を目指す。阪神高速の西宮と名神の瀬田で渋滞。相変わらず“高速道1000円”の影響か混んでいた。途中のパーキングエリアでも仮眠のクルマでほぼ満車であった。それにしても寒い。東海北陸道の随所に見られる温度計で0℃を示すものもあった。5月とは思えない。新穂高温泉には5時過ぎに到着。

5/3 (火) 晴れ→曇り+小雪 新穂高温泉⇒西穂高岳西尾根2150m付近

登山センターに登山届を提出。今年は例年よりも雪が多いらしい。林道に行く。営業中の穂高平の避難小屋から柵を乗り越え牧場の奥まで進み、途中から赤布が現れそれを辿った。しばらくすると尾根の取り付けでケモノ道のような微かな踏み跡がついていた。この辺り雪は無かったが、少し登ると急な雪の斜面となり、1

9 4 6 mピークまではひたすら登りである。消えかけの先行パーティのトレースがあった。トレーニング不足と重荷？のためピッチは上がらない。山本と大森さんに完全に置いていかれ、バテバテで2 1 5 0 mの台地に到着。痩せ尾根上にテントを張る。途中、たくさんの赤布やテープがあり、よい目印となった。ここまでは緩んだ雪にボコボコと足をとられ無駄な体力を消耗した。テント設営後は持参のアルコールで宴会。楽しい一時であった。荷を軽くするためにガンガン飲んだ。ここからは笠ヶ岳方面がよく見える。白く美しい。ただ、目の前の第1岩峰と第2岩峰が急で不安になった。夕方から小雪が舞い始めたが、天気予報では明日は晴れである。疲れがひどく帰りたかったが、これで帰る理由はなくなった。大森さんと私のヤル気は今ひとつであったが、山本はヤル気満々である。

・新穂高温泉6 : 4 5 ⇒西穂高岳西尾根2 1 5 0 m付近1 3 : 3 0

5 / 4 (水) 晴れ TS ⇒小鍋谷⇒西穂高岳⇒西穂高山荘⇒新穂高温泉

4 : 3 0 に起床。朝食の日本そばは美味しかった。TSより痩せ尾根を辿る。早朝なので雪が締まり、アイゼンが効き登りやすかった。2 P程で第1岩峰直下のコルに到着。先行パーティのトレースは第1岩峰のピークを目指して付いていたが、我々は雪が締まり安定しているので右側から小鍋谷に入り巻いた。ただ、このルートは5月だけで、冬は雪崩の危険が大きく勧められない。急な斜面を西穂高岳ピークに向かって登った。最初は傾斜もそれ程ではなかったが、登るにつれ徐々にきつくなった。この登りは氷の滑り台で落ちたら終わりである。キックステップに力が入る。しんどい!コルから3 Pでピーク直下の残置フィックスのあるリッジに到着。ザイルを出す。山本は丸腰で登ったが…。3 0 mであるが結構急で緊張した。今回、唯一のザイルを使ったピッチであった。これを登り切り、細いリッジを5 0 mで西穂高岳ピーク。頂上は1 0 畳程の広さで狭く落ち着かないが、天気が良くて素晴らしい眺めである。記念撮影後直ちに下山。よく踏まれたトレースをたどり西穂高山荘に向った。両側の切れた痩せ尾根とコブが続くが、ピラミッドピークの下降で5 m程クライミングダウンしただけで全く問題なかった。トレースがしっかりしていると、これほど歩きやすいものか。途中、小鍋谷を滑降するスキーヤーを見た。この人は、我々が小鍋谷を登るときにかなり下部を登っていた。日帰りで西穂まで登り、頂上直下のコルから滑っていった。上手い。また、独標の手前で雷鳥を見た。近づいても逃げない。人に馴れているようだ。独標を過ぎると登山者も増え、シリコも交えロープウェイ乗り場までバテバテで歩いた。ロープウェイ乗り場には大勢の観光客がいた。ロープウェイに乗り下山。1 3 0 0 円也。露天風呂に入り、中部縦貫道のチェーン脱着場でささやかな宴会 + 仮眠。大阪へ着いたのは朝の4時であった。疲れた!!!

・TS 6 : 0 5 ⇒西穂高岳1 1 : 0 0 ⇒新穂高ロープウェイ乗り場1 5 : 1 0

以上です。

今日は全身が筋肉痛で辛いです。いつまでこのような登山ができるのか？今年で3人の合計年齢がちょうど1 6 0 歳です。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年5月6日(金)00時17分52秒

西穂頂上直下の稜線を登る写真、あんなものでも今の私は見るだけで足がぞくぞくします。なさけない。

5月3日に福井県の木の芽峠で、袈裟をかけ念珠を持って蓮如上人の御影道中をお迎えしました。同行は田村(大阪外大)、絹川(学習院)の両氏。平井吉夫

Re: 西穂高

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年5月5日(木)12時44分45秒

> [No.1339\[元記事へ\]](#)

昨年に続き、大森さんと川野との3人で5月中年合宿に行ってきました。
西穂高岳西尾根は程好く緊張感もあり、1泊で抜けることができるお手頃コースでした。

3日穂高平の牧場を奥まで進み、夏の踏み跡を探しながら尾根の急登にかかる。雪があまり締まっていないので踏み抜いて体力を消耗した。2150m付近の台地にテント設営。夕方雪がばらつく。

4日樹林帯の尾根を辿ると第1岩峰直下。雪が安定しているので右から巻いて雪面をひたすら登る。徐々に斜度も増し、山頂直下の雪壁はザイルも使って慎重に行く。

西穂高岳山頂は360度の展望。狭い山頂に小屋から次々と人が上がってくるので早々に出発。山頂から独標までもリッジが続くがトレースがあるので楽勝。西穂山荘経由でロープウェイを使って下山。深山荘の露天風呂で汗を流し、高山で買出しをして清見インターへ行く途中のチェーン脱着場で宴会 and 仮眠。深夜の高速を渋滞なしで帰宅しました。

今年は4月が寒かったせいか中途半端に雪がついて嫌らしい所もありましたが、昔取った杵は健在で安定した登攀でした。

年齢を考えて食料装備など軽量化に徹したのに、テントを張って一息つくところからともなく酒とアテが次々と出現。気心知れた中年メンバーでワイワイと楽しむことができました。





西穂・西尾根

投稿者：越田和男 投稿日：2011年5月5日(木)11時57分2秒

連休中に貸し切りとは、なかなか渋いところを登りましたね。

あまり知られていませんが、この尾根は確か甲南が積雪期に初登攀したところだと思います。甲南が積雪期のジャンの飛騨尾根を何回か試みていた頃のこと、伊藤文三さんと福井グリーンさんが飛騨尾根をアタックしたときに、喜多豊治さんと鷲尾顕さんがそのサポートのために登られたようです。昭和10年代のことです。

登山史にご興味のある方にご参考まで。

西穂高

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年5月5日(木)07時25分26秒

川野の言い出しで、穂高に行ってきました。西穂高・西尾根。

連休の真っ最中、トレースばっちり踏んでいたのですが、とてつもなく不人気コースなのか西穂高のてっぺんまで出会う人もいない貸切コースでした。

写真はあの先もうすこしで西穂のてっぺん、という雪壁の登りです。

前は山本、次は川野。

私個人で言うと、こういう高度感とか緊張感が結構好きだったのですが、今回はしんどい登りでした。



センキチの本

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年5月4日(水)20時22分39秒

平井吉夫兄、の訳した「オサマ・ビンラディン 野望と実像」を読み直してます。一貫してこの人物を研究したドイツ人が記したもので、興味が尽きません。彼は時々意表をつく本も訳してます。他に「女は歳とともに美しくなる」著者は1942年、オーストリア生まれの女性ジャーナリスト。斯様な類の新作にも期待！！

Re: 荒地山の岩小屋

投稿者：越田和男 投稿日：2011年4月27日(水)18時10分15秒

> [No.1336\[元記事へ\]](#)

今の季節、あの岩小屋は快適でしょうね。二日酔いになるのもごもつともです。

岩小屋の上のテラスからの夜景が忘れられません。ノンキ、大関、カンロクらと二晩泊まったのは、もう40数年の昔です。

荒地山の岩小屋

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年4月25日(月)23時29分58秒

総会の後、高座の滝で大森さんと合流し、途中夜景を楽しみながら荒地山の岩小屋へ行ってきました。

雨の後でしたが、岩小屋内は乾いていて開放感もあり快適でした。

気分がよくて、浪川さん差し入れのワインと大森さん持参のウイスキーをついつい呑みすぎ、日曜日は久しぶりの二日酔いに。

岩と戯れようと岩用シューズやハーネス、ロープも持って行ったのですが、全く気力なし。また、慰霊祭参加の皆さんに、朝に採取したコシアブラの天婦羅を振舞う予定で用具一式担ぎ上げていましたが、調理をする気力もなし。

家に帰って夕食に天婦羅にすると美味しかったです。でも、まだノンアルコールでした。

Re: いろいろ

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年4月25日(月)22時16分22秒

> [No.1334\[元記事へ\]](#)

会費振込み有難うございます。

山岳保険証、総会の時に武田さんから受け取りました。

毎年ながら、お手続きいただき有難うございました。

安全を心掛けながら山を楽しみたいと思います。

いろいろ

投稿者：福田信三 投稿日：2011年4月25日(月)18時01分4秒

山本さん

会費振り込みました

井上さん

山嶽寮用の原稿2種をお願いいたします。急ぎません

- 2010秋の集会 内容と写真
- 2011総会と慰霊祭 内容と写真

以上、お二方、よろしく願います。

福田信三

ウメサオタダオ展

投稿者：越田和男 投稿日：2011年4月22日(金)23時06分34秒

吹田の国立民族学博物館の特別展示館で開催中。6月14日まで。

梅棹忠夫さんの山と探検の足跡をたどる特別展です。関西在住の方、是非足を運んでください。

<http://www.minpaku.ac.jp/>

ガチャさん、いい旅行をされましたね

投稿者：福田信三 投稿日：2011年4月21日(木)23時14分31秒

ガチャさん

今時、3週間もの長い夫婦旅行で楽しかったと言えるのはお幸せですね。

多くの場合、“なんで旅行にまで旦那と一緒に行かないの！”です。

アウトバーンのドライビングは車と一体と云う感じで好きです。

特に180kmを越えるとタイヤがビチビチ鳴ってきて走ってるって気持ちになります。

ドイツは仕事でよく行きましたが、フランクフルト、ハノーバ、ハンブルグばかりで、
観光はライン河下り程度です。ケルンの大聖堂には是非行きたいです。行かれましたか？

最後に、紀行文を山嶽寮の原稿をお願いします。

福田信三

ドイツ旅行から帰ってきました

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年4月21日(木)09時00分48秒

3週間の夫婦でのドイツ旅行を終えて4月9日に帰ってきたのですが、あまりに疲れているのでご報告が遅れました。こんなに疲れたことは初めての経験で2週間経つのにまだ何もする気なくぼうーとしています。ドイツの北の端リューベックから南の端シュパルツバルト、フライブルクまで、そしてハイデルベルクを経てフランクフルトまで、友人の車で約3000km余を走りました。車のナビが古臭くて矢印と音声だけの案内のため、そしてインプットに手間がかかり(実際ははっきりと理解できない)、小村の名所のほとんどを見ないままでした。でもそれを見ていたら予定通りに帰ってこれず、もっと疲れていたことと思いますので、マアー良かったのでしょう。なんせ70万分の1のドイツ全図の地図で計画を立てたものですから

山屋として恥ずかしいことに1cmでも7kmもあることを失念していたのです。それでも、マルチン・ルッターの生家を見たり、バルバロッサの洞窟を見たり、シュパルツバルトではドイツで一番長い滝を見たりしました。だけど夫婦での3週間の旅のなんと楽しかったことか。

秋にはオーストリー全土を回る旅をこれから計画します。また、スキー仲間に出ているアールベルクでのスキーツアーなども計画してみるつもりです。ガチャ

総会出席者の件

投稿者：水渡清夫 投稿日：2011年4月16日(土)07時45分35秒

「総会出席者」に私の名前が入っていますが、出席できません。
申し訳ありません。

総会出席者

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年4月15日(金)09時27分47秒

事務担当より出席者をお知らせいたします。

平井 一正・神戸 謙司・福井 實・小原 耕治・雨宮 宏光・鈴木 頼正・田辺 潤・鳥居 威男・芦田 匡平・藤安 賢一・二谷 和成・武田 雄三・

水渡 清夫・安井 正・伊丹 徳行・柏 敏明・浪川 純吉・國分 廣昭・石原 浩二・南里 章二・井上 知三・平井 幹男・高橋 けい子・山本 恵昭
(敬称略) 以上24名

原稿、訂正します

投稿者：福田信三 投稿日：2011年4月13日(水)00時07分18秒

4月12日付け 投稿文で“報道写真店”を“報道写真展”と訂正いたします。
失礼いたしました。

モンゴルの写真

投稿者：福田信三 投稿日：2011年4月12日(火)16時50分0秒

米山さん

私は景色より人物の写真が好きです。

ある一瞬の表情が印象に残ります。

今年の報道写真店のイスラムの女性、その一枚でイスラムの女性の立場が
わかる感じがします。到底私には出来ませんので米山さんの今後に期待します。

福田

(無題)

投稿者：米山悦朗 投稿日：2011年4月12日(火)15時08分24秒

福田様

女ほめ頂き恐縮です。

当該写真はあまり色気はありませんが老婆がクリームを牛乳から作っているものです。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年4月11日(月)20時55分35秒

総会欠席のお知らせ

総会と慰霊祭に参加するつもりでおりましたが、この間の地震続きで、家を空けるのが心配になりました。昨日、大関君の花見会で会長に出席すると言ったような気がする（酔っていました）のですが、あらためて「欠席」の通知をさせていただきます。申し訳ありません。平井吉夫

モンゴルの写真

投稿者：福田信三 投稿日：2011年4月10日(日)21時56分41秒

米山さん

素晴らしい写真の数々、ありがとうございました。

私のベストは17枚目です。

どこかフェルメールの絵を感じビックリしました。

光のコントラストが見事ですね。

楽しませていただきます。

モンゴルの写真

投稿者：福田信三 投稿日：2011年4月10日(日)17時36分43秒

米山さん

たくさん写真を見せていただきありがとうございました。
どれも、これがモンゴルといえる情景ですが、私は17番が最高と感じました。
右上からの光が作る陰影はフェルメールかと思えるくらいです。

7月には訪問できそうです。

このようなWEBギャラリーは多くのかたが見られていますね。

福田信三

web ギャラリー モンゴル

投稿者：米山悦朗 投稿日：2011年4月10日(日)08時48分37秒

甲南山岳会の皆様

2010年6月横浜で開いた個展に出品したモンゴルの写真をWEB上で展示しています。

<http://yoneyama3714.jpa-photo.com/>

からはいるとすぐ見られます。

ご一覧下さい。

総会・慰霊祭

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年4月10日(日)08時09分42秒

事務担当よりお願い

本年度の総会の出席者が例年に比べると大変少ないです。現在20名にも達していません。皆様の多数の出席をお待ちしております。

5月中年合宿

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年4月9日(土)10時57分41秒

昨年5月小窓尾根中年合宿の写真が、兵庫県山岳連盟「兵庫山岳」4月版に掲載されました。

モデルは大森さんと川野君。実際は、小窓尾根を抜けて山頂へ向かう途中の写真ですが。

今年の5月連休も、また大森さんと川野と3人で、西穂の雪稜に行こうかと相談中です。



映画『180° South』

投稿者：越田和男 投稿日：2011年4月8日(金)21時32分45秒

“パタゴニア”の創始者イヴォン・シュイナードと“ノース・フェイス”の創始者ダグ・トンプキンは1968年にパタゴニアに足を踏み入れた。大自然に圧倒された二人にとって人生の転機となったこの旅はフィルムに記録されており、このフィルムを偶然に目にした一人のアメリカ人が40年後にこの旅を追体験を試みる、という設定。

ストーリー性には乏しく、一風変わった映画だったが、山、アウトドア、サーフィン、自然保護、そしてロード・ムービーにご興味のある向きにはお勧めする。映像は美しく、山登り場面も嘘くさくない。シュイナードとトンプキンの二人は本人が出演、それぞれのやり方で自然保護の実践を語っている。お二人ともなかなかいい顔です。

上映は、東京では渋谷の「UNPLINK・X」、関西は「宝塚シネ・ピピア」で上映中。

花見会

投稿者：大関 和夫 投稿日：2011年4月2日(土)10時04分14秒

先の11人の参加に

平井 飯田氏が 加わって、13人の 会となりました。今年は 寒いので 主に 屋内で。

雨天も、実施します。

昼間で 停電も 収まりましたので 当日の 参加も歓迎します。

今日から、大磯の家で小学生の孫と友達を

泊まりで 遊びと料理人を します。

大磯は 東側は 停電もあり 買占めも あったようでした。家のある 西小磯は 停電なし 偉い人の 別荘があるのか、買占めも なく 東京の 影響が ないので 別世界です。経済圏は静岡です

牛乳 納豆 も 西の メーカーです。

本と映画

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2011年4月2日(土)00時22分47秒

腕を切り落として 生還したアーロン・ラルストンの本。

『奇蹟の6日間』アーロン・ラルストン 小学館

映画の予告編のページ

http://cia-film.blogspot.com/2010/08/127_25.html

<http://matome.naver.jp/odai/2128504634509517001>

参加出来ず残念です。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2011年4月1日(金)09時09分55秒

原発事故で17日から、娘達二家族が緊急避難してきて、
日頃一人の生活が六人の大家族となり、孫の相手で[
腰痛気味になっています。

大関さん宅の花見会、今年は久し振りに出席させて
頂こうと楽しみにしていたのですが、残念ながら
上京を中止しました。ご盛会をお祈りいたします。

何時までも原発事故の解決の目途が立たず、
政府や東電幹部の生ぬるい対応に腹が立っています。

本の紹介

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2011年3月31日(木)22時56分45秒

『奇蹟の生還へ導く人』～極限状況の サードマン現象～

ジョン・ガイガー 伊豆原 訳 2010 新潮社 (¥1,800)

山、極地、海、空で遭遇した極限状況から奇跡的に生還した人たちが体験した幻視体験（サードマン現象＝姿なき同伴者）は、多くの書で断片的に語られていますが、この書はサードマン現象の事例だけを集めた作品です。著者は数多くの体験者の話を聞き、膨大な資料にあたり、その一つ一つをつぶさに検証する。そして結論は、脳科学へと収束していくが、それでもなお謎は残ると結んでいる。

山では、シプトン スマイス ハストン ブール メスナー 山野井他、多くの事例が取り挙げられています。

死が差し迫ったと思われる状況のなかで、何かが起きる。メスナーによれば「不可能からの出口へと導いてくれる」サードマン——が現れる。

誰か一緒にいたことは「孤独感を抑えるための心理的な力になった……」

「身体は仲間を作る方法を生み出すのだ」と。

チョ・オユ南西壁をソロで攀じた山野井は次のような経験をしている。

「姿は見えなかったが 確かにクライマーと思える人間がいつも後ろを歩いていた。ラッセルやビバーク地を整理しているときも「なんでラッセルを代わってくれないんだ」とか

「整地の手伝いをしてくれ」とか、自分でしゃべっていたのを覚えている。

ラルストン（米・27歳）はクライミング中、落石に腕を挟まれ身動きが取れなくなる。
そのまま数日を過ごした彼は意を決して、上膊部に止血処置をしナイフで腕を引きちぎった。切り口をビニール袋で包み18メートルの壁を一本の腕で懸垂下降した。凄絶な苦闘の最中ずっと「誰か」がそばにいて励ましてくれた、とサードマンの存在を語っている。

Re: (無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年3月31日(木)18時00分1秒

平井吉夫さんへのお返事です。

- > 大関様
- > 返事が遅れてすみません。花見会に参加します。平井吉夫

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年3月31日(木)17時58分30秒

大関様

返事が遅れてすみません。花見会に参加します。平井吉夫

花見会

投稿者：越田和男 投稿日：2011年3月31日(木)16時49分49秒

このところ山行きの予定は全部取り止め、いろんな会合も全て中止、延期となって少々欲求不満ですが、まあ、被災者のこと思えばそんなこと言っておれませんけど。

花見会が待ち遠しいです。先日は福井グリーンさんが電話してくられ、花見会にも神戸の山岳会総会にも参加予定とおっしゃってました。90歳！！まだまだお元気。

花見会

投稿者：大関 和夫 投稿日：2011年3月31日(木)09時40分6秒

12回目になる、花見会を予定通り行います。

4月9日 土曜 14時より

参加予定は

福井 砂川 越田 武田 水渡 鈴木 南井 田村

大橋 国見 大関

は期日までに、返事が届いた人です。

当日は桜も、満開になっているでしょう

映画『岳』5月公開

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2011年3月24日(木)17時34分44秒

石塚 真一原作の漫画『岳』の映画化。長野県出身の島崎三歩と称する主人公が、山岳救助隊員として活躍する物語。撮影の舞台は八ヶ岳 白馬八方尾根 穂高連峰 立山など。

関東の皆さまへ、ご苦勞お察しいたします

投稿者：福田信三 投稿日：2011年3月17日(木)11時37分0秒

関東の皆さま、
今回の東北関東大震災では大変なご苦勞されていることとお察しいたします。
阪神大震災経験者としてはその様子が目に見えるように分かります。
しかし、皆さんお元気のようにまずはホッとしています。

教会の信徒の中にも東北出身者が数名居られ、家族や友人の安否不明の方も
おられますが、今のところ手の出しようがありません。
遠くにいて出来ることは、募金に協力、節電や無駄な買い物をしない事で、
救助活動に支障を与えない程度です。

それでも、もらった毛布をお年寄りに渡す若者、列を乱さずおにぎりを待つ被災者の皆さんの
画像を見る時、日本人の誇りを見せられた思いがしました。そして、早急の復興は間違い無しと
感じました。

今しばらくのご辛抱をお願いいたします。

平井吉夫の記事・追加

投稿者：越田和男 投稿日：2011年3月17日(木)10時10分16秒

<http://mainichi.jp/enta/art/news/20110316dde018040065000c.html>

これおクリックして下さい。

平井吉夫の記事

投稿者：越田和男 投稿日：2011年3月17日(木)10時02分9秒

毎日新聞 3月16日 夕刊

「連合赤軍事件：永田洋子からの手紙を平井吉夫さんが公開―旧共産圏小話集の感想をつづる」という
記事です。毎日をとっていないので検索したら下記に載ってました。ただし顔写真抜き。

mainichi.jp/enta/art/news/20110316dde018040065000c.html

平井センキチの記事

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年3月16日(水)19時20分30秒

平井吉夫兄が写真入りで、今日の毎日新聞の夕刊に載ってます。興味ある方は御覧あれ！

地震：中井久夫先輩の記事

投稿者：越田和男 投稿日：2011年3月15日(火)23時29分41秒

今日の朝日の朝刊に中井久夫さんが、今回の地震に関して、阪神大震災を経験した精神科医としてインタビューに答える形の記事がありました。

「忘却こそ被災者の危機」

「『誰かいてくれる』だけで意味」

「現地の声に耳を」

「40～50日が勝負」

などの見出しあり。「まだ先は見えないが、集団として、社会として、立ち直ることは間違いない」と結ばれています。

地震

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年3月14日(月)10時08分14秒

東京西部はただ今悪い風評によってパニックしております。

道路は電車の間引き運転で大渋滞。コンビニからパンやラーメン類は姿を消しております。電池はとっくにありません。ガソリンスタンドは閉鎖。千葉茨木方面ならいざ知らず、こちらは少し強く揺れた程度。非常食を買い込んで待機するような状態でもないのに、風評とは恐ろしいですね。それにしても今回の災害は人災ですね。今まで、地震による津波の恐ろしさを具体的に示したテレビ、それを指摘した学者がいたでしょうか。今回津波にあった被害者の方々は、津波がどんなものか知らずにおられたのではないのでしょうか。小生は一度たりとも津波がどのように襲ってくるのか、実写を見た事ありません。

被災

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年3月14日(月)06時47分25秒

TVを見てみると、津波の怖さが分かります。このM I S F O R T U N Eに出くわされた方々とその家族の心の傷跡はなかなか消えないでしょう。""やけどした時の強烈な痛さは日時がたつと共に和らぐが、その傷跡は残って消えない。""災害は忘れた頃にやってくる。""とかの言葉を思い出しています。地震発生のおける11日に、北アルプス白馬の小日向（おびなた）山にスキーツア-で入った山やの一人が雪崩れ跡から遺体で見つかったとの新聞報道があります。行方不明の連れ二人はどうなったか。三年前の新聞に「いつか来る その時」と題した地震予測が載ってます。それによると、宮城県沖はM7.5の予想で、今後30年以内に発生する確率は99PCT、首都直下を含む南関東は6.7-7.2M/70PCTの事。日本全国いつ 何処で大規模な災害が発生するのか 我々高齢者が生きているうちに あるのか無いのか 気に成ります。

震災

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年3月13日(日)22時11分12秒

昨夏、妻と飯豊朝日の山旅を楽しんだあとに立ち寄った宮城県。

山の帰りに海鮮料理のはしごをした塩釜、松島、石巻、女川の変わり果てた様子に心が痛みます。

あの時、港の市場で牡蠣の佃煮を作っていたおじさんやホヤの試食をくれたおばさんをご無事でしょうか。

テレビからの映像を見るたび、阪神淡路大震災の記憶と重なります。
あの津波に耐えた命が、瓦礫の中で助けを待っているような気がしてなりません。
一人でも多くの命が助かりますことを祈ります。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年3月13日(日)21時14分47秒

原発がなければどれほど全国民の負荷が減ったか。

地震お見舞い

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年3月13日(日)11時59分32秒

皆さんのお身内に災害にあわれた方おられませんか。おられなかったら何よりです。
当日買い物から帰って、車降りたとたん、身体がふらふら、と揺れました。おかしいな、と思ったら、建物がすごい勢いで揺れていました。一段落して家に入ったらまた揺れが来ました。小生の所は地盤が固く、都心で震度3位では揺れを感じないところですが、今回は揺れました。東京に来て40数年、初めての強震でした。停電はなかったですが、携帯は全然通じません。700メートル離れた娘のところでも、ときどきです。電車もストップし、息子や婿殿を迎えにいったらやろうと思っても、所在不明。結局二人ともほとんど歩いて深夜に帰ってきました。阪神大震災の教訓生かされていないようです。

地震

投稿者：越田和男 投稿日：2011年3月13日(日)11時08分21秒

甲南関係の方は東北地方との関係が比較的薄いと存じますが、ご親戚や知人に被害がございませんでしたでしょうか。

今回横浜の我がマンション（6F）でも結構揺れました。神戸の時は第一報がTVでしたが、今回は大きな揺れを体感したとたん停電となって電話も普通で、悪いことにケイタイも電池切れで、車のカーラジオを聞くということを思いつくまでどこで何が起きているのかさっぱりでした。

幸い電気は夜中に回復しましたが、それまではヘッドランプや防寒着、ローソクなど山の小道具が大いに役立ちました。停電中はケイタイの充電も出来ませんので替え電池も必要ですね。

明日から秩父方面の山歩きに行く予定でしたが、こんな時に爺さん4人連れで遊びに行くのも恰好も悪いし、意気も上がらないので、先ほど中止を決めたところです。

原発も不安ですし、日本列島何時どこで何が起こるかわかりませんね。皆さまお気をつけて。

日本アルプスの画家

投稿者：福田信三 投稿日：2011年3月8日(火)23時29分45秒

平井様

そうですね、

でわ、私が知らないだけだったんですね。

早速その“太陽”を入手して見せていただきます。

(無題)

投稿者：平井吉夫 投稿日：2011年3月8日(火)21時40分43秒

福田さん。日本アルプスの画家もかなりいます。別冊太陽——日本のこころ『人はなぜ山に登るのか——日本山岳人物誌』をちょっとのぞいてください。平井吉夫

平山郁夫展「大唐西域壁画」

投稿者：福田信三 投稿日：2011年3月5日(土)23時37分8秒

越田さん、情報をありがとうございます。

そうですか、こんなでかい壁画が東京に行ったなんて知りませんでした。

薬師寺で2,3回は見ていますが、確か高さは2m以上で長さも50mくらいで、5,6場面あったことを覚えていました。

博物館の方が近くで見られたと思います。

長安からシルクロード、インドの何とかまでの玄奘三蔵の旅とその功績をたたえたものと聞いています。そのヒマラヤの絵を見る限り、やはりスケッチはされたようです。写真より迫力があるのは絵のサイズばかりではないと感じました。福王寺法林という画家もヒマラヤを描きましたが、彼は飛行機で何度も山容を観察して（多分写真を撮り）家に帰ってから描いたとのことでした。

日本での山の絵画はやはり富士山が最多で桜島、浅間山、岩木山、大山と続きますが、日本アルプスの山では写真は多いですが、絵画が少ないのは意外です。

平山郁夫展

投稿者：越田和男 投稿日：2011年3月4日(金)22時52分12秒

上野の東京国立博物館で「仏教伝来の道・平山郁夫と文化財保護展」があり、奈良・薬師寺から門外不出とされてきた「大唐西域壁画」の展示が観れるということで先日行ってきました。すごい迫力で、中でもヒマラヤを描いた大画面「西方浄土須弥山」には圧倒されました。

場所や山の名前など何も説明されている訳でもないのですが、山好きの者にはそれと知られた山々が、左からプモリ、エヴェレスト、ローツエ、アマダムラム、カンテガと並び、そんな山座同定などをやるようでは、美術オンチ丸出しとは思いつつ、しばし立ちすくんだのでした。

関西在住の諸兄でまだご覧になって居られない方には、ぜひ一度薬師寺にお運びをお勧めします。上野の展示は明後日で終了しますので、今月後半には奈良に帰っていることでしょう。



投稿者：武田 雄三 投稿日：2011年2月24日(木)20時42分38秒

頭書の件、下記日程にて開催致しますのでご予定願います。

総会：4月23日(土)17時～平生記念館中ホール(セミナーハウスでは有りません)
なお、ホールは13時より利用可能、同期会等ご自由にお使い下さい。

慰霊祭：同24日(日)10時～芦屋ロックガーデン レリーフ前

追って、

井上事務局長より往復ハガキにて正式ご案内を差し上げます。

本の紹介

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2011年2月22日(火)18時42分56秒

高地民族の生活や健康の変化を調査している「高所プロジェクト」という研究計画(5年間)があります。
そのプロジェクト初の一般向書籍が、刊行されました。

医学を始めとして、文系・理系のさまざまな研究者20名が、それぞれの専門分野から見たチベット・ヒマラヤの今を執筆しています。(小林尚礼さんの紹介文を引用しています)

●『生老病死のエコロジー ～チベット・ヒマラヤに生きる～』(昭和堂) 3,150円(税込)

編著者：奥宮清人(総合地球環境学研究所、医学博士)

執筆者：高所研究者(全20名)

写真：小林尚礼ほか

頁数：264p

装丁：四六判、ハードカバー

詳細は、以下のページをご覧ください。

<http://www.k2.dion.ne.jp/~bako/news-tankoubon3.html>

訃報

投稿者：福田信三 投稿日：2011年2月22日(火)10時38分23秒

兵庫県山岳連盟の中島会長がお亡くなりになりました

ご葬儀予定は下記の通りです。

<http://www.hma.jp/oshirase/110221kaicho-seikyo/110221kaicho-fuhou.pdf>

ご冥福をお祈りいたします。

遅ればせながらのお礼

投稿者：関学青木宏安 投稿日：2011年2月21日(月)16時54分35秒

早一月も過ぎました。

その節には色々迷惑をお掛け致しました、

山暮らしの為、お礼のご返事遅れて申し訳ありませんでした。
来年も又宜しく。

山田池

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年2月20日(日)22時39分15秒

今日は大森さんに付き合っていて、神戸市西区の山田池にハイキングに行ってきました。
神戸電鉄木津駅付近から落ち葉を踏みしめて太陽と緑の道をたどると、山田池に到着。
昭和4年に作られた趣のあるダムの上で、ラーメン・コーヒーでのんびり。
どの山の頂にも行かず、ほとんど人にも会わず、静寂の散策でした。

山岳保険

投稿者：福田信三 投稿日：2011年2月19日(土)21時02分14秒

川野さん、了解しました、福田

山岳保険

投稿者：川野幸彦 投稿日：2011年2月19日(土)09時31分43秒

福田さん
お世話になります。
数日前に山岳保険代6710円を入金しました。
手続きのほど、よろしくお願いします。
毎年、お忙しい中、申し訳ありません。
今年も事故を起こさないように安全登山に努めます。

スキー

投稿者：飯田進 投稿日：2011年2月18日(金)10時47分44秒

雨さん。26日 白馬47で合流しませんか。バブさん ガチャサン ユーさんと行ってます。

平井センキチの本

投稿者：廣瀬健三 投稿日：2011年2月18日(金)08時33分7秒

今回の訳書新刊""王家を継ぐものたち""の前に出された彼の訳書""世界王室物語""の跋文として、ジャーナリストの松崎俊弥氏が当該訳文書に就き、次のように記されています。――世界の王室は、まさに「黄昏の時」を迎ようとしている。記者である平井吉夫氏の力量によるものと思われるが、このレポートから、やがて消え行く王朝への、確かな、そして力強い「葬送」の曲が聴こえてくるようだ。松崎俊弥（皇室ジャーナリスト）

御蔭様で、普段あまり分からない世界を垣間見れます。更なる活動を期待して、エールを送りたい！

平井吉夫の訳書新刊紹介

投稿者：越田和男 投稿日：2011年2月16日(水)11時29分17秒

岳友平井は昨秋は山の本ラインホルト・メスナーの著作を訳出したかと思えば、今度はヨーロッパの皇室裏話を出した。古希を過ぎてなおも、かくも幅の広い、盛んな仕事人間に敬服拍手したい。

書名：「王家を継ぐものたち」－現代王室サバイバル物語

著者：ギド・クノッブ

訳者：平井吉夫

出版：悠書館 2011年2月 pp403 本体定価 ¥2,500-

やはり平井の訳で日本図書館協会選定図書にも選ばれた前著「世界王室物語」（悠書館）の後編ともいえるものですが、今回は欧州に限定して、オランダ、スウェーデン、スペイン、ノルウェー、デンマーク、イギリスの現存する王室の延命の道をさぐる若き王子、王女達の素顔（裏話）が描かれています。

かつての左翼闘志の訳者は「訳者あとがき」に「王権が死滅することによって王制が生き残るという奇妙なパラドックス」が現出したとし、そして

問い－では、何のために王朝は存続しているのか。

答え－王朝は存続するために存続している。

と述べている。ご興味のある方は是非（購入の上）読んで下さい。



150000

投稿者：大森雅宏 投稿日：2011年2月14日(月)20時43分48秒

管理人様

アクセス番号が 150000 を越えました。
キリ番は結構気にしたのですが、また区切りのいいのを逃しました。
掲示板、ずっと続いて会員の皆さんの連絡に役立つとイイナと思っています。
ずっと続いてイイナと思えるのも偏にご担当のご尽力とおかげと感謝して拝見いたします。

おーもり

バンコク赴任のお知らせ

投稿者：森本寛之 投稿日：2011年2月13日(日)00時52分16秒

2008年理工学部卒の森本です。
山岳会のみなさま大変ご無沙汰しております。

さて、表題の通り3月1日付けでタイのバンコクに赴任することが内定しました。
就労許可や労働ビザ取得の関係から実質的に引越するのは
3月中旬から下旬と思われます。バンコク赴任は3年間の目処です。

現在も福岡県に勤務しており、今でも神戸が遠く感じるのに、
今度は更に桁違いに遠いところになってしまいました。
但し勤務先の本社は神戸市のポートアイランドなので、いつかは神戸にも戻ります。

旅行などでタイに来られる際は是非ともご一報願います。

ss361092@gmail.com (@(全角)を@(半角)に変更して送信願います。)

以上、今後ともよろしく願いいたします。

山岳保険・捜索保険のご案内(再送)

投稿者：福田信三 投稿日：2011年2月11日(金)12時44分9秒

表記保険の加入または更新の時期について再送します。
金額などは前年度より増額となっております。
まだの方は下記の期限までにお振り込みください。

加入タイプB：5710円＋共済会年会費1000円＝6710円
加入タイプS：3900円＋共済会年会費1000円＝4900円
軽登山II：5470円＋共済会年会費1000円＝6470円

詳細は山岳共済のホームページをご覧ください。

<http://www.jma-sangaku.org/kyosai/insurance/type/2011notice.html>

ご希望の方は上記代金を下記の銀行口座にお振り込みください。

期限は2月28日とします。

三井住友銀行 住吉支店 普通 3907390 フクダ シンゾウ

以上、期限を順守してください。

入金の確認ができた方のみ手続きをいたします。

総会の時に会員証をお渡しできる予定です。

福田信三

訃報のお知らせ

投稿者：井上 知三 投稿日：2011年2月11日(金)11時44分30秒

事務担当より

昨日、川村様の御子息様より、父 川村 三郎 儀 1月28日に94才で永眠致しましたと葉書にて連絡がありました。【旧制14回理】

ご冥福をお祈り致します。

Re: 学園歌唱祭

投稿者：越田和男 投稿日：2011年2月9日(水)14時31分42秒

横浜在住にて、小原先輩のお誘いには残念ながら参加出来ませんが、多数の山岳部OBの参加を期待したいものです。

山岳部の「山の歌」は当時高校生の伊藤愿先輩が昭和のはじめに作詞されて以来、80余年も歌い継がれてきました。歌唱祭で当日歌われるラグビー部の部歌も野球部応援歌も伊藤愿さんの作詞で、それぞれ格調高く、当時の高校生の文章力にはまさに脱帽です。

いわば甲南の文化遺産ともいえるこれらの歌は、これからも末長く歌い継がれてほしいものです。歌唱祭参加諸兄、どうか声高らかに歌って下さるようお願いいたします。

学園

投稿者：小原 耕治 投稿日：2011年2月8日(火)13時29分11秒

第7回甲南学園歌唱祭が3月12日(土)午後3時30分～6時30分

甲南大学平生記念セミナーハウスで開かれます。

会費3千円軽食準備です。

甲南高等学校寮歌や運動部の部歌を歌います。

昨年は山学部から小原、宮本、鈴木頼正、芦田の4名が参加しましたが他の部の参加者に比べ少くさびしかった。今年は是非他の運動部に負けずに出来るだけ多数参加して、山岳部の存在を占めそうではありませんか、ご協力下さい。

申し込みは甲南大学同窓会、電話078-842-0357、FAX078-811-0366に来る3月5日までに申し込んでください。

この掲示板での申し込みもOKです。

鈴木頼正の携帯電話 090-2359-4910 でも参加受付します。

雪見会御礼

投稿者：南井英弘（KGAC） 投稿日：2011年1月27日(木)22時21分20秒

飯田進幹事長殿

KAC各位

この度は武田会長、ガチャサンの白馬駅への出迎え、ゲレンデでのアドバイスなどを含め、皆様に大変お世話になりました。お蔭様で思い出に残る楽しい雪見会になり感謝しています。

平均年齢67～8歳のG-サンたち23人が嬉々としえ雪と戯れる姿は現代の20代の人たちよりエネルギーが溢れていた。食事の席でも参加者全員の顔が山岳部時代に戻ったように輝いていた。

学校は違っても山岳部生活をした人たちでないと雪見会の雰囲気は想像出来ないでしょうね。素晴らしいKACに栄光あれ！

本日、酒乱会会長夫人に電話をしました。心配するようなことは無さそうですと。

お騒がせしましたがここにご報告させていただきます。

有難う御座いました。

皆様、有難うございました。

投稿者：柏 敏明 投稿日：2011年1月27日(木)10時52分30秒

飯田様有難うございました。その後の体調は如何ですか。お大事にして下さい。

雪見会にご参加の皆様、色々とお世話になり有難うございました。

新しいメンバーも加わり、今年も賑やかで楽しい雪見会を過ごさせて頂きました。

鈴木さんのスキーは40数年ぶりとは思えない見事なもの。小生もスキー学校に入って基礎を復習しましたが、又、追い抜かれそうです。

Tさんの具合も異常がなかった由。良かったです。

皆様と別れてから、南井さん、青木さん、大関さん、水渡さん、ドンキチさんと

五竜・遠見を滑り、別荘の横にあるクロスカントリー・オリンピックコースを

初めて経験しました。私たちは横道からコースに入りましたが、出発点から入ると

一日300円の入場料を取られるそうです。凄い施設に何人かの管理人がいるだけ。

一人だけコースを走っていました。時々、自衛隊が訓練に使用しているそうですが、

まさしく事業仕分けの対象です。しかし、これも文化としては必要かもわかりませんね。

25日は山にガスが掛かっていましたので、近くで滑ろうと築場スキー場に行きました。
国道のすぐ傍、リフトは2本有り相当長かったです。10分?位、傾斜もあり、雪質も最高、
あのドンキチさんも結構面白いと楽しんでいました。それでリフト代が一日券2,000円、
半日券、シルバー券は有りませんがお値打ちコースでした。
従業員も皆しっかり挨拶をしてくれるのも、気持ち良かったです。

別荘をお世話して頂き、美味しい鍋料理を作って貰い、温泉のハシゴを楽しみました。
皆様には本当にお世話になりました。有難うございました。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年1月27日(木)10時15分45秒

今年も雪見会無事執り行いました。ご参加の皆さんお疲れ様でした。
総勢23名。22日の土曜日は21名の老人一番若いのが山本繁昭君。70歳以上9名内後期高
齢者5名。が集まり怪気炎。そのパワーは前田館に籠ってものすごく、豪雪で覆われた大屋根の雪も溶けん
ばかりでした。再開を楽しみに、24日解散しました。

小西さんへ

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年1月26日(水)11時54分22秒

Tさん、何事もなかったようになによりです。でも年も年養生されますようお伝えください。青木さんより酒乱会
の経緯とくとご講義賜りました。関学さんも侍揃いですね。
以後も宜しくお付き合いのほどを。

御礼

投稿者：小西 啓右 投稿日：2011年1月26日(水)10時40分53秒

飯田様

皆様ご心配かけましたが、T氏、あの後、帰阪して専門医で検査されましたが、特に異常はみつからず
飲酒とトイレに立った時の一時的な目まいのようだったようです。
ありがとうございました。

お礼

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年1月25日(火)12時18分23秒

飯田さん

お世話になりました。体なおりましたか? それにしても良く寝てたね。高遠では元気な顔を見せ声を聞かせてく
ださい。

お礼

投稿者：石原・高木 投稿日：2011年1月25日(火)08時50分8秒

飯田様 雪見会の皆様

色々お世話になりました。絶好の条件の中、特に金曜日はゲレンデに誰もいない状況が何回もあり、遠慮なく滑れました。次回皆様との再会を楽しみにしておきます。

石原

先日は大変お世話になり有難うございました。

ゲレンデコンディションも良く満喫する事が出来ました。

また、御機会があれば宜しく願います。

高木

お礼

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年 1月24日(月)21時48分22秒

飯田様、雪見会参加の皆様

今年も楽しく参加させていただき、有難うございました。

1泊だったので慌しかったのですが、土曜は極上雪質のゲレンデ、日曜は早大小屋裏のピークから新雪滑降を楽しむことができました。

今年は雪が多いので、関西近郊でもそれなりに雪山が楽しめそうです。また、一緒に遊んでください。

雪見会のお礼

投稿者：大阪ぽっぽ会 山本 投稿日：2011年 1月24日(月)12時59分30秒

今回も飯田様はじめ、甲南及び関学の皆様の心暖かいご厚誼を頂き誠に有難うございました。これからも宜しく願いいたします。それにしても皆様のパワーには降参です。

山岳保険・搜索保険のご案内

投稿者：福田信三 投稿日：2011年 1月21日(金)15時50分18秒

表記保険の加入または更新の時期となりました。

金額などは前年度より増額となっております。

加入タイプB：5710円＋共済会年会費1000円＝6710円

加入タイプS：3900円＋共済会年会費1000円＝4900円

軽登山Ⅱ：5470円＋共済会年会費1000円＝6470円

詳細は山岳共済のホームページをご覧ください。

<http://www.jma-sangaku.org/kyosai/insurance/type/2011notice.html>

ご希望の方は上記代金を下記の銀行口座にお振り込みください。

期限は2月28日とします。

三井住友銀行 住吉支店 普通 3907390 フクダ シンゾウ

以上、期限を順守してください。

入金の確認ができた方のみ手続きをいたします。

総会の時に会員証をお渡しできる予定です。

福田信三

Re: 雪見会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年1月18日(火)19時58分41秒

> [No.1264\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

お心遣いを有難うございます。

一人運転で向かいますので、S Aなどで仮眠を取りながらゆっくり行こうと思っています。

うちの車は後ろの荷台が完全フラットになりますので、寝袋でプチキャンピングカー仕様になります。

たぶん皆さんもう起きられている頃に到着すると思いますので、仮眠ルームのご心配は要りません。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年1月18日(火)17時05分58秒

ご参加のみなさん。御自分の使用する部屋、分からない方おられたら、同行者に聞か、小生に連絡するか、してください。青木さん 8号室 に入ってください。

よろしくお祈いします

投稿者：関学青木宏安 投稿日：2011年1月18日(火)16時26分4秒

22日午後お伺いしますのでよろしく。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年1月18日(火)12時21分52秒

訂正

山本君 すまん。1号室 ではなく 10号室 で仮眠してください。

そのあと 7号室 へ。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年1月18日(火)11時55分32秒

山本(恵)君

了解。22日朝 食堂横 1号室 で仮眠してください。そのあと 7号室 に移ってください。

ユ-さん宜しく。

訃報

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011年1月18日(火)10時52分22秒

残念なお知らせです。

本日10時半、鷲尾元会長様より「旧制12回(理)卒 国府 雄次郎さんが去る15日逝去された。」

旨連絡を戴きました。

ごく最近の山岳会総会にも元気で出席戴いておりましたのに残念。ご冥福をお祈り申し上げます。

合 掌

尚、本日「家族葬」で執り行われるとの事です。

雪見会

投稿者：山本恵昭 投稿日：2011年1月18日(火)00時12分36秒

飯田様

いつもぎりぎりで申し訳ないのですが、22日1泊お願いできますでしょうか。

21日(金)夜発、22日(土)朝前田館着で1泊、23日(日)午後発、夜神戸着の予定でいます。

朝食は途中で食べていきます。天気がよければ、山にも入ろうかと思えます。

同行者をいろいろ探していたのですが、皆さん都合がつかず、結局一人で向かいます。

よろしく願いいたします。

岳人の記事

投稿者：柏 敏明 投稿日：2011年1月17日(月)14時44分47秒

「岳人」2月号の竹中さんの記事を読みました。

山に親しむことになったきっかけや、山岳部に入った経過、

現役時代の苦労した山や思い出、前穂の甲南ルートの事などにも触れながら、

現在も年に一度は山に登り、ヨーロッパアルプスでのスキーを

楽しんでいることを、飾ることなく話していました。

劔や鹿島の黒白の写真も懐かしかったです。

是非、ご一読を。

それにしても、「岳人」が800円するのですね。

雪見会

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011年1月11日(火)13時06分38秒

飯田大兄

毎度お世話になります、先に連絡いたしましたスケジュール、お手数ですが下記の通り変更手配方ヨロシクお願い申し上げます。

メンバー：井上知三・武田雄三の2名

滞在予定：1月20日（木）午後10時ごろ到着（夕食不要）～23日（日）朝食まで

皆さんとお会い出来る事を楽しみにしております。

Re: 雪見会

投稿者：大関と水渡の2名 投稿日：2011年1月10日(月)15時42分24秒

大関 和夫さんへのお返事です。

- > 武田 雄三さんへのお返事です。
- >
- >> 飯田大兄
- >> 何時もいつもお世話になり有難う御座います。
- >> 22日夕食より24日朝食までの予定、宜しく願い致します。

Re: 雪見会

投稿者：大関 和夫 投稿日：2011年1月10日(月)15時17分43秒

武田 雄三さんへのお返事です。

- > 飯田大兄
- > 何時もいつもお世話になり有難う御座います。
- > 22日夕食より24日朝食までの予定、宜しく願い致します。

(無題)

投稿者：小西 啓右 投稿日：2011年1月8日(土)21時14分51秒

飯田様

田中、青木は各自の車で22日午後に前田館入り。小西は柏の車です。
よろしく願います。

(無題)

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年1月8日(土)20時37分58秒

小西さん貴兄は柏浪川岡組でしょ。田中さん青木さんは別々ですか。

雪見会

投稿者：武田 雄三 投稿日：2011年 1月 8日(土)13時 35分 17秒

飯田大兄

何時もいつもお世話になり有難う御座います。

22日夕食より24日朝食までの予定、宜しくお願い致します。

(無題)

投稿者：石原 投稿日：2011年 1月 7日(金)19時 21分 55秒

飯田様

お世話になります。

井上 高木 石原3名21日早朝（もしかしたら20日深夜）に着きます。深夜に着いた場合前田館に入れますか。22日夕方帰ります。宜しくお願いします。

石原

雪見会

投稿者：小西 啓右 投稿日：2011年 1月 7日(金)17時 57分 48秒

飯田様

お世話様です。関学から田中、南井、青木、小西で参加させていただきます。

食事は22日夜から24日朝食までお願いいたします。

楽しみにしております。よろしく。

訂正

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年 1月 7日(金)12時 12分 28秒

越田さん御免。地蔵の頭ではなく、サンアルピナ鹿島スキー場のリフトのてっぺんからです。

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年 1月 7日(金)11時 50分 7秒

越田さん、腰は痛くても酒は飲めませ。梅池温泉はすぐ近く。遠見の地蔵の頭までリフトで登ると、鹿島の東壁が圧巻ですよ。付き合いませ。

鎌倉アルプス

投稿者：越田和男 投稿日：2011年 1月 7日(金)10時 26分 55秒

昨日、まことに軟弱な今年の歩き始めをしてきました。あまり好きではない「なんとかアルプス」と名付けられたところは全国に多々あるようですが、鎌倉アルプスは最高峰大平山でも200mなく、もっとも低い部類でしょう。神戸の須磨アルプスはどうだったかな。

それでも出発点の建長寺の石段登りには、息切れして難儀しました。横浜市と鎌倉市の境の尾根筋は、落葉樹が多いので、この時期は明るく、落ち葉をカサカサと踏んでの稜線歩きは心地よいものでした。下りたところの瑞泉寺の静かなたたずまいも格別でした。

このところ、東京、横浜地区は、他所の豪雪、雪害のニュースを見ていると申し訳ないような晴天続きで、元旦から今朝まで7日間連続で朝の富士が我が家から望めました。腰痛で柵池の雪見会に参加出来ない悔しさを紛らわしている次第。

Re: 雪見会

投稿者：南井英弘（KGAC） 投稿日：2011年1月6日(木)21時30分33秒

> [No.1245\[元記事へ\]](#)

田邊 潤さんへのお返事です。

田邊 潤様

お氣遣いに恐縮しています。

22日、朝拙宅を出てJRで柵池に向かいます。

80歳まで華麗なスキーが楽しめるようご指導方宜しくお願い致します。

南井英弘

雪見会

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年1月6日(木)14時37分35秒

飯田さん

カンチ旅行の別れ際に関学南井さんに雪見会でまた会おうと誘ってあります。あんたからも誘っててください。

雪見会

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年1月6日(木)14時30分47秒

飯田さん

2月21日と書きましたが1月21日の誤りです。すみません。

ガチャ

雪見会

投稿者：田邊 潤 投稿日：2011年1月6日(木)14時17分43秒

飯田さん

2月21日(金)の午後に前田館へ入り滑る予定です。21、22、23と連泊し24日午後帰る予定です。
お世話になります。よろしく。

ガチャ

Re: 雪見会

投稿者：管理人 投稿日：2011年1月5日(水)12時24分46秒

> [No.1241\[元記事へ\]](#)

飯田 進さんへのお返事です。

22日神戸発で走ります。

同行は雨宮、安井、鈴木、塩崎の4人です。

食事は22日の夜から25日朝食までお願いします。

塩崎

雪見会

投稿者：飯田 進 投稿日：2011年1月5日(水)09時23分55秒

雪見会ご参加の皆さん。

日程決まっていたら早めにお知らせください。

雪見会

投稿者：山本真博 投稿日：2011年1月5日(水)08時21分18秒

飯田先輩、何時もお世話様です。

22日、泊でお願いします。

雪見会 出席です

投稿者：雨宮 宏光 投稿日：2011年1月4日(火)16時33分27秒

22日夕方前田館着。23日、24日連泊します。

Re: 明けましておめでとう

投稿者：越田和男 投稿日：2011年1月2日(日)14時29分8秒

福井グリーンさんへのお返事です。

グリーンさん明けましておめでとうございます。

数えて 90 歳超のグリーンさんのかくもお元氣な秘訣を是非ご開示賜りたいものです。
パソコンを操り、延々と続く我々の野外の酒宴に毎年お付き合いいただくことなど、励みになることこの上なし
です。

剣西面、不帰東面、ジャン飛驒尾根など山岳史に残る記録にグリーンさんが登場されますが、それらの記録の
多くが昭和 10 年代前半、小生の生まれた頃のものなのですから、まさに驚異的です。

今年もどうかよろしく我々の馬鹿話にお付き合いください。

明けましておめでとう

投稿者：福井グリーン 投稿日：2011 年 1 月 1 日(土)16 時 00 分 10 秒

いつも皆様のご活躍を掲示板でよく拝見しています。
遠見尾根の寄稿を拝見して、何年前でしょうか？遠見の雪中キャンプを思い出しました。
それから昭和 8 年冬か、9 年春か（？）鈴蘭でのスキーに始まり、ノンキとのジャン飛驒尾根
（夜中の A C からの登攀、真っ暗になってしまった雪の沢を転がりながらの B C へ帰着）
数々の“雪・雪・雪”が思い出されます。
孫達から“何度も同じ事を”で参りますが、まんざらボケてしまった訳ではなさそう。
今年もよろしく、皆様のご活躍を祈っております。

謹賀新年

投稿者：福田信三 投稿日：2011 年 1 月 1 日(土)10 時 09 分 31 秒

今年もよろしく願いいたします。
そして、山嶽寮の原稿もよろしく願いいたします。

こちらの大晦日は 300m のスカイタワーからの花火です。
本来は下から上がるものが、上から降ってきます。
南半球は花火まで逆のようです。

オークランド NZ より